

# Ⅱ

## 授業科目一覧

---

- 1. コア科目 …………… 36
- 2. 専門教育科目 …………… 41
- 3. キャリアデザインプログラム科目群… 157

## 1

## コア科目

文理融合リベラルアーツ		
授業科目	単位数	備考（ローマ数字は、標準履修年次を示す。）
<b>系列1 生命と環境</b>		
(講義)		
生命と環境 1	2	(生物学科は履修できない)
生命と環境 2	2	
生命と環境 3	2	
生命と環境 4	2	
生命と環境 5	2	
生命と環境 6	2	
生命と環境 7	2	
生命と環境 8	2	
生命と環境 9	2	
生命と環境 10	2	
(演習・実習・実験)		
生命と環境 21	2	
生命と環境 22	2	
生命と環境 23	2	
生命と環境 24	2	
生命と環境 25	2	
生命と環境 26	2	
<b>系列2 色・音・香</b>		
(講義)		
色・音・香 1	2	
色・音・香 2	2	
色・音・香 3	2	
色・音・香 4	2	
色・音・香 5	2	
色・音・香 6	2	
色・音・香 7	2	
色・音・香 8	2	
色・音・香 9	2	
色・音・香 10	2	
(演習・実習・実験)		
色・音・香 21	2	
色・音・香 22	2	
色・音・香 23	2	
色・音・香 24	2	
<b>系列3 生活世界の安全保障</b>		
(講義)		
生活世界の安全保障 1	2	
生活世界の安全保障 2	2	
生活世界の安全保障 3	2	
生活世界の安全保障 4	2	
生活世界の安全保障 5	2	
生活世界の安全保障 6	2	

授業科目	単位数	備考（ローマ数字は、標準履修年次を示す。）
生活世界の安全保障 7	2	
生活世界の安全保障 8	2	
生活世界の安全保障 9	2	
生活世界の安全保障 10	2	
(演習・実習・実験)		
生活世界の安全保障 21	2	
生活世界の安全保障 22	2	
生活世界の安全保障 23	2	
生活世界の安全保障 24	2	
生活世界の安全保障 25	2	
<b>系列4 ことばと世界</b>		
(講義)		
ことばと世界 1	2	
ことばと世界 2	2	
ことばと世界 3	2	
ことばと世界 4	2	
ことばと世界 5	2	
ことばと世界 6	2	
ことばと世界 7	2	
ことばと世界 8	2	
ことばと世界 9	2	
ことばと世界 10	2	
ことばと世界 11	2	
ことばと世界 12	2	
(演習・実習・実験)		
ことばと世界 21	2	
ことばと世界 22	2	
ことばと世界 23	2	
ことばと世界 24	2	
ことばと世界 25	2	
ことばと世界 26	2	
ことばと世界 27	2	
<b>系列5 ジェンダー</b>		
(講義)		
ジェンダー 1	2	
ジェンダー 2	2	
ジェンダー 3	2	
ジェンダー 4	2	
ジェンダー 5	2	
ジェンダー 6	2	
ジェンダー 7	2	
ジェンダー 8	2	
ジェンダー 9	2	
(演習・実習・実験)		
ジェンダー 21	2	
ジェンダー 22	2	
ジェンダー 23	2	
ジェンダー 24	2	

## 基礎講義

授業科目	単位数	備考（ローマ数字は、標準履修年次を示す。）
哲学	2	(数学科、情報科学科は履修できない) (数学科、情報科学科は履修できない) (物理学科は履修できない) (化学科は履修できない) (I)
現代心理学	2	
法学Ⅰ（日本国憲法）	2	
法学Ⅱ（法学入門）	2	
法と文学	2	
政治学入門	2	
ミクロ経済学入門	2	
マクロ経済学入門	2	
基礎微分積分学	2	
基礎線形代数学	2	
統計学	2	
一般物理学実験	2	
一般化学実験	2	
安全管理概論	2	
総合コース	2～4	
お茶の水女子大学論	2	

## 情報

授業科目	単位数	備考（ローマ数字は、標準履修年次を示す。）
(必修科目)		
情報処理演習	2	
(選択科目)		
メディアリテラシ	2	
情報科学	2	
情報処理学	2	
プログラミング演習1	2	
プログラミング演習2	2	
コンピュータ演習1	2	
コンピュータ演習2	2	
情報学演習1	2	
情報学演習2	2	

## 外国語（必修）

各学部別途掲載

文教育学部 P.183 / 理学部 P.201 / 生活科学部 P.211

授業科目	単位数	学年	CCBM	備考
<b>英 語</b>				
* 基礎英語Ⅰ	2	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎英語Ⅱ	2	(Ⅰ)	Pink	
* 中級英語Ⅰ	2	(Ⅱ)	Green	
* 中級英語Ⅱ	2	(Ⅱ)	Green	
* 中級英語	2	(Ⅱ)	Green	
** 総合英語Ⅰ	2	(Ⅰ・Ⅱ)	Green	
** 総合英語Ⅱ	2	(Ⅰ・Ⅱ)	Green	
** 総合英語	2	(Ⅱ)	Green	
** 英会話Ⅰ	2	(Ⅰ)	Pink	
** 英会話Ⅱ	2	(Ⅰ)	Pink	
** 英会話Ⅲ	2	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	

授業科目	単位数	学年	CCBM	備考
** 英会話Ⅳ	2	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	
上級英語Ⅰ	2	(Ⅲ・Ⅳ)	Red	
上級英語Ⅱ	2	(Ⅲ・Ⅳ)	Red	
ビジネス英語Ⅰ	2	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	
ビジネス英語Ⅱ	2	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	
時事英語Ⅰ	2	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	
時事英語Ⅱ	2	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	
英語プレゼンテーションⅠ	2	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	
英語プレゼンテーションⅡ	2	(Ⅱ～Ⅳ)	Green	
<b>ドイツ語</b>				
* 基礎ドイツ語(文法)Ⅰ	2	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎ドイツ語(文法)Ⅱ	2	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎ドイツ語(演習)Ⅰ	2	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎ドイツ語(演習)Ⅱ	2	(Ⅰ)	Pink	
** 基礎ドイツ語(応用)Ⅰ	2	(Ⅰ)	Pink	
** 基礎ドイツ語(応用)Ⅱ	2	(Ⅰ)	Pink	
** 発展ドイツ語Ⅰ	2	(Ⅱ)	Green	
** 発展ドイツ語Ⅱ	2	(Ⅱ)	Green	
** 発展ドイツ語Ⅲ	2	(Ⅱ)	Green	
** 発展ドイツ語Ⅳ	2	(Ⅱ)	Green	
***基礎ドイツ語会話Ⅰ	2	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
***基礎ドイツ語会話Ⅱ	2	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
***ドイツ語初歩Ⅰ	2	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
***ドイツ語初歩Ⅱ	2	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
<b>フランス語</b>				
* 基礎フランス語(文法)Ⅰ	2	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎フランス語(文法)Ⅱ	2	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎フランス語(演習)Ⅰ	2	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎フランス語(演習)Ⅱ	2	(Ⅰ)	Pink	
** 基礎フランス語(応用)Ⅰ	2	(Ⅰ)	Pink	
** 基礎フランス語(応用)Ⅱ	2	(Ⅰ)	Pink	
** 発展フランス語Ⅰ	2	(Ⅱ)	Green	
** 発展フランス語Ⅱ	2	(Ⅱ)	Green	
** 発展フランス語Ⅲ	2	(Ⅱ)	Green	
** 発展フランス語Ⅳ	2	(Ⅱ)	Green	
***基礎フランス語会話Ⅰ	2	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
***基礎フランス語会話Ⅱ	2	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
***フランス語初歩Ⅰ	2	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
***フランス語初歩Ⅱ	2	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
<b>中国語</b>				
* 基礎中国語(文法)Ⅰ	2	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎中国語(文法)Ⅱ	2	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎中国語(演習)Ⅰ	2	(Ⅰ)	Pink	
* 基礎中国語(演習)Ⅱ	2	(Ⅰ)	Pink	
** 基礎中国語(応用)Ⅰ	2	(Ⅰ)	Pink	
** 基礎中国語(応用)Ⅱ	2	(Ⅰ)	Pink	
** 発展中国語Ⅰ	2	(Ⅱ)	Green	
** 発展中国語Ⅱ	2	(Ⅱ)	Green	
** 発展中国語Ⅲ	2	(Ⅱ)	Green	
** 発展中国語Ⅳ	2	(Ⅱ)	Green	

授業科目	単位数	学年	CCBM	備考
***基礎中国語会話Ⅰ	2	(Ⅱ～Ⅳ)	Pink	
***基礎中国語会話Ⅱ	2	(Ⅱ～Ⅳ)	Pink	
***中国語初歩Ⅰ	2	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
***中国語初歩Ⅱ	2	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
<b>ロシア語</b>				
***ロシア語初歩Ⅰ	2	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
***ロシア語初歩Ⅱ	2	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
***ロシア語会話Ⅰ	2	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
***ロシア語会話Ⅱ	2	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
<b>朝鮮語</b>				
***朝鮮語初歩Ⅰ	2	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
***朝鮮語初歩Ⅱ	2	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
***朝鮮語会話Ⅰ	2	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	
***朝鮮語会話Ⅱ	2	(Ⅰ～Ⅳ)	Pink	

<b>スポーツ健康</b>				
授業科目	単位数	学年	備考	
(必修科目)				
スポーツ健康実習	2	(Ⅰ)		
(選択科目)				
スポーツ科学概論	2	(Ⅰ～Ⅳ)		
健康科学概論	2	(Ⅰ～Ⅳ)		
生涯スポーツ	1～3	(Ⅰ～Ⅳ)		

# 2

# 専門教育科目

## 1 文教育学部

文教育学部履修規程 (P. 179) により、以下の別表のとおり卒業に必要な単位 124 単位を修得してください。各学科プログラム等に関することは、別表第 2、3 を参照してください。

学科別	科目区分	必修及び選択必修の科目・単位						自由に選択して履修する科目・単位							卒業に必要な履修単位数			
		コア科目					専門教育科目(必修プログラム)	コア科目	専攻科目	学部共通科目	他学科の専攻科目	他学部の科目	全学共通科目	教職共通科目		教職に関する科目	必修以外の選択プログラム	
		文理融合リベラルアーツ	基礎講義	情報報	外国語	スポーツ健康	主プログラム											強化プログラム
人文科学科		18		16	2	44	20										24	124
言語文化学科		18		20	2	44	20										20	124
人間社会科学科		18		10	2	48	20										26	124
グローバル文化学環		18		18	2	44	20										22	124

**備考**

- 1 情報処理演習(情報)2単位は、必修とする。
- 2 外国語の必修単位に関しては、別表第3を参照すること。また、外国語の履修方法は別に定める。
- 3 スポーツ健康は、スポーツ健康実習2単位を必修とし、その履修方法は別に定める。
- 4 主プログラムは、所属学科から選択すること。
- 5 強化プログラム・副プログラム・学際プログラムは、所属学部のプログラムから一つを選択すること。
- 6 強化プログラムは、同一名の主プログラムを選択していることが履修要件となる。
- 7 選択している主プログラムと同領域の副プログラムを選択することはできない。
- 8 必修以外の選択プログラムは、別表第2の所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、副プログラム、学際プログラムから選択すること。
- 9 教職に関する科目(教職概論、教育実習及び教職実践演習は除く。)の単位については、10単位までを自由に選択して履修する科目・単位として取り扱う。
- 10 外国人留学生特別科目(外国人留学生対象)の単位については、20単位までをコア科目として取り扱う。ただし、スポーツ健康実習の単位に充てることはできない。
- 11 グローバル文化学環履修者は、所属学科によらず、グローバル文化学環の欄に記載される科目・単位を履修すること。また、必修プログラムとして、グローバル文化学環主プログラムと所属学科の副プログラムを履修すること。

学科別	科目区分	必修及び選択必修の科目・単位						自由に選択して履修する科目・単位							卒業に必要な履修単位数			
		コア科目					専攻科目	関連科目	コア科目	専攻科目	学部共通科目	他学科の専攻科目	他学部の科目	全学共通科目		教職共通科目	教職に関する科目	必修以外の選択プログラム
		文理融合リベラルアーツ	基礎講義	情報報	外国語	スポーツ健康												
芸術・表現行動学科		18		10	2	64											30	124

**備考**

- 1 情報処理演習(情報)2単位は、必修とする。
- 2 外国語の必修単位に関しては、別表第3を参照すること。また、外国語の履修方法は別に定める。
- 3 スポーツ健康は、スポーツ健康実習2単位を必修とし、その履修方法は別に定める。
- 4 必修以外の選択プログラムは、別表第2の所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、副プログラム、学際プログラムから選択すること。
- 5 教職に関する科目(教職概論、教育実習及び教職実践演習は除く。)の単位については、10単位までを自由に選択して履修する科目・単位として取り扱う。
- 6 外国人留学生特別科目(外国人留学生対象)の単位については、20単位までをコア科目として取り扱う。ただし、スポーツ健康実習の単位に充てることはできない。

別表第2

【(文) 二つ目の選択プログラム】(別表第1-1 備考5関係)

所属学科・コース		所属学科の強化プログラム以外に選択することのできる「選択プログラム群」														
		哲学・倫理学・美術史(副)	比較歴史学(副)	地理環境学(副)	日本語・日本文学(副)	中国語圏言語文化(副)	英語圏言語文化(副)	仏語圏言語文化(副)	日本語教育(副)	社会学(副)	教育科学(副)	心理学(副A) 人間社会科学科対象	心理学(副B) 人間社会科学科以外対象	舞踊教育学(副)	音楽表現(副)	グローバル文化学(学際)
人文科学科	哲学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	歴史	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	地理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
言語文化学科	グロ文	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	日文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	仏文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	グロ文	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	○
人間社会科学科	社会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	心理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
芸術・表現行動学科	グロ文	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○
	舞踊音楽	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【(文) 三つ目の選択プログラム(文・プログラム)】(別表第1-1 備考8関係、別表第1-2 備考4関係)

所属学科・コース		所属学科の強化プログラム以外に選択することのできる「選択プログラム群」														
		哲学・倫理学・美術史(副)	比較歴史学(副)	地理環境学(副)	日本語・日本文学(副)	中国語圏言語文化(副)	英語圏言語文化(副)	仏語圏言語文化(副)	日本語教育(副)	社会学(副)	教育科学(副)	心理学(副A) 人間社会科学科対象	心理学(副B) 人間社会科学科以外対象	舞踊教育学(副)	音楽表現(副)	グローバル文化学(学際)
人文科学科	哲学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	歴史	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	地理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
言語文化学科	グロ文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	英文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	仏文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	グロ文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人間社会科学科	社会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	心理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
芸術・表現行動学科	グロ文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	舞踊音楽	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【(文) 三つ目の選択プログラム(理・プログラム)】(別表第1-1 備考8関係、別表第1-2 備考4関係)

所属学科・コース		所属学科の強化プログラム以外に選択することのできる「選択プログラム群」								
		数学(副)	物理学(副)	化学(副)	生物学(副)	情報科学(副)	応用数理(学際)	物理・化学(学際)	ケミカルバイオロジー(学際)	生命情報学(学際)
人文科学科	哲学	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	歴史	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	地理	○	○	○	○	○	×	×	×	×
言語文化学科	グロ文	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	日文	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	中文	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	英文	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	仏文	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	グロ文	○	○	○	○	○	×	×	×	×
人間社会科学科	社会	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	教育	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	心理	○	○	○	○	○	×	×	×	×
芸術・表現行動学科	グロ文	○	○	○	○	○	×	×	×	×
	舞踊音楽	○	○	○	○	○	×	×	×	×

【(文) 三つ目の選択プログラム(生・プログラム)】(別表第1-1 備考8関係、別表第1-2 備考4関係)

所属学科・コース		所属学科の強化プログラム以外に選択することのできる「選択プログラム群」					
		人間・環境科学(副)	発達臨床心理学(副)	公共政策論(副)	ジェンダー論(副)	生活文化学(副)	消費者学(学際)
人文科学科	哲学	○	○	○	○	○	○
	歴史	○	○	○	○	○	○
	地理	○	○	○	○	○	○
言語文化学科	グロ文	○	○	○	○	○	○
	日文	○	○	○	○	○	○
	中文	○	○	○	○	○	○
	英文	○	○	○	○	○	○
	仏文	○	○	○	○	○	○
	グロ文	○	○	○	○	○	○
人間社会科学科	社会	○	○	○	○	○	○
	教育	○	○	○	○	○	○
	心理	○	○	○	○	○	○
芸術・表現行動学科	グロ文	○	○	○	○	○	○
	舞踊音楽	○	○	○	○	○	○



# 文教育学部 主プログラム・強化プログラム

## 人文科学科 哲学・倫理学・美術史コース

カリキュラムポリシー	主：44単位	強化：20単位
<b>主プログラム</b> <b>①教育目標</b> LA（リベラルアーツ）の中核を担う哲学・倫理学・美術史の使命は、わたしたちの人生を、いかに考え、いかに生き、いかに表現し、いかに幸福なものとするかという、もっとも実的な応用力の養成です。主・強化・副、そのいずれのレベルにおいても、普遍的価値の学習を基礎にしつつ、根本につねにたちもどり現実の実践力を追求します。この高度教養教育に基づき、21世紀型 LA は国際性・学際性・専門性を発信します。 本コースはこれに基づき構成され、人類が求めてきた真・善・美についての基礎的な勉強をするためのプログラムを作成しました。哲学、倫理学、美術史を効率よく学ぶためのプログラムになっています。 ねらいは二つあります。①哲学、倫理学、美術史を幅広くバランスよく学習することができるということ、②専門的に深く勉強することができるということです。これらの相反する目標に対応するために必要な科目を用意し、それぞれのプログラムに配置しました。 主プログラムは、哲学、倫理学、美術史のそれぞれを専門的に勉強するために必要な基礎的な科目を配置しました。		
<b>②内容・構成</b> 本プログラムは、「学科共通科目8単位」「卒業論文8単位」、概論、特殊講義、演習などからなります。 なお、主プログラムにおいて、「人文科学科共通科目8単位」は、人文科学科としてのまとまりを確保するために必修としました。そのうち哲学、倫理、美術史に関係する科目からは、最低4単位の必修、それ以外を含めてさらに4単位の必修を課しました。		
<b>強化プログラム</b> <b>①教育目標</b> LA（リベラルアーツ）の中核を担う哲学・倫理学・美術史の使命は、わたしたちの人生を、いかに考え、いかに生き、いかに表現し、いかに幸福なものとするかという、もっとも実的な応用力の養成です。主・強化・副、そのいずれのレベルにおいても、普遍的価値の学習を基礎にしつつ、根本につねにたちもどり現実の実践力を追求します。この高度教養教育に基づき、21世紀型 LA は国際性・学際性・専門性を発信します。 本コースはこれに基づき構成され、人類が求めてきた真・善・美についての基礎的な勉強するためのプログラムを作成しました。哲学、倫理学、美術史を効率よく学ぶためのプログラムになっています。 ねらいは二つあります。①哲学、倫理学、美術史を幅広くバランスよく学習することができるということ、②専門的に深く勉強することができるということです。これらの相反する目標に対応するために必要な科目を用意し、それぞれのプログラムに配置しました。 強化プログラムは、哲学、倫理学、美術史のそれぞれの学問領域を一層深く勉強するためにさらに専門的な科目を配置しました。		
<b>②内容・構成</b> 本プログラムは、特殊講義、演習などからなります。		

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
哲学基礎論	2	I～II	Pink	○	以下の科目から4単位選択		
倫理学基礎論	2	I～II	Pink	○			
美術史基礎論	2	I～II	Pink	○			
比較文化史	2	I～II	Pink	○	以下の科目から4単位選択		
比較社会史	2	I～II	Pink	○			
自然と人間	2	I～II	Pink	○			
人間と空間	2	I～II	Pink	○			
哲学・倫理学・美術史選択基礎	2	I		○			
卒業論文	8	IV	Red	◎			
哲学概論 I	2	I～IV	Red	○	以下の科目から28単位選択		
哲学概論 II	2	I～IV	Pink	○			
倫理学概論 I	2	I～IV	Pink	○			
倫理学概論 II	2	I～IV	Pink	○			
美術史学概論	2	I～IV	Pink	○			
				○			

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム		◎必修 ○選択	
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
概念分析論演習Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○			
概念分析論演習Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○			
理論分析論演習Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○			
理論分析論演習Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○			
問題分析論演習Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○			
問題分析論演習Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○			
英書講読	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
哲学AⅠ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
哲学AⅡ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
哲学AⅢ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
哲学AⅣ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
哲学BⅠ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
哲学BⅡ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
哲学BⅢ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
哲学BⅣ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
哲学演習CⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○			
哲学演習CⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○			
哲学演習CⅢ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○			
哲学演習CⅣ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○			
日本倫理思想史Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
日本倫理思想史Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
西洋倫理思想史Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
西洋倫理思想史Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
倫理思想史特殊講義AⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
倫理思想史特殊講義AⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
倫理思想史特殊講義BⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
倫理思想史特殊講義BⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
西洋美術史AⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
西洋美術史AⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
西洋美術史AⅢ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
西洋美術史BⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
西洋美術史BⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
西洋美術史BⅢ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
東洋美術史AⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
東洋美術史AⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
東洋美術史AⅢ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
東洋美術史BⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
東洋美術史BⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
東洋美術史BⅢ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○			
哲学演習AⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	以下の科目 から20単位 選択
哲学演習AⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
哲学演習AⅢ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
哲学演習AⅣ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
哲学演習BⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
哲学演習BⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
哲学演習BⅢ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
哲学演習BⅣ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
倫理学演習A	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム		◎必修 ○選択	
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
倫理学演習B	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
倫理思想史演習A	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
倫理思想史演習B	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
倫理学特殊講義AⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Pink	○		○	
倫理学特殊講義AⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Pink	○		○	
倫理学特殊講義BⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
倫理学特殊講義BⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
倫理学資料講読	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
日本倫理思想史資料講読	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
西洋倫理思想史資料講読	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
倫理学研究	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
日本倫理思想史研究	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink	○		○	
西洋倫理思想史研究	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
宗教と倫理学	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
生命と倫理学	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
日本の社会と文化	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
形象分析学演習Ⅰ	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
形象分析学演習Ⅱ	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
形象分析学演習Ⅲ	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
形象分析学特殊講義Ⅰ	4	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
形象分析学特殊講義Ⅱ	4	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
形象分析学特殊講義Ⅲ	4	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
美術史学演習Ⅰ	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
美術史学演習Ⅱ	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
美術史学演習Ⅲ	4	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
美術史学特殊講義Ⅰ	4	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
美術史学特殊講義Ⅱ	4	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
美術史学特殊講義Ⅲ	4	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
哲学特別研究AⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
哲学特別研究AⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
哲学特別研究AⅢ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
哲学特別研究BⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
哲学特別研究BⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
哲学特別研究BⅢ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
哲学研究指導Ⅰ	2	Ⅳ	Red			○	
哲学研究指導Ⅱ	2	Ⅳ	Red			○	
倫理学研究指導Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red			○	
倫理学研究指導Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red			○	
倫理学研究指導Ⅲ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red			○	
形象分析学調査演習	2	Ⅱ	Red			○	
美術史学研究指導Ⅰ	4	Ⅱ～Ⅳ	Red			○	
美術史学研究指導Ⅱ	4	Ⅱ～Ⅳ	Red			○	
美術史学研究指導Ⅲ	4	Ⅱ～Ⅳ	Red			○	

# 人文科学科 比較歴史学コース

<b>カリキュラムポリシー</b>	<b>主：44単位</b>	<b>強化：20単位</b>
<p><b>主プログラム</b></p> <p>①教育目標 歴史は社会の反映であり、歴史を学ぶことは社会での実践力となります。日本史、東洋史、西洋史という枠組みを思考の地域軸と時間軸として位置づけ、同時に相互の比較や連関・交流に着目し、比較史的観点や社会史の視角を重視しつつ、歴史研究を通してその社会全体を俯瞰しその全体像を総合的に把握できるような柔軟な思考方法を養います。当たり前と思われることを疑い、自分なりの間を見つけ、そのための論拠（史料）を探し、論理を組み立てるといった歴史研究の基礎的手法（これは社会に出ても十分有効です）を身につけてください。</p> <p>②内容・構成 本プログラムは、まず基礎的知識を身につけ歴史学を学ぶとはどういうことなのかを理解する入門型の初級科目、文献・情報収集方法、研究史の調べ方など、専門教育に必須の基礎知識・研究方法を体得させるための中級科目、歴史学研究の基幹である研究文献・史料を実際に読解する演習（上級科目）、その集大成としての卒業論文から構成されます。多彩な科目群からバランスよく選択して履修することで、歴史学の（最小限の）方法論を体得します。総単位数は44単位以上、学科共通科目8単位、演習科目12単位以上、卒業論文8単位を必修とします。</p>		
<p><b>強化プログラム</b></p> <p>①教育目標 比較歴史学の主プログラムを専攻し、さらに歴史学の分野での専門知識を深め、磨こうと考える学生が専攻するものとします（主プログラム専攻者以外の履修は不可）。比較歴史学が開講する講義科目を中心に、幅広くより深い歴史学の知識と学びを習得することを目指します。一つの分野に限定せず、日本史・東洋史・西洋史を横断するかたちで履修して、視野を広げることを推奨します。</p> <p>②内容・構成 強化プログラムは、日本史・東洋史・西洋史各分野の専門的で多彩な講義科目群を主プログラム科目に加えた構成になっています。主プログラムで履修した科目以外に、20単位の取得が必要です。</p>		

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム		◎必修 ○選択	
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
比較文化史	2	I～II	Pink	◎			
比較社会史	2	I～II	Pink	◎			
比較歴史学選択基礎	2	I		○			
史学研究指導	2	IV	Red	○			
卒業論文	8	IV	Red	◎			
哲学基礎論	2	I～II	Pink	○	以下の科目から4単位選択		
倫理学基礎論	2	I～II	Pink	○			
美術史基礎論	2	I～II	Pink	○			
自然と人間	2	I～II	Pink	○			
人間と空間	2	I～II	Pink	○			
日本文化史概論	2	I～IV	Pink	○		○	以下の科目から20単位選択
日本史概説	2	I～IV	Pink	○		○	
アジア史概説	2	I～IV	Pink	○		○	
西洋史概説	2	I～IV	Pink	○		○	
日本史入門講読	2	I	Pink	○		○	
外国史入門講読Ⅰ	2	I	Pink	○		○	
外国史入門講読Ⅱ	2	I	Pink	○		○	
日本史研究法	2	II	Green	○		○	
アジア史研究法	2	II	Green	○		○	
西洋史研究法	2	II	Green	○		○	
グローバル・ヒストリー	2	I～II	Pink	○		○	
日本史講読	2	II	Green	○		○	

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム		◎必修 ○選択	
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
アジア史講読	2	II	Green	○		○	
西洋史講読	2	II	Green	○		○	
古文書学	2	II	Green	○		○	
歴史史科学	2	II	Green	○		○	
日本史論文講読	2	II	Green	○		○	
外国史論文講読	2	II	Green	○		○	
歩いて学ぶ比較歴史 I	2	II～IV	Green	○		○	
歩いて学ぶ比較歴史 II	2	II～IV	Green	○		○	
日本古代史演習 I	2	III～IV	Red	○	以下の科目 から12単位 選択	○	
日本古代史演習 II	2	III～IV	Red	○		○	
日本中世史演習 I	2	III～IV	Red	○		○	
日本中世史演習 II	2	III～IV	Red	○		○	
日本近世史演習 I	2	III～IV	Red	○		○	
日本近世史演習 II	2	III～IV	Red	○		○	
日本近代史演習 I	2	III～IV	Red	○		○	
日本近代史演習 II	2	III～IV	Red	○		○	
日本古代史料演習 I	2	III～IV	Red	○		○	
日本古代史料演習 II	2	III～IV	Red	○		○	
日本中世史料演習 I	2	III～IV	Red	○		○	
日本中世史料演習 II	2	III～IV	Red	○		○	
日本近世史料演習 I	2	III～IV	Red	○		○	
日本近世史料演習 II	2	III～IV	Red	○		○	
日本近代史料演習 I	2	III～IV	Red	○		○	
日本近代史料演習 II	2	III～IV	Red	○		○	
東アジア史演習 I	2	III～IV	Red	○		○	
東アジア史演習 II	2	III～IV	Red	○		○	
西アジア史演習 I	2	III～IV	Red	○		○	
西アジア史演習 II	2	III～IV	Red	○		○	
東アジア史料演習 I	2	III～IV	Red	○		○	
東アジア史料演習 II	2	III～IV	Red	○		○	
西アジア史料演習 I	2	III～IV	Red	○		○	
西アジア史料演習 II	2	III～IV	Red	○		○	
比較アジア史演習 I	2	III～IV	Red	○		○	
比較アジア史演習 II	2	III～IV	Red	○		○	
比較アジア史料演習 I	2	III～IV	Red	○		○	
比較アジア史料演習 II	2	III～IV	Red	○		○	
西洋政治史演習 I	2	III～IV	Red	○		○	
西洋政治史演習 II	2	III～IV	Red	○		○	
西洋社会史演習 I	2	III～IV	Red	○	○		
西洋社会史演習 II	2	III～IV	Red	○	○		
西洋社会経済史演習 I	2	III～IV	Red	○	○		
西洋社会経済史演習 II	2	III～IV	Red	○	○		
西洋政治史料演習 I	2	III～IV	Red	○	○		
西洋政治史料演習 II	2	III～IV	Red	○	○		
西洋社会史料演習 I	2	III～IV	Red	○	○		
西洋社会史料演習 II	2	III～IV	Red	○	○		
西洋社会経済史料演習 I	2	III～IV	Red	○	○		
西洋社会経済史料演習 II	2	III～IV	Red	○	○		
歴史史料調査 I	2	III～IV	Green			○	

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム		◎必修 ○選択	
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
歴史史料調査Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
歴史現地調査Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
歴史現地調査Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
考古学通論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
考古学通論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
歴史考古学	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
史跡調査	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
日本古代中世文化史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
日本近世近代文化史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
日本古代中世史特殊講義	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
日本近世近代史特殊講義	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
日本古代中世政治史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
日本近世近代政治史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
日本古代中世社会経済史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
日本近世近代社会経済史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
東アジア政治史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
西アジア政治史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
東アジア社会経済史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
西アジア社会経済史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
東アジアの歴史と文化	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
西アジアの歴史と文化	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
比較アジア社会史論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
比較アジア社会史論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
比較アジア文化史論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
比較アジア文化史論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
西洋政治史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
西洋社会経済史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
西洋社会史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
西洋中世史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
西洋近世史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
西洋近現代史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
西洋文化史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
フランス史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
ドイツ史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
イギリス史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
歴史学文献講読Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
歴史学文献講読Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
都市社会史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
歴史情報論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
比較女性史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
比較家族史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
歴史人類学	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	

# 人文科学科 地理学コース（地理環境学）

カリキュラムポリシー	主：44単位	強化：20単位
<b>主プログラム</b> <b>①教育目標</b> 地理学は、学校教育における社会科の基礎科目のひとつであり、また大学の教育・研究においては文系と理系の知をローカルな地域・場所で考え、結びつける総合科学であり、さらに社会生活においては現実的な諸問題に解決策を与える応用科学・政策科学です。現実的な諸問題の解決のために、ローカル、ナショナル、グローバルの地理的マルチスケールのセンスを養成します。		
<b>②内容・構成</b> 地理学の独自の観点を学ぶためのスキルとして、フィールドワーク（東京近郊と日本各地）、地図・GIS、地域統計分析、自然観測、英書講読の授業を、必修・選択必修で学んでもらいます。これによって、総合科学としての地理学の基礎的な技能が身につきます。また経済、社会、都市、環境などの地理学の知識を講義や演習で学ぶことで、特定の地域で設定したテーマの卒業論文へとつなげます。		
<b>強化プログラム</b> <b>①教育目標</b> 地理学主専攻プログラムを学び終えた学生を対象に、大学院進学（留学を含む）に向けて、地理学の広範な分野の知識を、講義、演習、特殊講義によって学んでもらいます。これによって、地理学の専門家としてオールラウンドの知識・スキルを身に付けることができます。		
<b>②内容・構成</b> 国家公務員や大学研究者でなお女性比率の低い地理学関連分野に進む学生向けの専門的な授業です。卒業後に取得できる資格には、社会調査士、学芸員などの他、現在導入を検討中の地域調査士、GIS学術士があります。他学科・他学部の「関連科目」等を履修することによって、気象予報士の資格取得にも対応可能です。		

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム				
				主プログラム	備考	◎必修 ○選択	強化プログラム	備考
人間と空間	2	I～II	Pink	◎				
自然と人間	2	I～II	Pink	◎				
哲学基礎論	2	I～II	Pink	○	以下の科目から4単位選択			
倫理学基礎論	2	I～II	Pink	○				
美術史基礎論	2	I～II	Pink	○				
比較文化史	2	I～II	Pink	○				
比較社会史	2	I～II	Pink	○				
地理学フィールドワークA	2	III	Red	◎				
地理学フィールドワークB	2	I～III	Green	◎				
地理学フィールドワーク演習	2	III	Red	◎				
地理学研究法演習	2	III	Red	◎				
地域分析学演習II	2	IV	Red	○	以下の科目から2単位選択			
環境地理学演習II	2	IV	Red	○				
社会地理学演習II	2	IV	Red	○				
都市・福祉地理学演習II	2	IV	Red	○				
地理学卒業演習	2	IV	Red	◎				
卒業論文	8	IV	Red	◎				
地理学選択基礎	2	I		○	以下の科目から10単位選択			
都市と自然	2	I	Pink	○		○	主プログラムで未履修科目から20単位選択	
地理学英書講読	2	I～II	Green	○		○		
地図学	2	II～IV	Green	○		○		
都市地理学	2	I～IV	Green	○		○		
経済地理学	2	I～IV	Green	○		○		
社会地理学	2	I～IV	Green	○		○		
自然地理学	2	I～IV	Green	○		○		

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム		◎必修 ○選択	
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
文化地理学	2	I～IV	Green	○		○	
測量学	2	II～IV	Green	○		○	
地誌学	2	II～IV	Green	○		○	
地理情報システム演習 I	2	II～III	Green	○		○	
環境地理学基礎演習	4	II～III	Green	○	以下の科目から4単位選択	○	
人文地理学分析基礎演習	4	II～III	Green	○		○	
文化地理学演習	2	II～IV	Red	○	以下の科目から2単位選択	○	
地域分析学演習 I	2	II～IV	Red	○		○	
環境地理学演習 I	2	II～IV	Red	○		○	
自然地理学演習 I	2	II～IV	Red	○		○	
社会地理学演習 I	2	II～IV	Red	○		○	
都市・福祉地理学演習 I	2	II～IV	Red	○		○	
オセアニア社会文化論 I	2	II～IV	Green			○	
オセアニア社会文化論 II	2	II～IV	Red			○	
文化理論研究	2	II～IV	Green			○	
地域開発論	2	II～IV	Green			○	
フィールドワーク方法論	2	II～IV	Green			○	
社会政策論 I	2	I～IV	Pink			○	
社会政策論 II	2	II～IV	Green			○	
環境化学	2	II	Green			○	
住居学概論	2	I	Pink			○	
民俗学	2	I～IV	Pink			○	
地理環境学演習 I	2	II～IV	Red			○	
地理環境学演習 II	2	II～IV	Red			○	
地理環境学演習 III	2	II～IV	Red			○	
地理環境学演習 IV	2	II～IV	Red			○	
地理情報システム演習 II	2	II～IV	Red			○	
都市社会史	2	II～IV	Green			○	
歴史情報論	2	II～IV	Green			○	
地球環境科学	2	I～III	Pink			○	
大気・海洋科学概論	2	I～IV	Pink			○	
地学基礎実験	2	I～IV	Pink			○	
環境情報論	2	III～IV	Red			○	
建築環境計画論	2	II	Green			○	
歴史文化論	2	II～III	Green			○	
環境デザイン論	2	II～III	Green			○	



# 言語文化学科 日本語・日本文学コース

カリキュラムポリシー	主：44単位	強化：20単位
<b>主プログラム</b> <b>①教育目標</b> 本プログラムにおいては、日本語・日本文学について多角的に学び、言語と文学の観点から日本文化の本質を考察する識見と力量を育むことを目標とします。日本語学・日本上代文学・日本中古文学・日本中世文学・日本近世文学・日本近代文学・日本現代文学の各領域にわたって、基礎から応用へと段階をふみながら、その全般について学習します。 <b>②内容・構成</b> 日本語・日本文学の根幹をなす科目群から構成されています。基礎的学習である概論、通時的学習の文学史、各論を学ぶ講読・特殊研究・特殊講義が、知識の習得に関わる科目群としておかれ、これらは1年次から4年次まで、段階をふんで履修します。研究方法の習得にあたっては、2年次より用意された各種演習によって学び、これらすべての統合として、4年次に卒業論文の執筆が配置されています。		
<b>強化プログラム</b> <b>①教育目標</b> 本プログラムにおいては、日本語・日本文学について広範に学び、言語と文学の観点から日本文化の本質を考察する識見と力量を育むことを目標とします。日本語学・日本上代文学・日本中古文学・日本中世文学・日本近世文学・日本近代文学・日本現代文学の各領域にわたって、深くかつ発展的に学習します。 <b>②内容・構成</b> 強化プログラムは、主プログラムの履修を基盤に、さらに各自の関心を専門的に深化・発展させるためのものです。よって、科目群も、高度な内容のものを中心に履修するよう配置されています。		

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム				
				主プログラム	備考	◎必修 ○選択	強化プログラム	備考
卒業論文	8	Ⅳ	Red	◎				
日本文学概説	2	Ⅰ～Ⅱ	Pink	○	以下の科目から8単位選択			
日本語学通論	2	Ⅰ～Ⅱ	Pink	○				
英語圏言語文化入門	2	Ⅰ～Ⅱ	Pink	○				
中国現代文学史	2	Ⅰ～Ⅱ	Pink	○				
中国古典文学史（宋～清）	2	Ⅰ～Ⅱ	Pink	○				
ヨーロッパ言語文化論	2	Ⅰ～Ⅱ	Pink	○				
言語学入門Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅱ	Pink	○				
言語学入門Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅱ	Pink	○				
日本古典文学史論（上代）	2	Ⅰ～Ⅱ	Green	○	以下の科目から8単位選択	○	以下の科目から4単位選択	
日本古典文学史論（中古）	2	Ⅰ～Ⅲ	Green	○		○		
日本古典文学史論（中世）	2	Ⅱ～Ⅲ	Green	○		○		
日本古典文学史論（近世）	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○		
日本近代文学史論（近代）	2	Ⅲ～Ⅳ	Green	○		○		
日本近代文学史論（現代）	2	Ⅲ～Ⅳ	Green	○		○		
日本語語彙論	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○	以下の科目から2単位選択	○	以下の科目から2単位選択	
日本語文法総論	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○		○		
日本語音声表現論	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○		○		
日本語文章表現論	2	Ⅰ～Ⅱ	Pink	○	以下の科目から2単位選択	○	以下の科目から2単位選択	
日本文学論講読Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅲ	Pink	○		○		
日本文学論講読Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅲ	Pink	○		○		
日本文学論講読Ⅲ	2	Ⅰ～Ⅲ	Pink	○		○		
日本文学論講読Ⅳ	2	Ⅰ～Ⅲ	Pink	○	○			
日本語学特殊研究	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	以下の科目から6単位選択	○	以下の科目から6単位選択	
日本語史特殊研究	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○		
日本古典文学論特殊研究（上代）	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○		○		

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム		◎必修 ○選択	
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
日本古典文学論特殊研究 (中古)	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
日本古典文学論特殊研究 (中世)	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
日本古典文学論特殊研究 (近世)	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
日本近代文学論特殊研究 (近代)	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
日本近代文学論特殊研究 (現代)	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
日本語学特殊講義Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
日本語学特殊講義Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
日本古典文学論特殊講義Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
日本古典文学論特殊講義Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
日本古典文学論特殊講義Ⅲ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
日本近代文学論特殊講義Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
日本近代文学論特殊講義Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
日本語・日本文学選択基礎	2	Ⅰ		○			
日本古典文学論基礎演習Ⅰ	2	Ⅱ	Pink	◎			
日本古典文学論演習 (上代)Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○	以下の科目 から6単位 選択	○	以下の科目 から2単位 選択
日本古典文学論演習 (上代)Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本古典文学論演習 (中古)Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本古典文学論演習 (中古)Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本古典文学論演習 (中世)Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本古典文学論演習 (中世)Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本古典文学論演習 (近世)Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本古典文学論演習 (近世)Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本近代文学論演習 (近代)Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本近代文学論演習 (近代)Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本近代文学論演習 (現代)Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本近代文学論演習 (現代)Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本語学演習Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本語学演習Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
日本語学研究指導	2	Ⅳ	Red	○	以下の科目か ら2単位選択		
日本文学研究指導	2	Ⅳ	Red	○			
日本古典文学論基礎演習Ⅱ	2	Ⅱ	Pink			○	以下の科目か ら2単位選択
日本語学基礎演習	2	Ⅱ	Pink			○	
書道Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	以下の科目か ら2単位選択
書道Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	

# 言語文化学科 中国語圏言語文化コース

カリキュラムポリシー	主：44単位	強化：20単位
<b>主プログラム</b> <b>①教育目標</b> 中国語圏言語文化コースでは、現代中国語のトレーニングを基盤として、中国の現代文化および古典文化、ひいては中国に対する総合的な理解を深めることを目指しています。確実な中国語運用能力の土台のもとに、様々な分野で活躍しうる人材を育成することを目標とします。 <b>②内容・構成</b> 本プログラムは、学科共通科目（選択）、中国語の実践的運用能力を習得するための科目群（必修）、現代語学・古典文献に関する基本的知識を習得するための科目群（必修）、現代文化、現代語学、古典文献、古典文学の四分野に関する研究方法を習得するための科目群（選択）、そして卒業論文作成指導の科目群（選択）ならびに卒業論文（必修）から構成されます（また別途、高大連携科目を設けます）。		
<b>強化プログラム</b> <b>①教育目標</b> 中国語圏言語文化コースの主プログラムと併せて履修することにより、中国の言語文化に関するより一層高度な知識・技能を習得することを目標とします。高等学校等の教員を目指す学生、あるいは大学院に進学することを希望する学生には本プログラムが適しています。 <b>②内容・構成</b> 主プログラムよりも高度な中国語の実践運用能力の習得を目指すための科目群と、現代文化・現代語学・古典文献・古典文学の四分野に関する研究技能を強化するための科目群、および大学院との連携を意識した科目から構成されます。		

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム				
				主プログラム	備考	◎必修 ○選択	強化プログラム	備考
日本文学概説	2	I～II	Pink	○	以下の科目から8単位選択			
日本語学通論	2	I～II	Pink	○				
英語圏言語文化入門	2	I～II	Pink	○				
中国現代文学史	2	I～II	Pink	○				
中国古典文学史（宋～清）	2	I～II	Pink	○				
ヨーロッパ言語文化論	2	I～II	Pink	○				
言語学入門Ⅰ	2	I～II	Pink	○				
言語学入門Ⅱ	2	I～II	Pink	○				
中国語ヒアリング基礎	2	I～II	Green	◎				
中国語コミュニケーション・スキル	2	II～IV	Green	◎				
中国語作文基礎演習	2	II～IV	Red	◎				
中国語作文応用演習	2	II～IV	Red	◎				
中国語講読	2	II～IV	Green	◎				
中国語学概論	2	I～II	Pink	◎				
中国古典文学史（先秦～唐）	2	I～II	Pink	◎				
中国文化論	2	II～IV	Green	○	以下の科目から12単位選択	○	以下の科目から、主プログラムにおいて既修得の科目を除く4単位選択	
中国現代作家論	2	II～IV	Red	○		○		
日中対照言語学	2	II～IV	Green	○		○		
中国語統語論	2	II～IV	Green	○		○		
中国古典文献講読入門	2	II～IV	Green	○		○		
中国古典文献講読基礎	2	II～IV	Green	○		○		
中国文学古典講読	2	II～IV	Green	○		○		
中国文学古典演習	2	II～IV	Red	○		○		
中国語圏言語文化選択基礎	2	I		○				
中国現代文化特別演習	2	IV	Red	○	以下の科目から2単位選択			
中国現代語学特別演習	2	IV	Red	○				

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム			
				主プログラム	備考	◎必修	○選択
中国古典文献特別演習	2	Ⅳ	Red	○			
中国古典文学特別演習	2	Ⅳ	Red	○			
卒業論文	8	Ⅳ	Red	◎			
中国言語文化論演習	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			◎	
中国事情	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			◎	
中国語会話演習	2	Ⅱ～Ⅳ	Red			◎	
中国語ヒアリング演習	2	Ⅱ～Ⅳ	Red			◎	
中国現代作品論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			◎	
中国語文法論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			◎	
中国語学文献講読	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			◎	
中国古典詩講義演習	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			◎	

# 言語文化学科 英語圏言語文化コース

カリキュラムポリシー	主：44単位	強化：20単位
<b>主プログラム</b> <b>①教育目標</b> 英語圏言語文化主プログラムは、英語圏の言語文化に関する研究を専攻し、柔軟な英語運用能力を習得するとともに、学術的研究の成果や深い思想を英語で正確に表現し、自信を持って広く世界に発信できる能力を身につけることを目指すものです。スピーキングの技能に関して言えば、単なる日常的会話のレベルにとどまることなく、将来は海外の研究者・知識人と対等に議論できるレベルの技能の習得を目標とします。		
<b>②内容・構成</b> 本プログラムは、英語で学術的論文を書きまたその内容を口頭で正確に発表できるようになるための、方法論的問題を学ぶ科目群および基礎から中級レベルに至る専門的知識・教養を学ぶ科目群を中心に組まれています。また中学・高等学校の教員免許（英語）を取得するために必要な科目の単位も、本プログラムの中で取得できるように組まれています。本プログラムをとる学生は、最終年に英語で卒業論文を提出することが義務づけられています。		
<b>強化プログラム</b> <b>①教育目標</b> 英語圏の言語文化についての高度な専門的知識・技能を身につけるためのプログラムである。本プログラム履修者は、卒業後国際社会で通用する洗練された英語力と、豊かにして深い文化的教養を身につけて巣立つことを期待されています。また卒業後に大学院進学を目指す人が履修するのにも、ふさわしいプログラムです。		
<b>②内容・構成</b> 英語圏言語文化主プログラムが、専門的研究の基本的な方法論を学び、英語で学術論文を書く技術を修得するための科目を中心に組まれているのに対し、本プログラムは主としてより専門性の高い科目群を中心に構成されています。分野にとらわれず一般性の高い方法論等を学ぶ科目群においては、最終的には上級レベルまで到達すべく組まれています。		

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
日本文学概説	2	I～II	Pink	○	以下の科目から8単位選択		
日本語学通論	2	I～II	Pink	○			
英語圏言語文化入門	2	I～II	Pink	○			
中国現代文学史	2	I～II	Pink	○			
中国古典文学史（宋～清）	2	I～II	Pink	○			
ヨーロッパ言語文化論	2	I～II	Pink	○			
言語学入門Ⅰ	2	I～II	Pink	○			
言語学入門Ⅱ	2	I～II	Pink	○			
英米文学演習（初級）	2	II～IV	Pink	◎	以下の科目から6単位選択		
英作文演習（初級）	2	II	Pink	◎			
英会話演習（初級）	2	II	Pink	◎			
対照表現学演習Ⅰ	2	III～IV	Red	◎			
対照表現学演習Ⅱ	2	III	Red	◎			
英文法Ⅰ	2	I	Pink	◎			
英文法Ⅱ	2	I	Pink	◎			
卒業論文	8	IV	Red	◎			
特別演習（言語研究方法論）Ⅰ	2	III	Red	○			
特別演習（言語研究方法論）Ⅱ	2	III～IV	Red	○			
特別演習（英米文学研究方法論）Ⅰ	2	III	Red	○	○の科目から8単位選択		
特別演習（英米文学研究方法論）Ⅱ	2	III～IV	Red	○			
特別演習（作品分析）	2	IV	Red	○			
特別演習（言語資料分析）	2	IV	Red	○			
英語学入門	2	II	Pink	○			
英語学概論	2	II～IV	Green	○			

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム		◎必修 ○選択	
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
英文法演習	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	以下の科目 から6～8単 位選択
英語音声学演習	2	Ⅱ	Green	○		○	
英文学史Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅲ	Green	○		○	
英文学史Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
米文学史Ⅰ	2	Ⅲ	Green	○		○	
米文学史Ⅱ	2	Ⅲ	Green	○		○	
英米文学演習（中級）	2	Ⅲ	Green			○	
英米文学演習（上級）	2	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
英語圏言語文化選択基礎	2	Ⅰ		○			
英語圏テキスト講読	2	Ⅱ	Pink	○			
英作文演習（中級）	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	以下の科目 から12～14 単位選択
英会話演習（中級）	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
英文学特殊講義Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
英文学特殊講義Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
英文学特殊講義Ⅲ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
英文学特殊講義Ⅳ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
英文学特殊講義Ⅴ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
英文学特殊講義Ⅵ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
英文学特殊講義Ⅶ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
英文学特殊講義Ⅷ	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
英語学特殊講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
英語学特殊講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
英語学特殊講義Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
英語学特殊講義Ⅳ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
英語学特殊講義Ⅴ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
英語学特殊講義Ⅵ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
英語学特殊講義Ⅶ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
英語学特殊講義Ⅷ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
英語圏言語文化研究	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
英米事情	2	Ⅲ～Ⅳ	Green	○			
第二言語教授法研究	2	Ⅲ～Ⅳ	Green	○			
中国文化論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
仏語圏言語文化論Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
仏語圏言語文化論Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
独文学特殊講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
英作文演習（上級）	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
英会話演習（上級）	2	Ⅲ	Red			○	
ギリシャ語	4	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
ラテン語	4	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
スペイン語	4	Ⅱ～Ⅳ	Pink			○	
イタリア語	4	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	

# 言語文化学科 仏語圏言語文化コース

カリキュラムポリシー	主：44単位	強化：20単位
<b>主プログラム</b> <b>①教育目標</b> 本プログラムの教育目標は以下ようになります。 1 フランス語の専門的知識と実践的運用能力を身に付けます。 2 フランス語で営まれている様々な文化現象を理解します。 3 狭い意味での言語文化だけではなく、思想から映画まで、ファッションから移民問題まで、幅広くフランス語圏の文化と社会を学びます。 4 ドイツ語圏文化を初めとして、イタリアやスペインなどのヨーロッパの他の国の文化や、あるいは世界のフランス語圏の文化にも視野を広げます。 5 日仏交流、日欧交流などの異文化交流にも関心を持ちます。 <b>②内容・構成</b> 本プログラムは、上記のような本コースの教育目標をプログラム全体において実現するために、以下のような5つの科目群から構成されます。 一番目の科目群は、言語文化学科共通科目です。ここではヨーロッパのみならず、広く英語圏、中国語圏、日本の言語文化の諸相を学びます。また言語学の基礎もここで学びます。 二番目の科目群では、フランスの周辺国を中心として広くヨーロッパの言語や文化についての知識を獲得します。 三番目の科目群では、フランス語圏の文化やフランスの社会について知見を得ます。 四番目の科目群では、フランス語の運用能力を高めます。 五番目の科目群では、フランスの文学や思想を分析します。		
<b>強化プログラム</b> <b>①教育目標</b> 本プログラムの教育目標は、主プログラムで学んだ幅広い知見を基礎にして、さらに、各人の関心に応じて自分が学習したい領域をより集中的に学ぶことです。そして、そのことによって、より深い専門的知識やより高い語学能力を身につけることを目指します。 <b>②内容・構成</b> 主プログラムを構成する5つの科目群から、学科共通科目の科目群を除いた残りの4つの科目群から構成されます。さらに主プログラムに含まれる主として1、2年生で履修する基本的な授業科目は、ここでは原則的に除かれています。		

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
日本文学概説	2	I～II	Pink	○	以下の科目から8単位選択		
日本語学通論	2	I～II	Pink	○			
英語圏言語文化入門	2	I～II	Pink	○			
中国現代文学史	2	I～II	Pink	○			
中国古典文学史(宋～清)	2	I～II	Pink	○			
ヨーロッパ言語文化論	2	I～II	Pink	○			
言語学入門I	2	I～II	Pink	○			
言語学入門II	2	I～II	Pink	○			
欧州文化論I	2	II～IV	Green	○	以下の科目から26単位選択	○	○の科目から20単位選択
欧州文化論II	2	II～IV	Green	○		○	
西欧社会文化論I	2	I～IV	Pink	○			
西欧社会文化論II	2	I～IV	Pink	○			
西欧社会文化論III	2	II～IV	Green	○		○	
西欧社会文化論IV	2	II～IV	Green	○		○	
独文学演習I	2	III～IV	Red	○		○	
独文学演習II	2	III～IV	Red	○		○	
独文学特殊講義I	2	III～IV	Red	○		○	
独文学特殊講義II	2	III～IV	Red	○		○	

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム			
				主プログラム	備考	◎必修	○選択
ギリシャ語	4	I～IV	Pink	○		○	
ラテン語	4	I～IV	Pink	○		○	
スペイン語	4	I～IV	Pink	○		○	
イタリア語	4	I～IV	Pink	○		○	
仏語圏言語文化論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
仏語圏言語文化論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
仏語圏言語文化論Ⅲ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
仏語圏言語文化論Ⅳ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
仏語圏社会言語論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
仏語圏社会言語論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
フランス社会文化論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
フランス社会文化論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
フランス社会文化論Ⅲ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
フランス社会文化論Ⅳ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○		○	
基礎仏作文演習	2	Ⅱ	Green	○			
中級仏作文演習	2	Ⅱ	Green	○			
基礎仏会話演習	2	Ⅱ	Green	○			
中級仏会話演習	2	Ⅱ	Green	○			
上級仏会話演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
上級仏会話演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
基礎仏語学演習	2	Ⅲ	Red	○		○	
中級仏語学演習	2	Ⅲ	Red	○		○	
上級仏語学演習Ⅰ	2	Ⅳ	Red	○		○	
上級仏語学演習Ⅱ	2	Ⅳ	Red	○		○	
応用仏語学演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
応用仏語学演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
近代仏文学演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
近代仏文学演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
近代仏文学特殊講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
近代仏文学特殊講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
現代仏文学演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
現代仏文学演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
現代仏文学特殊講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
現代仏文学特殊講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
仏文学特殊研究	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
仏文学特別研究	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
仏語言語文化研究指導	2	Ⅳ	Red	◎			
卒業論文	8	Ⅳ	Red	◎			
仏語圏言語文化選択基礎	2			○			



# 人間社会科学科 社会学コース

<b>カリキュラムポリシー</b>	主：48単位	強化：20単位
<p><b>主プログラム</b></p> <p>①教育目標 社会学プログラムは、理論的ないし実証的方法により、人間の意識と行動の社会的側面、およびその基盤をなす社会の構造と変動を多角的に分析・考察し、人間や社会を広く根本的に見通す力量を育てることを目標としています。社会学の基礎理論と研究方法、および社会意識、ジェンダー、社会政策等の主要な研究領域に対応する科目、および文化人類学、教育社会学等の隣接領域に関する科目を用意し、学生それぞれが持つ社会に対する関心を育てる事を目指しています。</p> <p>②内容・構成 主プログラムは、社会学プログラムの中心をなす科目から構成されます。社会学・行動科学の基礎を学ぶ為の、「人間と社会」を含む人間社会科学科の共通科目8単位、社会学カリキュラムの特色である社会調査法と卒業論文などからなる必修科目16単位、社会学・社会調査関連の講義14単位、同じく社会学・社会調査関連の演習10単位の合計48単位です。</p>		
<p><b>強化プログラム</b></p> <p>①教育目標 社会学プログラムは、理論的ないし実証的方法により、人間の意識と行動の社会的側面、およびその基盤をなす社会の構造と変動を多角的に分析・考察し、人間や社会を広く根本的に見通す力量を育てることを目標としています。社会学の基礎理論と研究方法、および社会意識、ジェンダー、社会政策等の主要な研究領域に対応する科目、および文化人類学、教育社会学等の隣接領域に関する科目を用意し、学生それぞれが持つ社会に対する関心を育てる事を目指しています。</p> <p>②内容・構成 強化プログラムは、主プログラムに加えて、社会学・社会調査関連の講義科目6科目12単位を履修する事で社会的なテーマについてより幅広く学習し、また社会学・社会調査関連の演習科目4科目8単位を履修する事で、反省的・批判的思考をより深く養成することを目的としています。</p>		

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム			
				主プログラム	備考	◎必修 ○選択	強化プログラム
人間と社会	2	I～II	Pink	◎			
人間科学論	2	I～II	Pink	○	以下の科目から6単位選択		
人間科学方法論	2	I～II	Pink	○			
人間と情報	2	I～II	Pink	○			
人間と発達	2	I～II	Pink	○			
社会学選択基礎	2	I		○			
ジェンダー論	2	I～IV	Pink	○	以下の科目から14単位選択（内※印の科目からは6単位まで）	○	○の科目から12単位選択（内※印の科目からは、主プログラムで取得するものも含めて6単位まで）
現代社会論	2	I～IV	Pink	○		○	
現代生活論	2	I～IV	Pink	○		○	
社会意識論	2	II～IV	Green	○		○	
比較社会論	2	II～IV	Green	○		○	
社会政策論I	2	I～IV	Pink	○		○	
社会政策論II	2	II～IV	Green	○		○	
社会問題論	2	II～IV	Green	○		○	
社会調査の設計と実施	2	I～IV	Pink	○		○	
教育社会学概論	2	II～IV	Pink	○			
教育社会学特殊講義	2	I～IV	Green	○	○		
学校社会学特殊講義	2	I～IV	Green	○	○		
文化人類学概論	2	I～IV	Pink	○			
文化人類学特殊講義	2	I～IV	Green	○	○		
民族誌学特殊講義	2	I～IV	Green	○	○		
比較社会政策論	2	II～IV	Green	○	○		
フィールドワーク方法論	2	II～IV	Green	○			
人間と空間	2	I～IV	Pink	○			

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム				
				主プログラム	備考	◎必修 ○選択	強化プログラム	備考
都市地理学	2	I～IV	Green	○				
社会福祉学	2	II	Green	※○				
家族社会学	2	III	Green	※○				
老人福祉論	2	II	Green	※○				
老年学	2	II～IV	Green	※○				
地域社会論	2	II	Green	※○				
児童福祉論	2	II～IV	Green	※○				
応用生活統計学	2	I	Pink	※○				
社会統計学 I	2	II	Green	※○				
ジェンダー論演習 I	2	III～IV	Red	○	以下の科目 から10単位 選択	○	以下の科目 から8単位 選択	
ジェンダー論演習 II	2	III～IV	Red	○				
現代社会論演習 I	2	III～IV	Red	○				
現代社会論演習 II	2	III～IV	Red	○				
社会保障論演習 I	2	III～IV	Red	○				
社会保障論演習 II	2	III～IV	Red	○				
社会政策論演習 I	2	II～IV	Red	○				
社会政策論演習 II	2	II～IV	Red	○				
現代生活論演習 I	2	III～IV	Red	○				
現代生活論演習 II	2	III～IV	Red	○				
社会意識論演習 I	2	III～IV	Red	○				
社会意識論演習 II	2	III～IV	Red	○				
教育社会学演習	4	III～IV	Red	○				
学校社会学演習	4	III～IV	Red	○				
文化人類学演習	4	III～IV	Red	○				
民族誌学演習	4	III～IV	Red	○				
社会調査法	4	II～IV	Red	◎				
社会学研究指導 I	2	III	Green	◎				
社会学研究指導 II	2	IV	Red	◎				
卒業論文	8	IV	Red	◎				

カリキュラムポリシー	主：48単位	強化：20単位
<p><b>主プログラム</b></p> <p>①教育目標 教育科学プログラムは、「教育」という営みを理論と実践の両面から多角的に考察し、教育から人間や社会を広く根本的に見通す力量を育てることを趣旨としています。4年間の学習を通じて、教育にかかわる事象をテーマに選び、自分なりの知識、視点、方法で卒業論文をまとめることとなります。この主プログラムは、卒業論文を作成するための必要最小限の学習メニューです。また、本プログラムの科目は、小学校教員等の教職課程の一部を構成しています。</p> <p>②内容・構成 本プログラムは、学科共通科目（8単位、うち「人間と発達」は必修）、他コース科目（6単位）、概論（6単位）、特殊講義（8単位）、演習（8単位）および必修の「教育実地研究」（1年次）、「教育科学研究指導I」（3年次）、「同II」（4年次）「卒業論文」から成っています。教育思想、教育史、教育社会学、文化人類学、教育方法学、教育開発論、生涯学習論等から自分の専攻領域を選び、その領域を中心にして概論・特殊講義・演習を選んで履修してください。</p>		
<p><b>強化プログラム</b></p> <p>①教育目標 教育科学の主プログラムと重ねて履修することにより、教育という事象をより幅広く、かつより深く捉えることを可能にするための学習メニューです。概論、特殊講義、演習を主プログラムに加えて幅広く履修します。教員その他教育にかかわる職業に就く場合、大学院で引き続き教育科学を学ぶ場合のほか、教育科学の内容で一定の水準の卒業論文を作成するためには、本プログラムが適しています。</p> <p>②内容・構成 概論・特殊講義・演習でプログラムを構成しています。主プログラムだけでは概論が3科目、特殊講義が4科目、演習が2科目しか履修できませんが、本プログラムで概論2～4科目、特殊講義2～4科目、演習2～3科目をさらに履修することができます。自分が専攻する領域に関連する科目をやや広く履修し、知識や研究方法の基礎固めが可能となります。</p>		

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
人間と発達	2	I～II	Pink	◎			
人間科学論	2	I～II	Pink	○	以下の科目から6単位選択		
人間科学方法論	2	I～II	Pink	○			
人間と社会	2	I～II	Pink	○			
人間と情報	2	I～II	Pink	○			
ジェンダー論	2	I～IV	Pink	○			
現代社会論	2	I～IV	Pink	○	以下の科目から6単位選択		
教育心理学概論	2	I～II	Pink	○			
社会心理学概論	2	I～II	Pink	○			
発達心理学概論	2	I～II	Pink	○			
臨床心理学概論	2	I～II	Pink	○			
認知心理学概論	2	I～II	Pink	○			
教育思想概論	2	I～IV	Pink	○		以下の科目から6単位選択	○
教育史概論	2	I～IV	Pink	○	○		
教育社会学概論	2	I～IV	Pink	○	○		
文化人類学概論	2	I～IV	Pink	○	○		
教育行財政学概論	2	I～IV	Pink	○	○		
教育方法学概論	2	I～IV	Pink	○	○		
教育課程概論	2	I～IV	Pink	○	○		
教育開発概論	2	I～IV	Pink	○	○		
生涯学習概論	2	I～IV	Pink	○	○		
教育科学概論 I	2	I～IV	Pink	○	○		
教育科学概論 II	2	I～IV	Pink	○	○		

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム			
				主プログラム	備考	◎必修	○選択
教育思想特殊講義	2	I～IV	Green	○	○の科目から8単位選択	○	○の科目から4単位以上選択
教育人間学特殊講義	2	I～IV	Green	○		○	
教育史特殊講義	2	I～IV	Green	○		○	
教育史料分析特殊講義	2	I～IV	Green	○		○	
教育社会学特殊講義	2	I～IV	Green	○		○	
学校社会学特殊講義	2	I～IV	Green	○		○	
文化人類学特殊講義	2	I～IV	Green	○		○	
民族誌学特殊講義	2	I～IV	Green	○		○	
教育方法学特殊講義	2	I～IV	Green	○		○	
教育課程特殊講義	2	I～IV	Green	○		○	
教育開発特殊講義	2	I～IV	Green	○		○	
比較教育特殊講義	2	I～IV	Green	○		○	
生涯学習特殊講義	2	I～IV	Green	○		○	
社会教育学特殊講義	2	I～IV	Green	○		○	
教育科学特殊講義Ⅰ	2	I～IV	Green	○		○	
教育科学特殊講義Ⅱ	2	I～IV	Green	○		○	
教育科学特殊講義Ⅲ	2	I～IV	Green	○		○	
教育科学特殊講義Ⅳ	2	I～IV	Green	○		○	
学校インターンシップ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
児童社会文化論	2	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	
博物館学概論	2	Ⅱ～Ⅳ	Ivory		○		
教育科学選択基礎	2	I		○			
教育思想演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○	以下の科目から8単位選択	○	以下の科目から8単位以上選択
教育人間学演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
教育史演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
教育史料分析演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
教育社会学演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
学校社会学演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
文化人類学演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
民族誌学演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
教育方法学演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
教育課程演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
教育開発演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
比較教育演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
生涯学習演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
社会教育学演習	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
教育科学演習Ⅰ	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
教育科学演習Ⅱ	4	Ⅲ～Ⅳ	Red	○	○		
社会教育計画Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Ivory		○	以下の科目から0～2単位選択	
社会教育計画Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Ivory		○		
社会教育特講Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Ivory		○		
社会教育特講Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Ivory		○		
社会教育課題研究	2	Ⅱ～Ⅳ	Ivory		○		
社会教育実習	2	Ⅱ～Ⅳ	Ivory		○		
教育実地研究	2	I	Pink	◎			
教育科学研究指導Ⅰ	1	Ⅲ	Green	◎			
教育科学研究指導Ⅱ	1	Ⅳ	Red	◎			
卒業論文	8	Ⅳ	Red	◎			

# 人間社会科学科 心理学コース

カリキュラムポリシー	主：48単位	強化：20単位
------------	--------	---------

## 主プログラム

### ①教育目標

心理学は、実証的な方法によって、人間や他の動物などの行動を観察・分析し、人間の心的な活動の仕組みや働きを解明しようとする学問です。主プログラムでは、学生に、心理学に関する基礎的な知識と、心理学研究に必要なテクニックを学ばせるとともに、人間に関わる事象への深い理解と科学的な見方、更に、どのような問題に対しても論理的、分析的に考えられる力を身につけさせたいと考えています。

### ②内容・構成

主プログラムの設定科目には、3つの柱があります。第1に、心理学に関する基礎知識を学ぶための概論、第2に、概論の内容を深めるための演習、第3に、心理学研究のテクニックを習得するための実験演習や研究法などの科目があります。そして、4年次には、こうして身につけた知識とテクニックを使い、自分自身の関心を持ったテーマについて、研究を計画・実施し、卒業論文を執筆します。本プログラムには、心理学の主要5領域（認知、社会、教育、発達、臨床）がありますが、主プログラムでは4年次までにこのうちの1領域を専攻し、その領域を中心とした卒業研究をおこないます。

## 強化プログラム

### ①教育目標

心理学は、実証的な方法によって、人間や他の動物などの行動を観察・分析し、人間の心的な活動の仕組みや働きを解明しようとする学問です。専門強化プログラムでは、学生に、主プログラムで培った心理学に関する基礎的な知識と心理学研究に必要なテクニックをさらに磨き、領域融合的な先端的内容による卒業研究をおこなうことによって、幅広い心理学的研究力や実践力を身につけさせたいと考えています。

### ②内容・構成

専門強化プログラムでは、主専攻プログラムで専攻した領域（認知、社会、教育、発達、臨床）に加えて、もう1領域を専攻し、先端的な領域融合型の卒業研究をおこなうことをめざします。

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
人間科学方法論	2	I～II	Pink	◎			
人間と情報	2	I～II	Pink	◎			
人間科学論	2	I～II	Pink	○	以下の科目から4単位選択		
人間と発達	2	I～II	Pink	○			
人間と社会	2	I～II	Pink	○			
発達心理学概論	2	I～II	Pink	◎			
認知心理学概論	2	I～II	Pink	◎			
教育心理学概論	2	I～II	Pink	◎			
社会心理学概論	2	I～II	Pink	◎			
臨床心理学概論	2	I～II	Pink	◎			
心理統計法	2	II	Pink	◎			
心理学基礎演習（理論）	2	II	Pink	◎			
心理学基礎演習（応用）	2	II	Pink	◎			
心理学基礎実験演習 I	2	II	Pink	◎			
心理学基礎実験演習 II	2	II	Pink	◎			
心理学応用実験演習	2	III	Green	◎			
卒業論文	8	IV	Red	◎			
発達心理学演習（基礎）	2	II～III	Green	○	以下の科目から「基礎」「応用」を必ず含む4単位選択	○	○の科目から20単位選択
発達心理学演習（応用）	2	III～IV	Red	○		○	
認知心理学演習（基礎）	2	II～III	Green	○		○	
認知心理学演習（応用）	2	III～IV	Red	○		○	
教育心理学演習（基礎）	2	II～III	Green	○		○	
教育心理学演習（応用）	2	III～IV	Red	○		○	

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム		◎必修 ○選択	
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
社会心理学演習（基礎）	2	Ⅱ～Ⅲ	Green	○		○	
社会心理学演習（応用）	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
臨床心理学演習（基礎）	2	Ⅱ～Ⅲ	Green	○		○	
臨床心理学演習Ⅰ（応用）	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
臨床心理学演習Ⅱ（応用）	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
心理学選択基礎	2	I		○			
発達心理学の展開	2	Ⅱ～Ⅲ	Green	○	以下の科目 から2単位 選択	○	
認知心理学の展開	2	Ⅱ～Ⅲ	Green	○		○	
教育心理学の展開	2	Ⅱ～Ⅲ	Green	○		○	
社会心理学の展開	2	Ⅱ～Ⅲ	Green	○		○	
臨床心理学の展開	2	Ⅱ～Ⅲ	Green	○		○	
発達心理学特殊講義	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
認知心理学特殊講義	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
教育心理学特殊講義	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
社会心理学特殊講義	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
臨床心理学特殊講義	2	Ⅱ～Ⅳ	Red	○		○	
発達心理学研究法（基礎）	2	Ⅳ	Red	○	以下の科目 から4単位 選択	○	
発達心理学研究法（応用）	2	Ⅳ	Red	○		○	
認知心理学研究法（基礎）	2	Ⅳ	Red	○		○	
認知心理学研究法（応用）	2	Ⅳ	Red	○		○	
教育心理学研究法（基礎）	2	Ⅳ	Red	○		○	
教育心理学研究法（応用）	2	Ⅳ	Red	○		○	
社会心理学研究法（基礎）	2	Ⅳ	Red	○		○	
社会心理学研究法（応用）	2	Ⅳ	Red	○		○	
臨床心理学研究法Ⅰ（基礎）	2	Ⅳ	Red	○		○	
臨床心理学研究法Ⅰ（応用）	2	Ⅳ	Red	○		○	
臨床心理学研究法Ⅱ（基礎）	2	Ⅳ	Red	○	○		
臨床心理学研究法Ⅱ（応用）	2	Ⅳ	Red	○	○		

# グローバル文化学環

<b>カリキュラムポリシー</b>	<b>主：44単位</b>
<b>主プログラム</b> <b>①教育目標</b> グローバル化時代に、文化の差異を理解しながら、その差異をこえて協働し、新しい関係や価値を創り出していく力をもった市民を育てます。 <b>②内容・構成</b> 次の科目群からなり、いずれの科目においても学生との双方向的な教育を重視しています。現場を訪ねて考える実習や、国内外からの講師招聘、インターネットを含む交流授業などをとりいれています。 (1) 政治・経済・文化のグローバル化を理解する基礎科目 (2) 変容する地域や文化をどのように理解するかを学ぶ「地域研究・地域文化 (Comprehension)」 (3) 多様な文化をもつ人々が交流するための理論と実践を学ぶ「多文化交流 (Communication)」 (4) 国際的な場での平和と協力について学ぶ「国際関係・国際協力 (Collaboration)」 (5) 地域研究、多文化交流、国際協力にかかわる現場を体験し、現場でのコミュニケーションや問題解決の力を養う「実習」 (6) 文献資料、フィールドワーク、社会調査などにもとづく卒業研究 (4年生)、およびそのツールとなる研究法科目	

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム	
				主プログラム	◎必修 ○選択 備考
哲学基礎論	2	I～II	Pink	○	以下の科目から、所属する学科が開講する科目を4単位選択
倫理学基礎論	2	I～II	Pink	○	
美術史基礎論	2	I～II	Pink	○	
比較文化史	2	I～II	Pink	○	
比較社会史	2	I～II	Pink	○	
人間と空間	2	I～II	Pink	○	
自然と人間	2	I～II	Pink	○	
日本文学概説	2	I～II	Pink	○	
日本語学通論	2	I～II	Pink	○	
英語圏言語文化入門	2	I～II	Pink	○	
中国古典文学史 (宋～清)	2	I～II	Pink	○	
中国現代文学史	2	I～II	Pink	○	
言語学入門 I	2	I～II	Pink	○	
言語学入門 II	2	I～II	Pink	○	
ヨーロッパ言語文化論	2	I～II	Pink	○	
人間と社会	2	I～II	Pink	○	
人間と発達	2	I～II	Pink	○	
人間科学論	2	I～II	Pink	○	
人間科学方法論	2	I～II	Pink	○	
人間と情報	2	I～II	Pink	○	
グローバル文化学総論	2	I～IV	Pink	○	以下の科目から8単位以上選択
国際関係論	2	I～IV	Pink	○	
グローバル・メディア論	2	I～IV	Pink	○	
グローバル化と経済	2	I～IV	Pink	○	
比較ジェンダー論	2	I～IV	Green	○	
比較法文化論	2	I～IV	Pink	○	
グローバル・ヒストリー	2	I～IV	Pink	○	
地域研究方法論	2	II～IV	Green	○	
文化理論研究	2	II～IV	Green	○	
多文化間交流論	2	II～IV	Green	○	
言語と文化	2	II～IV	Green	○	
国際協力学	2	I～IV	Green	○	

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム	
				主プログラム	◎必修 ○選択 備考
文化変動論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	以下の科目から4単位以上選択
文化変動論Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○	
イスラム社会文化論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
イスラム社会文化論Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○	
オセアニア社会文化論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
オセアニア社会文化論Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○	
対日交流論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
中国社会文化論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
東アジア社会文化論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
南アジア社会文化論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
アフリカ社会文化論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
地域研究特論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
英米事情	2	Ⅲ～Ⅳ	Green	○	
文化と人間関係Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	以下の科目から4単位以上選択
文化と人間関係Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○	
グローバル化と言語教育Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
グローバル化と言語教育Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○	
文化と心理	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
表現行動論Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink	○	
表現行動論Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink	○	
言語と社会Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
言語と社会Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
多文化共生論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
国際交流論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
国際交流論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
多文化交流特論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
国際協力方法論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	以下の科目から4単位以上選択
国際協力方法論Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○	
平和構築論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
平和構築論Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○	
国際開発論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
国際開発論Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○	
グローバル化と労働	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
国際機構論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
国際教育協力論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
NGO/NPO論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
比較社会政策論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
地域開発論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
国際金融論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
国際協力特論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
多文化交流実習Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○	以下の科目から4単位以上選択
多文化交流実習Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red	○	
多文化交流実習Ⅲ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○	
多文化交流実習Ⅳ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red	○	
グローバル文化学実習	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○	
地域研究実習Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
地域研究実習Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○	
国際協力実習Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○	
国際協力実習Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red	○	



授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム	
				主プログラム	◎必修 ○選択 備考
国際協力実習Ⅲ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
フィールドワーク方法論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
グローバル文化学方法論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green	○	
グローバル文化学特論	2	Ⅲ～Ⅳ	Green	◎	
卒業研究	8	Ⅳ	Red	◎	
卒業研究演習	2	Ⅳ	Red	○	

# 副プログラム・学際プログラム

## 哲学・倫理学・美術史副プログラム

単位数：20

カリキュラムポリシー	
①教育目標	<p>LA（リベラルアーツ）の中核を担う哲学・倫理学・美術史の使命は、わたしたちの人生を、いかに考え、いかに生き、いかに表現し、いかに幸福なものとするかという、もっとも実的な応用力の養成です。主・強化・副、そのいずれのレベルにおいても、普遍的価値の学習を基礎にし、根本につねにたちもどり現実の実践力を追求します。この高度教養教育に基づき、21世紀型 LA は国際性・学際性・専門性を発信します。</p> <p>本コースはこれに基づき構成され、人類が求めてきた真・善・美についての基礎的な勉強をするためのプログラムを作成しました。哲学、倫理学、美術史を効率よく学ぶためのプログラムになっています。</p> <p>ねらいは二つあります。①哲学、倫理学、美術史を幅広くバランスよく学習することができるということ、②専門的に深く勉強することができるということです。これらの相反する目標に対応するために必要な科目を用意し、それぞれのプログラムに配置しました。</p> <p>副プログラムは、とくに哲学、倫理学、美術史を全体として広く学ぶための科目を配置してあります。</p>
②内容・構成	<p>本プログラムは、哲学、倫理学、美術史の、基礎的な知識を幅広く得るために、基礎論、概論、特殊講義などからなります。</p>

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
哲学基礎論	2	I～II	選択	Pink	以下の科目から20単位選択
倫理学基礎論	2	I～II	選択	Pink	
美術史基礎論	2	I～II	選択	Pink	
哲学概論 I	2	I～IV	選択	Pink	
哲学概論 II	2	I～IV	選択	Pink	
哲学 A I	2	I～IV	選択	Green	
哲学 A II	2	I～IV	選択	Green	
哲学 A III	2	I～IV	選択	Green	
哲学 A IV	2	I～IV	選択	Green	
哲学 B I	2	I～IV	選択	Green	
哲学 B II	2	I～IV	選択	Green	
哲学 B III	2	I～IV	選択	Green	
哲学 B IV	2	I～IV	選択	Green	
倫理学概論 I	2	I～IV	選択	Pink	
倫理学概論 II	2	I～IV	選択	Pink	
日本倫理思想史 I	2	I～IV	選択	Green	
日本倫理思想史 II	2	I～IV	選択	Green	
西洋倫理思想史 I	2	I～IV	選択	Green	
西洋倫理思想史 II	2	I～IV	選択	Green	
倫理学研究	2	II～IV	選択	Green	
西洋倫理思想史研究	2	II～IV	選択	Green	
宗教と倫理学	2	II～IV	選択	Green	
生命と倫理学	2	II～IV	選択	Green	
日本の社会と文化	2	II～IV	選択	Green	
形象分析学特殊講義 I	4	II～IV	選択	Green	
形象分析学特殊講義 II	4	II～IV	選択	Green	
形象分析学特殊講義 III	4	II～IV	選択	Green	
西洋美術史 A I	2	II～IV	選択	Green	
西洋美術史 A II	2	II～IV	選択	Green	
西洋美術史 A III	2	II～IV	選択	Green	
西洋美術史 B I	2	II～IV	選択	Green	
西洋美術史 B II	2	II～IV	選択	Green	

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
西洋美術史BⅢ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
東洋美術史AⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
東洋美術史AⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
東洋美術史AⅢ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
東洋美術史BⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
東洋美術史BⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
東洋美術史BⅢ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
美術史学特殊講義Ⅰ	4	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
美術史学特殊講義Ⅱ	4	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
美術史学特殊講義Ⅲ	4	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	

## カリキュラムポリシー

## ①教育目標

比較歴史学の主プログラムを専攻しない学生に向けて、歴史学のエッセンスを学び、歴史を構成する基本的な地域・時間軸を理解し、歴史資料にもとづく研究法を学ぶことを目的とします。広く社会に生起する事象について、歴史学を学んだことで比較の軸としての複眼的視点を獲得することを目指します。比較歴史学を主プログラムとしないすべての学生に向けて開かれています。また、中学校社会科、高校地歴科および公民科の教職免許取得にも適します。

## ②内容・構成

歴史学の基礎的知識を身につけ歴史学を学ぶとはどういうことなのかを理解する入門型の初級科目、文献・情報収集方法や研究史の調べ方など必須の基礎知識を得るための中級科目、そして各時代・分野ごとの専門性の高い多彩な講義・演習科目群（上級科目）で構成されます。自分の関心に応じて自由なカリキュラム編成が可能であり、幅広くさまざまな時代・地域を学ぶのもよいし、地域や時代を絞った履修形態をとることもできます（たとえば、東洋史型—東洋史の科目群を集中的に履修—、あるいは近世史型—日東西の近世関連科目の集中履修—など）。

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
比較文化史	2	I～II	選択	Pink	以下の科目から20単位選択
比較社会史	2	I～II	選択	Pink	
日本文化史概論	2	I～IV	選択	Pink	
日本史概説	2	I～IV	選択	Pink	
アジア史概説	2	I～IV	選択	Pink	
西洋史概説	2	I～IV	選択	Pink	
日本史研究法	2	II	選択	Green	
アジア史研究法	2	II	選択	Green	
西洋史研究法	2	II	選択	Green	
グローバル・ヒストリー	2	I～II	選択	Pink	
日本史講読	2	II	選択	Green	
アジア史講読	2	II	選択	Green	
西洋史講読	2	II	選択	Green	
古文書学	2	II～IV	選択	Green	
歴史史料学	2	II～IV	選択	Green	
歩いて学ぶ比較歴史 I	2	II～IV	選択	Green	
歩いて学ぶ比較歴史 II	2	II～IV	選択	Green	
歴史史料調査 I	2	III～IV	選択	Green	
歴史史料調査 II	2	III～IV	選択	Green	
歴史現地調査 I	2	III～IV	選択	Green	
歴史現地調査 II	2	III～IV	選択	Green	
考古学通論 I	2	II～IV	選択	Green	
考古学通論 II	2	II～IV	選択	Green	
歴史考古学	2	II～IV	選択	Green	
史跡調査	2	II～IV	選択	Green	
日本古代中世文化史	2	II～IV	選択	Green	
日本近世近代文化史	2	II～IV	選択	Green	
日本古代中世史特殊講義	2	II～IV	選択	Green	
日本近世近代史特殊講義	2	II～IV	選択	Green	
日本古代中世政治史	2	II～IV	選択	Green	
日本近世近代政治史	2	II～IV	選択	Green	
日本古代中世社会経済史	2	II～IV	選択	Green	
日本近世近代社会経済史	2	II～IV	選択	Green	
東アジア政治史	2	II～IV	選択	Green	
西アジア政治史	2	II～IV	選択	Green	

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
東アジア社会経済史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
西アジア社会経済史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
東アジアの歴史と文化	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
西アジアの歴史と文化	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
比較アジア社会史論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
比較アジア社会史論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
比較アジア文化史論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
比較アジア文化史論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
西洋政治史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
西洋社会経済史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
西洋社会史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
西洋中世史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
西洋近世史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
西洋近現代史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
西洋文化史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
フランス史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
ドイツ史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
イギリス史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
歴史学文献講読Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
歴史学文献講読Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
都市社会史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
比較女性史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
比較家族史	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
日本古代史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本古代史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本中世史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本中世史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本近世史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本近世史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本近代史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本近代史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本古代史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本古代史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本中世史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本中世史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本近世史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本近世史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本近代史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
日本近代史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
東アジア史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
東アジア史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西アジア史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西アジア史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
東アジア史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
東アジア史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西アジア史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西アジア史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
比較アジア史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
比較アジア史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
比較アジア史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
比較アジア史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西洋政治史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西洋政治史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西洋社会史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西洋社会史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西洋社会経済史演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西洋社会経済史演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西洋政治史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西洋政治史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西洋社会史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西洋社会史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西洋社会経済史料演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
西洋社会経済史料演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	

カリキュラムポリシー	
①教育目標	総合科学（関係の学）としての地理学の知識を講義、演習によって提供し、自然・人文・社会科学のそれぞれの分野が問題とする現象の地域性、場所性について、地理的センスを身に付けてもらいます。
②内容・構成	自然、政治、経済、社会、文化、言語などのいずれの現象においても、それらが生起する特定の地理的コンテキストの理解が不可欠です。近年の知識情報化社会では、地理的知識・スキル・センスのもつ重要性は、ますます高まるものと考えられます。こうした社会的要請にこたえるための地理学的基礎を、講義と実習で行います。

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
人間と空間	2	I～II	選択	Pink	以下の科目から既修得単位を除く12単位選択
自然と人間	2	I～II	選択	Pink	
都市と自然	2	I	選択	Pink	
地誌学	2	II～IV	選択	Green	
都市地理学	2	I～IV	選択	Green	
経済地理学	2	I～IV	選択	Green	
社会地理学	2	I～IV	選択	Green	
自然地理学	2	I～IV	選択	Green	
文化地理学	2	I～IV	選択	Green	
地理学英書講読	2	I～II	選択	Green	
地図学	2	II～IV	選択	Green	
測量学	2	II～IV	選択	Green	
人文地理学分析基礎演習	4	II～III	選択	Green	
環境地理学基礎演習	4	II～III	選択	Green	以下の科目から2単位選択
地域分析学演習 I	2	II～IV	選択	Red	
環境地理学演習 I	2	II～IV	選択	Red	
自然地理学演習 I	2	II～IV	選択	Red	
文化地理学演習	2	II～IV	選択	Red	
社会地理学演習 I	2	II～IV	選択	Red	
都市・福祉地理学演習 I	2	II～IV	選択	Red	
地理学フィールドワーク B	2	I～III	必修	Green	

## カリキュラムポリシー

## ①教育目標

本プログラムにおいては、日本語・日本文学について広範に学び、言語と文学の観点から日本文化の本質を考察する識見と力量を育むことを目標とします。日本語学・日本上代文学・日本中古文学・日本中世文学・日本近世文学・日本近代文学・日本現代文学の各領域にわたって、その基礎的なところを学習します。

## ②内容・構成

副プログラムは、日本語・日本文学以外のプログラムを主とする学生のためのカリキュラムです。基礎的知識の広範な習得を重視して、科目群も広範かつ基本的なものを配置しています。

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
日本文学概説	2	I～II	必修	Pink	
日本古典文学史論（上代）	2	I～II	選択	Green	以下の科目から6単位選択
日本古典文学史論（中古）	2	I～III	選択	Green	
日本古典文学史論（中世）	2	II～III	選択	Green	
日本古典文学史論（近世）	2	II～IV	選択	Green	
日本近代文学史論（近代）	2	III～IV	選択	Green	
日本近代文学史論（現代）	2	III～IV	選択	Green	
日本語学通論	2	I～II	選択	Pink	
日本語語彙論	2	I～IV	選択	Green	
日本語文法総論	2	I～IV	選択	Green	
日本語音声表現論	2	I～IV	選択	Green	
日本語文章表現論	2	I～II	選択	Pink	以下の科目から4単位選択
日本文学論講読Ⅰ	2	I～III	選択	Pink	
日本文学論講読Ⅱ	2	I～III	選択	Pink	
日本文学論講読Ⅲ	2	I～III	選択	Pink	
日本文学論講読Ⅳ	2	I～III	選択	Pink	以下の科目から6単位選択
日本語学特殊研究	2	II～IV	選択	Green	
日本語史特殊研究	2	II～IV	選択	Green	
日本古典文学論特殊研究（上代）	2	I～IV	選択	Green	
日本古典文学論特殊研究（中古）	2	II～IV	選択	Green	
日本古典文学論特殊研究（中世）	2	II～IV	選択	Green	
日本古典文学論特殊研究（近世）	2	II～IV	選択	Green	
日本近代文学論特殊研究（近代）	2	II～IV	選択	Green	
日本近代文学論特殊研究（現代）	2	II～IV	選択	Green	
日本語学特殊講義Ⅰ	2	II～IV	選択	Red	
日本語学特殊講義Ⅱ	2	II～IV	選択	Red	
日本古典文学論特殊講義Ⅰ	2	II～IV	選択	Red	
日本古典文学論特殊講義Ⅱ	2	II～IV	選択	Red	
日本古典文学論特殊講義Ⅲ	2	II～IV	選択	Red	
日本近代文学論特殊講義Ⅰ	2	II～IV	選択	Red	
日本近代文学論特殊講義Ⅱ	2	II～IV	選択	Red	



## カリキュラムポリシー

## ①教育目標

中国語圏言語文化コース以外の主プログラムを履修する学生が、その主プログラムの学習内容と中国の言語文化とを連携させて学際的な学習・研究を行うことを目標とします。

## ②内容・構成

本プログラムは、中国語の実践的運用能力を習得するための科目群（選択）、現代文化・現代語学・古典文献・古典文学の四分野の基本的知識を習得するための科目群（選択）、四分野に関する研究的アプローチの方法を習得するための科目群（選択）から構成されます。

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
中国語学概論	2	I～II	必修	Pink	
中国古典文学史（先秦～唐）	2	I～II	必修	Pink	
中国語ヒアリング基礎	2	I～II	選択	Green	以下の科目から4単位以上 選択
中国語コミュニケーション・スキル	2	II～IV	選択	Green	
中国語作文基礎演習	2	II～IV	選択	Red	
中国語作文応用演習	2	II～IV	選択	Red	
中国語講読	2	II～IV	選択	Green	以下の科目から6単位以上 選択
中国文化論	2	II～IV	選択	Green	
中国現代作家論	2	II～IV	選択	Red	
日中対照言語学	2	II～IV	選択	Green	
中国語統語論	2	II～IV	選択	Green	
中国古典文献講読入門	2	II～IV	選択	Green	
中国古典文献講読基礎	2	II～IV	選択	Green	
中国文学古典講読	2	II～IV	選択	Green	
中国文学古典演習	2	II～IV	選択	Red	

## カリキュラムポリシー

## ①教育目標

英語圏言語文化副プログラムは、英語圏言語文化以外の領域を主専攻とする学生が副専攻として履修することを主たる目的として設置されています。また英語圏言語文化以外の主プログラムとこのプログラムを併せて履修する形で、中学・高等学校の教員免許（英語）を取得することも可能です。

## ②内容・構成

本プログラムの内容は、主として、英語圏の言語文化を研究するための基礎的科目群、中学・高等学校の教員免許（英語）取得に必要な単位を取得することのできる科目群、学際的研究に関心をもつ他専攻の学生に教養として英語圏言語文化に関する最先端の学問的成果を提供することを想定した科目群から構成されています。

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
英文法Ⅰ	2	Ⅰ	必修	Pink	
英文法Ⅱ	2	Ⅰ	必修	Pink	
英米文学演習（初級）	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Pink	以下の科目から4単位選択
英作文演習（初級）	2	Ⅱ	選択	Pink	
英会話演習（初級）	2	Ⅱ	選択	Pink	
英語学入門	2	Ⅱ	選択	Pink	以下の科目から4～6単位選択
英語学概論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
英文法演習	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
英語音声学演習	2	Ⅱ	選択	Green	
英文学史Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅲ	選択	Green	
英文学史Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
米文学史Ⅰ	2	Ⅲ	選択	Green	
米文学史Ⅱ	2	Ⅲ	選択	Green	
英作文演習（中級）	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	以下の科目から6～8単位選択
英会話演習（中級）	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
英文学特殊講義Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Red	
英文学特殊講義Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Red	
英文学特殊講義Ⅲ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Red	
英文学特殊講義Ⅳ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Red	
英文学特殊講義Ⅴ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Red	
英文学特殊講義Ⅵ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Red	
英文学特殊講義Ⅶ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Red	
英文学特殊講義Ⅷ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Red	
英語学特殊講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
英語学特殊講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
英語学特殊講義Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
英語学特殊講義Ⅳ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
英語学特殊講義Ⅴ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
英語学特殊講義Ⅵ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
英語学特殊講義Ⅶ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
英語学特殊講義Ⅷ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
英語圏言語文化研究	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
英米事情	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Green	
第二言語教授法研究	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Green	

カリキュラムポリシー	
①教育目標	仏語圏言語文化以外の主プログラムを履修した学生が、自分が学んだ主プログラムの内容と本プログラムの内容とを関連させて、学際的な知識や複合的な能力を獲得することを目標とします。
②内容・構成	主プログラムを構成する5つの科目群から、学科共通科目の科目群を除いた残りの4つの科目群から構成されます。履修者の関心に応じて、特に1つの分野を集中的に履修してもよく、また幅広くいくつかの分野を履修するのもよいでしょう。

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
欧州文化論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	以下の科目から20単位選択
欧州文化論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
西欧社会文化論Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Pink	
西欧社会文化論Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Pink	
西欧社会文化論Ⅲ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
西欧社会文化論Ⅳ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
独文学演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
独文学演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
独文学特殊講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
独文学特殊講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
ギリシャ語	4	Ⅰ～Ⅳ	選択	Pink	
ラテン語	4	Ⅰ～Ⅳ	選択	Pink	
スペイン語	4	Ⅰ～Ⅳ	選択	Pink	
イタリア語	4	Ⅰ～Ⅳ	選択	Pink	
仏語圏言語文化論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
仏語圏言語文化論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
仏語圏言語文化論Ⅲ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
仏語圏言語文化論Ⅳ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
仏語圏社会言語論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
仏語圏社会言語論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
フランス社会文化論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
フランス社会文化論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
フランス社会文化論Ⅲ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
フランス社会文化論Ⅳ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
基礎仏作文演習	2	Ⅱ	選択	Green	
中級仏作文演習	2	Ⅱ	選択	Green	
基礎仏会話演習	2	Ⅱ	選択	Green	
中級仏会話演習	2	Ⅱ	選択	Green	
上級仏会話演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
上級仏会話演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
基礎仏語学演習	2	Ⅲ	選択	Red	
中級仏語学演習	2	Ⅲ	選択	Red	
上級仏語学演習Ⅰ	2	Ⅳ	選択	Red	
上級仏語学演習Ⅱ	2	Ⅳ	選択	Red	
応用仏語学演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
応用仏語学演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
近代仏文学演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
近代仏文学演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
近代仏文学特殊講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
近代仏文学特殊講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
現代仏文学演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
現代仏文学演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
現代仏文学特殊講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
現代仏文学特殊講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
仏文学特殊研究	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
仏文学特別研究	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	

## カリキュラムポリシー

## ①教育目標

- ・多様な言語、文化的背景を持つ学習者を理解し、彼らのコミュニケーション能力を向上させるための基盤となる理論や方法、専門性と実践力をもったグローバル社会の日本語教育専門家を育成します。
- ・外国語または第二言語としての日本語教育のスキルを獲得します。

## ②内容・構成

- ・日本語教育副プログラムの科目を学ぶことにより、国内外の教育機関等で活躍する日本語教育専門家に必要とされる専門知識の基礎や実践力を学びます。
- ・所定の科目群中、必修科目を2単位、選択科目を18単位履修すればこのプログラムの必要要件を満たすことができます。

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
第二言語教授法演習Ⅰ	2	I～Ⅳ	必修	Pink	以下の科目から18単位選択
第二言語教授法演習Ⅱ	2	I～Ⅲ	選択	Pink	
日本語表現法概論	2	I～Ⅳ	選択	Pink	
日本語教育学研究法実習	2	I～Ⅳ	選択	Green	
日本語教育学概論Ⅰ	2	I～Ⅳ	選択	Pink	
日本語教育学概論Ⅱ	2	I～Ⅳ	選択	Pink	
日本語教育法演習	2	I～Ⅳ	選択	Green	
多文化間人間関係論演習	2	I～Ⅳ	選択	Green	
異文化間教育学演習	2	I～Ⅳ	選択	Green	
社会言語学演習	2	I～Ⅳ	選択	Green	
日本語学概論Ⅰ	2	I～Ⅳ	選択	Pink	
日本語学概論Ⅱ	2	I～Ⅳ	選択	Pink	
日本語非母語話者年少者教育学概論	2	I～Ⅳ	選択	Pink	
日本語教育学特殊講義	2	I～Ⅳ	選択	Green	

カリキュラムポリシー
<p>①教育目標</p> <p>社会学プログラムは、理論的ないし実証的方法により、人間の意識と行動の社会的側面、およびその基盤をなす社会の構造と変動を多角的に分析・考察し、人間や社会を広く根本的に見通す力量を育てることを目標としています。社会学の基礎理論と研究方法、および社会意識、ジェンダー、社会政策等の主要な研究領域に対応する科目、および文化人類学、教育社会学等の隣接領域に関する科目を用意し、学生それぞれが持つ社会に対する関心を育てる事を目指しています。</p> <p>②内容・構成</p> <p>社会学以外の主プログラムを履修する学生を対象とした副プログラムでは、社会学・行動科学の基礎を学ぶ為の、「人間と社会」を含む学科共通科目を2科目4単位履修する他、社会調査法4単位を必修とする事で社会学の特色である実証研究の方法を修得します。また社会学の講義科目から4科目履修する事で多様な社会学的テーマについての理解を深め、社会学の演習科目2科目に参加する事で、反省的批判的思考の訓練をしながら自らの問題関心を育ててゆく事を目指します。</p>

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
人間と社会	2	I～II	選択	Pink	以下の科目から4単位選択。 ただし、人間社会科学科の学生は、本プログラムの他の科目で単位を満たすことができる。
人間科学論	2	I～II	選択	Pink	
人間科学方法論	2	I～II	選択	Pink	
人間と情報	2	I～II	選択	Pink	
人間と発達	2	I～II	選択	Pink	
ジェンダー論	2	I～IV	選択	Pink	以下の科目から8単位選択
現代社会論	2	I～IV	選択	Pink	
現代生活論	2	I～IV	選択	Pink	
社会意識論	2	II～IV	選択	Green	
比較社会論	2	II～IV	選択	Green	
社会政策論 I	2	I～IV	選択	Pink	
社会政策論 II	2	II～IV	選択	Green	
社会問題論	2	II～IV	選択	Green	
社会調査の設計と実施	2	I～IV	選択	Pink	
ジェンダー論演習 I	2	III～IV	選択	Red	
ジェンダー論演習 II	2	III～IV	選択	Red	
現代社会論演習 I	2	III～IV	選択	Red	
現代社会論演習 II	2	III～IV	選択	Red	
社会保障論演習 I	2	III～IV	選択	Red	
社会保障論演習 II	2	III～IV	選択	Red	
社会政策論演習 I	2	II～IV	選択	Red	
社会政策論演習 II	2	II～IV	選択	Red	
現代生活論演習 I	2	III～IV	選択	Red	
現代生活論演習 II	2	III～IV	選択	Red	
社会意識論演習 I	2	III～IV	選択	Red	
社会意識論演習 II	2	III～IV	選択	Red	
社会調査法	4	II～IV	必修	Red	

カリキュラムポリシー	
①教育目標	教育科学以外の主プログラムを履修した学生が、自分が学んだ主プログラムの内容と教育科学の内容とを関連させて、学際的な研究を行うことを目標とします。
②内容・構成	「人間と発達」（教育科学コースの担当教員が自分の専門領域の概要を講義）を必修としつつ、概論（3～5科目）と特殊講義（3～5科目）を中心に履修します。基本的な知識を幅広く得るために概論・特殊講義を広く履修することも可能ですが、特定のことがらを深く学ぶために特定領域の概論・特殊講義を土台にして最後に演習を履修することもできます。

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考	
人間と発達	2	I～II	必修	Pink		
教育思想概論	2	I～IV	選択	Pink	以下の科目から6単位以上 選択	
教育史概論	2	I～IV	選択	Pink		
教育社会学概論	2	I～IV	選択	Pink		
文化人類学概論	2	I～IV	選択	Pink		
教育行財政学概論	2	I～IV	選択	Pink		
教育方法学概論	2	I～IV	選択	Pink		
教育課程概論	2	I～IV	選択	Pink		
教育開発概論	2	I～IV	選択	Pink		
生涯学習概論	2	I～IV	選択	Pink		
教育科学概論Ⅰ	2	I～IV	選択	Pink		
教育科学概論Ⅱ	2	I～IV	選択	Pink		
教育思想特殊講義	2	I～IV	選択	Green		以下の科目から6単位以上 選択
教育人間学特殊講義	2	I～IV	選択	Green		
教育史特殊講義	2	I～IV	選択	Green		
教育史料分析特殊講義	2	I～IV	選択	Green		
教育社会学特殊講義	2	I～IV	選択	Green		
学校社会学特殊講義	2	I～IV	選択	Green		
文化人類学特殊講義	2	I～IV	選択	Green		
民族誌学特殊講義	2	I～IV	選択	Green		
教育方法学特殊講義	2	I～IV	選択	Green		
教育課程特殊講義	2	I～IV	選択	Green		
教育開発特殊講義	2	I～IV	選択	Green		
比較教育特殊講義	2	I～IV	選択	Green		
生涯学習特殊講義	2	I～IV	選択	Green		
社会教育学特殊講義	2	I～IV	選択	Green		
教育科学特殊講義Ⅰ	2	I～IV	選択	Green		
教育科学特殊講義Ⅱ	2	I～IV	選択	Green		
教育科学特殊講義Ⅲ	2	II～IV	選択	Green		
教育科学特殊講義Ⅳ	2	I～IV	選択	Green		
学校インターンシップ	2	II～IV	選択	Green		
教育思想演習	4	III～IV	選択	Red	以下の科目から0～8単位選択	
教育人間学演習	4	III～IV	選択	Red		
教育史演習	4	III～IV	選択	Red		
教育史料分析演習	4	III～IV	選択	Red		
教育社会学演習	4	III～IV	選択	Red		
学校社会学演習	4	III～IV	選択	Red		
文化人類学演習	4	III～IV	選択	Red		
民族誌学演習	4	III～IV	選択	Red		

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
教育方法学演習	4	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
教育課程演習	4	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
教育開発演習	4	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
比較教育演習	4	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
生涯学習演習	4	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
社会教育学演習	4	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
教育科学演習Ⅰ	4	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
教育科学演習Ⅱ	4	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	



カリキュラムポリシー
<p>①教育目標</p> <p>心理学は、実証的な方法によって、人間や他の動物などの行動を観察・分析し、人間の心的な活動の仕組みや働きを解明しようとする学問です。副プログラムA(人間社会科学科学生用)では、学生に、心理学を理解するために必要な基礎的な知識と技法を学ばせるとともに、それぞれが主専攻として学ぶ社会学あるいは教育学と心理学との融合的な視点を獲得させ、人間に関わる事象と社会とのかかわりについての理解を深化させることを目的としています。</p> <p>②内容・構成</p> <p>概論および展開の履修によって心理学の基礎的かつ幅広い教養を身に付けるとともに、心理学の基本的な方法論(心理統計学および演習(基礎))を習得し、人間に関わる事象への理解と科学的な見方を養います。</p>

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
発達心理学概論	2	I ~ II	選択	Pink	以下の科目から4単位以上 選択
認知心理学概論	2	I ~ IV	選択	Pink	
教育心理学概論	2	I ~ IV	選択	Pink	
社会心理学概論	2	I ~ II	選択	Pink	
臨床心理学概論	2	I ~ IV	選択	Pink	
心理統計法	2	II ~ IV	選択	Pink	
発達心理学演習(基礎)	2	II ~ IV	選択	Green	以下の科目から4単位以上 選択
認知心理学演習(基礎)	2	II ~ IV	選択	Green	
教育心理学演習(基礎)	2	II ~ IV	選択	Green	
社会心理学演習(基礎)	2	II ~ IV	選択	Green	
臨床心理学演習(基礎)	2	II ~ IV	選択	Green	
発達心理学の展開	2	II ~ III	選択	Green	
認知心理学の展開	2	II ~ III	選択	Green	
教育心理学の展開	2	II ~ III	選択	Green	
社会心理学の展開	2	II ~ III	選択	Green	
臨床心理学の展開	2	II ~ III	選択	Green	
発達心理学特殊講義	2	II ~ IV	選択	Red	
認知心理学特殊講義	2	II ~ IV	選択	Red	
教育心理学特殊講義	2	II ~ IV	選択	Red	
社会心理学特殊講義	2	II ~ IV	選択	Red	
臨床心理学特殊講義	2	II ~ IV	選択	Red	

## カリキュラムポリシー

## ①教育目標

心理学は、実証的な方法によって、人間や他の動物などの行動を観察・分析し、人間の心的な活動の仕組みや働きを解明しようとする学問です。副プログラム B (人間社会科学科以外の学生用) では、学生に、心理学を理解するために必要な基礎的な知識と基本的な技法を学ばせ、人間に関わる事象に関するより深い理解力を身につけさせます。

## ②内容・構成

概論・心理基礎科目および展開の履修によって心理学の基礎的かつ幅広い教養を身に付け、人間に関わる事象への理解と科学的な見方を養います。

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
人間科学方法論	2	I ~ II	必修	Pink	
人間と情報	2	I ~ II	必修	Pink	
発達心理学概論	2	I ~ II	選択	Pink	以下の科目から 4 単位以上 選択
認知心理学概論	2	I ~ IV	選択	Pink	
教育心理学概論	2	I ~ IV	選択	Pink	
社会心理学概論	2	I ~ II	選択	Pink	
臨床心理学概論	2	I ~ IV	選択	Pink	
心理統計法	2	II ~ IV	選択	Pink	
発達心理学の展開	2	II ~ III	選択	Green	
認知心理学の展開	2	II ~ III	選択	Green	
教育心理学の展開	2	II ~ III	選択	Green	
社会心理学の展開	2	II ~ III	選択	Green	
臨床心理学の展開	2	II ~ III	選択	Green	
発達心理学演習 (基礎)	2	II ~ IV	選択	Green	
認知心理学演習 (基礎)	2	II ~ IV	選択	Green	
教育心理学演習 (基礎)	2	II ~ IV	選択	Green	
社会心理学演習 (基礎)	2	II ~ IV	選択	Green	
臨床心理学演習 (基礎)	2	II ~ IV	選択	Green	
発達心理学特殊講義	2	II ~ IV	選択	Red	
認知心理学特殊講義	2	II ~ IV	選択	Red	
教育心理学特殊講義	2	II ~ IV	選択	Red	
社会心理学特殊講義	2	II ~ IV	選択	Red	
臨床心理学特殊講義	2	II ~ IV	選択	Red	

カリキュラムポリシー	
①教育目標	舞踊教育学コース副プログラムでは、他コースの学生を対象として、舞踊や運動科学に関する基礎的な科目を提供します。このプログラムを履修することにより、舞踊や運動が人間にとってどのような意義があるのかについての理解を深めることが出来、自らの専門分野の研究に活かすことが出来ます。
②内容・構成	舞踊学概論と表現行動論は、本プログラムにおける中心的科目であり、必修科目に位置づけられています。その他の科目は概論、演習、特殊講義、実習から構成されていますが、演習科目の履修には、その基礎となる概論科目をあらかじめ履修しておくことが条件とされます。実習科目は舞踊や運動経験の少ない人でも無理なく履修できる内容となっており、理論面での理解を深めるためにも履修することが望ましいものです。

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考	
舞踊学概論	2	I	必修	Pink		
表現行動論 I	2	I ~ IV	選択	Pink	以下の科目から6 ~ 14 単位選択	
表現行動論 II	2	I ~ IV	選択	Pink		
舞踊芸術学	2	II	選択	Green		
民族舞踊学	2	II	選択	Green		
臨床舞踊論	2	II ~ IV	選択	Green		
スポーツ人間学	2	II	選択	Green		
体育原理	2	II	選択	Green		
動作学	2	II	選択	Green		
舞踊・運動科学研究法入門	2	II	選択	Pink		
舞踊芸術学実験演習	2	III	選択	Red		以下の科目から0 ~ 4 単位選択
民族舞踊学実験演習	2	III	選択	Red		
臨床舞踊論実験演習	2	III	選択	Red		
スポーツ人間学実験演習	2	III	選択	Red		
動作学実験演習	2	III	選択	Red		
スポーツ文化論演習	2	III	選択	Red		
体育心理学	2	I ~ IV	選択	Green	以下の科目から0 ~ 8 単位選択	
運動学 (運動方法学を含む)	2	I ~ IV	選択	Green		
解剖学	2	II	選択	Green		
生理学 (運動生理学を含む)	2	II	選択	Green		
舞踊学特殊講義	2	I ~ IV	選択	Green		
運動科学特殊講義	2	I ~ IV	選択	Green		
舞踊教育法実習 (初等教育)	1	I ~ IV	選択	Green	以下の科目から0 ~ 2 単位選択	
舞踊教育法実習 (中等教育)	1	III	選択	Green		
民族舞踊実習 (基礎)	1	I ~ IV	選択	Pink		

## カリキュラムポリシー

## ①教育目標

音楽表現コース副プログラムでは、他コースの学生を対象として、音楽学に関する基礎的な科目を提供します。このプログラムを履修することにより、音楽に対してどのような学問的アプローチがあるのか、について理解を深めるとともに、自らの専門分野との関連を学ぶことが出来ます。

## ②内容・構成

音楽学概論と日本音楽史概論、西洋音楽史IとIIは、必修科目です。その他の科目は概論や演習からなっていますが、演習科目の履修には、その基礎となる概論科目をあらかじめ履修しておく必要があります。なお、西洋音楽史IおよびII、音楽学研究法、音楽学基礎演習はいずれも英語のテキストを使用します。

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
音楽学概論	2	I～IV	選択	Pink	以下の科目から8～14単位 選択
日本音楽史概論	2	I	選択	Pink	
西洋音楽史I	2	I	選択	Pink	
西洋音楽史II	2	II	選択	Green	
音楽学研究法	2	II	選択	Green	
音楽形式論	2	I～II	選択	Pink	
民族音楽学	2	II～IV	選択	Green	
音楽学基礎演習I	2	II	選択	Green	以下の科目から4～8単位選択
音楽学基礎演習II	2	II	選択	Green	
音楽学研究演習	4	III～IV	選択	Red	
音楽学特殊講義I	2	II～IV	選択	Green	以下の科目から0～4単位選択
音楽学特殊講義II	2	II～IV	選択	Green	
西洋音楽史特殊講義I	2	II～IV	選択	Green	
西洋音楽史特殊講義II	2	II～IV	選択	Green	
アジア音楽論I	2	II～IV	選択	Green	
アジア音楽論II	2	II～IV	選択	Green	

カリキュラムポリシー	
①教育目標	グローバル化時代に、文化の差異を理解しながら、その差異をこえて協働し、人々と共に新しい関係や価値を創り出していく力をもった市民を育てます。
②内容・構成	次の科目群からなり、いずれの科目においても学生との双方向的教育を重視し、国内外からの講師招聘やインターネットを含む交流授業をとりいれています。
	(1) 政治・経済・文化のグローバル化を理解する基礎科目
	(2) 変容する地域や文化をどのように理解するかを学ぶ「地域研究・地域文化（Comprehension）」
	(3) 多様な文化をもつ人々が交流するための理論と実践を学ぶ「多文化交流（Communication）」
	(4) 国際的な場での平和と協力について学ぶ「国際関係・国際協力（Collaboration）」
	(5) 地域研究、多文化交流、国際協力にかかわる現場を体験し、現場でのコミュニケーションや問題解決の力を養う「実習」
	(6) グローバル文化学にかかわる研究法

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
グローバル文化学総論	2	I～IV	選択	Pink	以下の科目から4～8単位選択
国際関係論	2	I～IV	選択	Pink	
グローバル・メディア論	2	I～IV	選択	Pink	
グローバル化と経済	2	I～IV	選択	Pink	
比較ジェンダー論	2	I～IV	選択	Green	
比較法文化論	2	I～IV	選択	Pink	
グローバル・ヒストリー	2	I～IV	選択	Pink	
地域研究方法論	2	II～IV	選択	Green	
文化理論研究	2	II～IV	選択	Green	
多文化間交流論	2	II～IV	選択	Green	
言語と文化	2	II～IV	選択	Green	
国際協力学	2	I～IV	選択	Green	
文化変動論 I	2	II～IV	選択	Green	
文化変動論 II	2	III～IV	選択	Red	
イスラム社会文化論 I	2	II～IV	選択	Green	
イスラム社会文化論 II	2	III～IV	選択	Red	
オセアニア社会文化論 I	2	II～IV	選択	Green	
オセアニア社会文化論 II	2	III～IV	選択	Red	
対日交流論	2	II～IV	選択	Green	
中国社会文化論	2	II～IV	選択	Green	
東アジア社会文化論	2	II～IV	選択	Green	
南アジア社会文化論	2	II～IV	選択	Green	
アフリカ社会文化論	2	II～IV	選択	Green	
地域研究特論	2	II～IV	選択	Green	
英米事情	2	III～IV	選択	Green	
文化と人間関係 I	2	II～IV	選択	Green	
文化と人間関係 II	2	III～IV	選択	Red	
グローバル化と言語教育 I	2	II～IV	選択	Green	
グローバル化と言語教育 II	2	III～IV	選択	Red	
文化と心理	2	II～IV	選択	Green	
表現行動論 I	2	I～IV	選択	Pink	
表現行動論 II	2	I～IV	選択	Pink	
言語と社会 I	2	II～IV	選択	Green	
言語と社会 II	2	II～IV	選択	Green	

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
多文化共生論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
国際交流論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
国際交流論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
多文化交流特論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
国際協力方法論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
国際協力方法論Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
平和構築論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
平和構築論Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
国際開発論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
国際開発論Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
グローバル化と労働	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
国際機構論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
国際教育協力論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
NGO/NPO論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
比較社会政策論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
地域開発論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
国際金融論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
国際協力特論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
多文化交流実習Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green	
多文化交流実習Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
多文化交流実習Ⅲ	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green	
多文化交流実習Ⅳ	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
グローバル文化学実習	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green	
地域研究実習Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
地域研究実習Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green	
国際協力実習Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green	
国際協力実習Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	
国際協力実習Ⅲ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
フィールドワーク方法論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
グローバル文化学方法論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
卒業研究演習	2	Ⅳ	選択	Red	

# 芸術・表現行動学科 舞踊教育学コース

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考	
<b>●専攻科目（必修）</b>						
舞踊芸術学	2	Ⅱ	必修	Green		
民族舞踊学	2	Ⅱ	必修	Green		
臨床舞踊論	2	Ⅱ	必修	Green		
スポーツ人間学	2	Ⅱ	必修	Green		
体育原理	2	Ⅱ	必修	Green		
動作学	2	Ⅱ	必修	Green		
モダンダンス・テクニック（初級）	1	Ⅰ	必修	Pink		
舞踊創作法実習（舞踊構成法）	1	Ⅱ	必修	Green		
舞踊創作法実習（即興創作）	1	Ⅰ	必修	Pink		
民族舞踊実習（基礎）	1	Ⅰ	必修	Pink		
舞踊教育法実習（中等教育）	1	Ⅲ	必修	Green		
舞踊・運動科学研究法入門	2	Ⅱ	必修	Pink		
舞踊・運動科学研究法演習	2	Ⅲ	必修	Red		
卒業論文	8	Ⅳ	必修	Red		
<b>●専攻科目（選択）</b>						
舞踊学概論	2	Ⅰ	選択	Pink		専攻科目（選択）及び関連科目から35単位以上選択
表現行動論Ⅰ	2	Ⅰ	選択	Pink		
表現行動論Ⅱ	2	Ⅰ	選択	Pink		
モダンダンス・テクニック（中級）Ⅰ	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
モダンダンス・テクニック（中級）Ⅱ	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
モダンダンス・テクニック（上級）	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
舞踊創作法実習（舞踊上演・制作）	2	Ⅲ	選択	Red		
舞踊教育法実習（初等教育）	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
民族舞踊実習（発展）	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
舞踊上演法実習（初級）	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
舞踊上演法実習（中級）	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
舞踊上演法実習（上級）	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
舞踊表現技法実習	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
舞踊芸術学実験演習	2	Ⅲ	選択	Red		
民族舞踊学実験演習	2	Ⅲ	選択	Red		
臨床舞踊論実験演習	2	Ⅲ	選択	Red		
スポーツ人間学実験演習	2	Ⅲ	選択	Red		
動作学実験演習	2	Ⅲ	選択	Red		
スポーツ文化論演習	2	Ⅲ	選択	Red		
陸上競技	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
器械体操	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
新体操	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Pink		
球技（基礎）	1	Ⅰ～Ⅱ	選択	Pink		
球技（指導法）	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
球技（教材研究）	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
水泳実習	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
スキー実習	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
日本舞踊実習	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
バレエ実習	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
舞踊音楽構成法	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
運動学（運動方法学を含む）	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
解剖学	2	Ⅱ	選択	Green		

授業科目一覧

Ⅱ

2

専門教育科目  
文教育学部

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考	
生理学（運動生理学を含む）	2	Ⅱ	選択	Green		
体育心理学	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
衛生学及び公衆衛生学	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
学校保健	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
病理学	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
学校安全と救急看護	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
舞踊学特殊講義	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
運動科学特殊講義	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Green		
表現療法講義演習	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red		
舞踊・スポーツ情報演習	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red		
<b>●関連科目（選択）</b>						
教育方法学概論	2		選択	Pink		
教育社会学概論	2		選択	Pink		
文化人類学概論	2		選択	Pink		
生涯学習概論	2		選択	Pink		
<b>●専攻科目（選択）－高大連携科目</b>						
舞踊教育学選択基礎	2	Ⅰ	選択			
<p>高大連携科目は、大学との連携を行っている高校の生徒が履修する科目であるため、大学生は履修できない。なお、履修した生徒が本学に入学した場合は、当該科目は別表第1（第6条関係）「自由に選択して履修する科目・単位」内の「専攻科目 選択」の単位として認定することができる。</p>						



## 芸術・表現行動学科 音楽表現コース

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
<b>●専攻科目（必修）</b>					
ソルフェージュ	2	I	必修	Pink	
音楽形式論	2	I～II	必修	Pink	
ピアノⅠ演習（伴奏を含む）	4	I	必修	Pink	
声楽Ⅰ演習	4	I	必修	Pink	
作曲原論Ⅰ	2	I	必修	Pink	
作曲原論Ⅱ	2	I	必修	Pink	
西洋音楽史Ⅰ	2	I	必修	Pink	
西洋音楽史Ⅱ	2	II	必修	Green	
日本音楽史概論	2	I	必修	Pink	
音楽学研究法	2	II	必修	Green	
音楽学基礎演習Ⅰ	2	II	必修	Green	
音楽学基礎演習Ⅱ	2	II	必修	Green	
卒業研究	8	IV	必修	Red	
<b>●専攻科目（選択）</b>					
ピアノⅡ	4	II	選択	Green	以下の科目から28単位以上 選択
ピアノⅢ	4	III	選択	Red	
ピアノⅣ	4	IV	選択	Red	
ピアノ研究演習AⅠ	2	II～IV	選択	Pink	
ピアノ研究演習AⅡ	2	II～IV	選択	Pink	
ピアノ研究演習BⅠ	2	II～IV	選択	Pink	
ピアノ研究演習BⅡ	2	II～IV	選択	Pink	
ピアノ研究演習CⅠ	2	II～IV	選択	Pink	
ピアノ研究演習CⅡ	2	II～IV	選択	Pink	
ピアノレパートリー研究AⅠ	2	II～IV	選択	Green	
ピアノレパートリー研究AⅡ	2	II～IV	選択	Green	
ピアノレパートリー研究BⅠ	2	II～IV	選択	Green	
ピアノレパートリー研究BⅡ	2	II～IV	選択	Green	
ピアノレパートリー研究CⅠ	2	II～IV	選択	Green	
ピアノレパートリー研究CⅡ	2	II～IV	選択	Green	
ピアノ特別演習AⅠ	2	II～IV	選択	Green	
ピアノ特別演習AⅡ	2	II～IV	選択	Green	
ピアノ特別演習BⅠ	2	II～IV	選択	Green	
ピアノ特別演習BⅡ	2	II～IV	選択	Green	
ピアノ特別演習CⅠ	2	II～IV	選択	Green	
ピアノ特別演習CⅡ	2	II～IV	選択	Green	
ピアノ演奏法研究AⅠ	2	II～IV	選択	Red	
ピアノ演奏法研究AⅡ	2	II～IV	選択	Red	
ピアノ演奏法研究BⅠ	2	II～IV	選択	Red	
ピアノ演奏法研究BⅡ	2	II～IV	選択	Red	
ピアノ演奏法研究CⅠ	2	II～IV	選択	Red	
ピアノ演奏法研究CⅡ	2	II～IV	選択	Red	
ピアノ合奏研究	2	II～IV	選択	Green	
室内楽研究	2	II～IV	選択	Green	
ピアノ指導法研究	2	II～IV	選択	Green	
声楽Ⅱ	4	II	選択	Green	
声楽Ⅲ	4	III	選択	Red	
声楽Ⅳ	4	IV	選択	Red	

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
声楽特別演習	4	Ⅱ～Ⅳ	選択	Pink	
歌曲研究AⅠ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Green	
歌曲研究AⅡ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Green	
歌曲研究BⅠ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Green	
歌曲研究BⅡ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Green	
オペラ研究AⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Red	
オペラ研究AⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Red	
オペラ研究AⅢ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Red	
オペラ研究AⅣ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Red	
オペラ研究BⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Red	
オペラ研究BⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Red	
オペラ研究BⅢ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Red	
オペラ研究BⅣ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Red	
演奏身体論AⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
演奏身体論AⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
演奏身体論BⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
演奏身体論BⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
演奏身体論CⅠ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
演奏身体論CⅡ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
声楽指導法研究Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
声楽指導法研究Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
音楽学概論	2	I	選択	Pink	
指揮法	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Pink	
作曲Ⅰ	4	I	選択	Green	
作曲Ⅱ	4	Ⅱ	選択	Green	
西洋音楽史特殊講義Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
西洋音楽史特殊講義Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
民族音楽学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Green	
アジア音楽論Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
アジア音楽論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
音楽学研究演習	4	Ⅲ	選択	Red	
音楽学特殊講義Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
音楽学特殊講義Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
日本音楽演奏法	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Pink	
合唱演習Ⅰ	2	I～Ⅳ	選択	Pink	
合唱演習Ⅱ	2	I～Ⅳ	選択	Green	
合奏演習	2	I	選択	Pink	
卒業演奏研究	2	Ⅳ	選択	Red	
卒業論文演習	4	Ⅳ	選択	Red	
<b>●専攻科目（選択）—高大連携科目</b>					
音楽表現選択基礎	2	I	選択		
<p>高大連携科目は、大学との連携を行っている高校の生徒が履修する科目であるため、大学生は履修できない。なお、履修した生徒が本学に入学した場合は、当該科目は別表第1（第6条関係）「自由に選択して履修する科目・単位」内の「専攻科目 選択」の単位として認定することができる。</p>					

## 学部共通科目

授業科目	単位	CCBM
法学通論	4	Pink
法学概論	2	Pink
政治学通論	4	Pink
政治学概論	2	Pink
経済学通論	4	Pink
経済学概論	2	Pink
社会学通論	4	Pink
社会学概論	2	Pink
ギリシャ語	4	Pink
ラテン語	4	Pink
スペイン語	4	Pink
イタリア語	4	Pink
哲学通論Ⅰ	2	Pink
哲学通論Ⅱ	2	Pink
倫理学通論Ⅰ	2	Pink
倫理学通論Ⅱ	2	Pink
文化交流論	2	Pink
アジア諸語Ⅰ	2	Pink
アジア諸語Ⅱ	2	Pink
アジア諸語Ⅲ	2	Pink
アジア諸語Ⅳ	2	Pink

## 全学共通科目

授業科目	単位	CCBM	備考
NPO入門	2	Pink	
女性リーダーへの道（入門編）	2	Pink	
女性リーダーへの道（ロールモデル入門編）	2	Pink	
女性リーダーへの道（実践入門編）	2	Green	
キャリアプランとライフプランⅠ	2	Pink	
キャリアプランとライフプランⅡ	2	Pink	
情報コミュニケーション技術と創発性	2	Pink	
働く女性の権利と地位	2	Pink	卒業に必要な単位に含めることができない
共生社会で働く	2	Pink	卒業に必要な単位に含めることができない
グループワークとマネジメント	2	Pink	卒業に必要な単位に含めることができない
キャリアプランニング実習	1	Pink	卒業に必要な単位に含めることができない
インターンシップ	1	Green	卒業に必要な単位に含めることができない
クリエイティブ・ライティングⅠ	2	Green	
クリエイティブ・ライティングⅡ	2	Green	
クリエイティブ・ライティングⅢ	2	Green	
クリエイティブ・ライティングⅣ	2	Green	
博物館学概論	2	Ivory	
博物館資料特殊講義	2	Ivory	
博物館活動特殊講義	2	Ivory	
博物館実習	3	Ivory	
初等解析学Ⅰ	2	Pink	
初等解析学Ⅱ	2	Pink	
初等線形代数学	2	Pink	

授業科目	単位	CCBM	備考
初等代数学	2	Pink	
数の歴史	2	Pink	
物理学概論A	2	Pink	
物理学概論B	2	Pink	
基礎化学A	2	Pink	
基礎科学B	2	Pink	
基礎生物学A	2	Pink	
基礎生物学B	2	Pink	
宇宙・地球科学	2	Pink	
地球環境科学	2	Pink	
大気・海洋科学概論	2	Pink	
地史・古生物学概論	2	Pink	
物理学基礎実験	2	Pink	
化学基礎実験	2	Pink	
生物学基礎実験	2	Pink	
地学基礎実験	2	Pink	
数理基礎論	2	Pink	
確率序論	2	Green	
コンピュータシステム序論	2	Pink	
生命情報学概論	2	Green	
計算生物学	2	Green	
海外交換留学認定科目	2～12	Green	
グローバルCOE人間発達科学論Ⅰ	2	Green	
グローバルCOE人間発達科学論Ⅱ	2	Green	
グローバルCOE人間発達科学論Ⅲ	2	Green	
科学英語Ⅰ	2		
科学英語Ⅱ	2		
物理学サブリメント	2	Pink	卒業に必要な単位に含めることができない
生物学サブリメント	2	Pink	卒業に必要な単位に含めることができない
英語基礎強化ゼミ	2	Pink	卒業に必要な単位に含めることができない
TOEFL対策ゼミR/L	2		卒業に必要な単位に含めることができない
TOEFL対策ゼミS/W	2		卒業に必要な単位に含めることができない
企画・運営力養成講座	2		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅰ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅱ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅲ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅳ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅴ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅵ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅶ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅷ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅸ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅹ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習ⅩⅠ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習ⅩⅡ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習ⅩⅢ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習ⅩⅣ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習ⅩⅤ	1		卒業に必要な単位に含めることができない

# 人間社会科学科教職科目 社会コース（中学校・高等学校）

## 教科に関する科目

授業科目	単位	CCBM
日本史概説	2	Pink
日本文化史概論	2	Pink
アジア史概説	2	Pink
西洋史概説	2	Pink
考古学通論Ⅰ	2	Green
考古学通論Ⅱ	2	Green
歴史考古学	2	Green
教育史演習	4	Red
教育史料分析演習	4	Red
都市と自然	2	Pink
地誌学	2	Pink
自然地理学	2	Pink
文化地理学	2	Pink
社会地理学	2	Pink
地図学	2	Pink
自然と人間	2	Pink
人間と空間	2	Pink
文化人類学概論	2	Pink
文化人類学特殊講義	2	Green
民族誌学特殊講義	2	Green
文化人類学演習	4	Red
民族誌学演習	4	Red
法学通論	4	Pink
法学概論	2	Pink
政治学通論	4	Pink
政治学概論	2	Pink
社会学通論	4	Pink
社会学概論	2	Pink

授業科目	単位	CCBM
経済学通論	4	Pink
経済学概論	2	Pink
教育行財政学特殊講義	2	Ivory
教育政策科学演習	4	Ivory
教育行財政学演習	4	Ivory
現代生活論	2	Pink
経済地理学	2	Pink
都市地理学	2	Pink
現代社会論	2	Pink
社会政策論Ⅰ	2	Pink
社会調査法	4	Red
教育社会学特殊講義	2	Green
教育社会学演習	4	Red
学校社会学演習	4	Red
生涯学習概論	2	Pink
哲学通論Ⅰ	2	Ivory
哲学通論Ⅱ	2	Ivory
倫理学通論Ⅰ	2	Ivory
倫理学通論Ⅱ	2	Ivory
教育思想演習	4	Ivory
教育人間学演習	4	Red
日本倫理思想史Ⅰ	2	Green
日本倫理思想史Ⅱ	2	Green
西洋倫理思想史Ⅰ	2	Green
西洋倫理思想史Ⅱ	2	Green
社会心理学概論	2	Pink
認知心理学概論	2	Pink

授業科目一覧

Ⅱ

2

文教育学部  
専門教育科目

## 教職 社会コース（中学校・高等学校）

### 教職に関する科目

授業科目	単位	CCBM
教職概論	2	Ivory
教育思想概論	2	Pink
教育史概論	2	Pink
教育心理学概論	2	Pink
発達心理学概論	2	Pink
発達臨床心理学 I	2	Green
教育行財政学概論	2	Pink
教育社会学概論	2	Pink
教育課程概論	2	Pink
社会科教育法 I（地理歴史）	2	Ivory
社会科教育法 II（公民）	2	Ivory

授業科目	単位	CCBM
公民科教育法	2	Ivory
道徳教育の研究	2	Ivory
特別活動の研究	2	Ivory
教育方法学概論	2	Pink
視聴覚教育メディア論	2	Ivory
臨床心理学概論	2	Pink
学校臨床学	2	Pink
事前・事後指導	1	Ivory
教育実習	高校は2単位 中学は4単位	Ivory
教職実践演習（教諭）	2	Ivory

## 教職 小学校・幼稚園コース

### 教科に関する科目

授業科目	単位	CCBM
国語科教育論	2	Ivory
社会科教育論	2	Ivory
算数科教育論	2	Ivory
理科教育論	2	Ivory
生活科教育論	2	Ivory
家庭科教育論	2	Ivory

授業科目	単位	CCBM
教職ピアノ	1	Ivory
教職声楽	1	Ivory
教職合唱	1	Ivory
教職指揮法	1	Ivory
図工科教育論	2	Ivory
幼・小体育実技	2	Ivory

### 教職に関する科目

授業科目	単位	CCBM
教職概論	2	Ivory
教育思想概論	2	Pink
教育史概論	2	Pink
教育心理学概論	2	Pink
発達心理学概論	2	Pink
発達臨床心理学 I	2	Green
教育行財政学概論	2	Pink
教育社会学概論	2	Pink
教育課程概論	2	Pink
小学校教材研究（国語）	2	Ivory
小学校教材研究（社会）	2	Ivory
小学校教材研究（算数）	2	Ivory
小学校教材研究（理科）	2	Ivory
小学校教材研究（生活）	2	Ivory
小学校教材研究（音楽）	2	Ivory
小学校教材研究（図工）	2	Ivory
小学校教材研究（家庭）	2	Ivory
小学校教材研究（体育）	2	Ivory
道徳教育の研究	2	Ivory
特別活動の研究	2	Ivory

授業科目	単位	CCBM
教育方法学概論	2	Pink
視聴覚教育メディア論	2	Ivory
保育課程論	2	Ivory
保育学	2	Green
保育内容の研究 I（言葉）	2	Ivory
保育内容の研究 II（人間関係）	2	Ivory
保育内容の研究 III（環境）	2	Ivory
保育表現 I（指導法）	2	Ivory
保育表現 II（指導法）	2	Ivory
保育内容・健康	2	Ivory
保育指導法 I	2	Ivory
保育指導法 II	2	Ivory
生徒指導の研究	2	Ivory
臨床心理学概論	2	Pink
学校臨床学	2	Pink
幼児理解と教育相談	2	Ivory
保育臨床学	2	Green
事前・事後指導	1	Ivory
教育実習	4	Ivory
教職実践演習（教諭）	2	Ivory

## 教職共通科目

授業科目	単位	CCBM
国語科教育論	2	Ivory
社会科教育論	2	Ivory
算数科教育論	2	Ivory
理科教育論	2	Ivory
生活科教育論	2	Ivory
家庭科教育論	2	Ivory

授業科目	単位	CCBM
教職ピアノ	1	Ivory
教職声楽	1	Ivory
教職合唱	1	Ivory
教職指揮法	1	Ivory
図工科教育論	2	Ivory
幼・小体育実技	2	Ivory

## 教職に関する科目 中学校・高等学校

授業科目	単位	CCBM
教職概論	2	Ivory
教育原論（思想・歴史）	2	Ivory
教育心理	2	Ivory
教育原論（社会・制度）	2	Ivory
教育課程論	2	Ivory
社会科教育法Ⅰ（地理歴史）	2	Ivory
社会科教育法Ⅱ（公民）	2	Ivory
地理歴史科教育法	2	Ivory
公民科教育法	2	Ivory
国語科教育法Ⅰ	2	Ivory
国語科教育法Ⅱ	2	Ivory
中国語科教育法Ⅰ	2	Ivory
中国語科教育法Ⅱ	2	Ivory
英語科教育法Ⅰ	2	Ivory
英語科教育法Ⅱ	2	Ivory

授業科目	単位	CCBM
保健体育科教育法Ⅰ	2	Ivory
保健体育科教育法Ⅱ	2	Ivory
音楽科教育法Ⅰ	2	Ivory
音楽科教育法Ⅱ	2	Ivory
道德教育の研究	2	Ivory
特別活動の研究	2	Ivory
教育方法論	2	Ivory
視聴覚教育メディア論	2	Ivory
生徒指導の研究	2	Ivory
学校カウンセリング	2	Ivory
事前・事後指導	1	Ivory
教育実習	高校は2単位 中学は4単位	Ivory
教職実践演習（教諭）	2	Ivory

## 教職に関する科目 小学校・幼稚園コース

授業科目	単位	CCBM	備考
教職概論	2	Ivory	
教育原論（思想・歴史）	2	Ivory	
教育心理	2	Ivory	
教育原論（社会・制度）	2	Ivory	
教育課程論	2	Ivory	小学校希望者
小学校教材研究（国語）	2	Ivory	〃
小学校教材研究（社会）	2	Ivory	〃
小学校教材研究（算数）	2	Ivory	〃
小学校教材研究（理科）	2	Ivory	〃
小学校教材研究（生活）	2	Ivory	〃
小学校教材研究（音楽）	2	Ivory	〃
小学校教材研究（図工）	2	Ivory	〃
小学校教材研究（家庭）	2	Ivory	〃
小学校教材研究（体育）	2	Ivory	〃
道德教育の研究	2	Ivory	〃
特別活動の研究	2	Ivory	〃
教育方法論	2	Ivory	〃

授業科目	単位	CCBM	備考
保育課程論	2	Ivory	幼稚園希望者
保育内容の研究Ⅰ（言葉）	2	Ivory	〃
保育内容の研究Ⅱ（人間関係）	2	Ivory	〃
保育内容の研究Ⅲ（環境）	2	Ivory	〃
保育表現Ⅰ（指導法）	2	Ivory	〃
保育表現Ⅱ（指導法）	2	Ivory	〃
保育内容・健康	2	Ivory	〃
保育指導法Ⅰ	2	Ivory	〃
保育指導法Ⅱ	2	Ivory	〃
視聴覚教育メディア論	2	Ivory	
生徒指導の研究	2	Ivory	小学校希望者
学校カウンセリング	2	Ivory	〃
幼児理解と教育相談	2	Ivory	幼稚園希望者
事前・事後指導	1	Ivory	
教育実習	4	Ivory	
教職実践演習（教諭）	2	Ivory	

## 外国人留学生特別科目

授業科目	単位	CCBM
日本語演習 I A	2	Pink
日本語演習 I B	2	Pink
日本語演習 II A	2	Green
日本語演習 II B	2	Green
日本語演習 III A	2	Green
日本語演習 III B	2	Green
日本語演習 IV A	2	Green
日本語演習 IV B	2	Green
日本語演習 V A	2	Green
日本語演習 V B	2	Green
日本事情演習 I A	2	Pink
日本事情演習 I B	2	Pink
日本事情演習 II A	2	Green
日本事情演習 II B	2	Green
日本事情演習 III A	2	Green
日本事情演習 III B	2	Green
日本事情演習 IV A	2	Green
日本事情演習 IV B	2	Green
日本事情演習 V A	2	Green
日本事情演習 V B	2	Green



## 2 理学部

理学部履修規程 (P. 199) により、以下の別表のとおり卒業に必要な単位 124 単位を修得してください。各学科プログラム等に関することは、別表 2、3 を参照してください。

学科別	科目区分	必修及び選択必修の科目・単位								自由に選択して履修する科目・単位							卒業に必要な履修単位数													
		コア科目				専門教育科目(必修プログラム)				コア科目	専攻科目	他学科の専攻科目	関連科目	他学部の科目	全学共通科目	教職に関する科目		必修以外の選択プログラム												
		文理融合リベラルアーツ	基礎講義	情報	外国語	スポーツ健康	主プログラム	強化プログラム	副プログラム										学際プログラム											
数学科																			30	60	20								14	124
物理学科																				30	60	20							14	124
化学科																				30	60	20							14	124
生物学科																				30	60	20							14	124
情報科学科																				30	60	20							14	124

**備考**

- 1 情報処理演習(情報) 2 単位は、必修とする。
- 2 外国語は、一の外国語について 8 単位を必修とする。  
コア科目の必修単位のうち、外国語での単位は 12 単位までとする。
- 3 スポーツ健康は、スポーツ健康実習 2 単位を必修とし、その履修方法は別に定める。
- 4 主プログラムは、所属学科から選択すること。
- 5 強化プログラム・副プログラム・学際プログラムは、所属学部のプログラムから一つを選択すること。
- 6 強化プログラムは、同一名の主プログラムを選択していることが履修要件となる。
- 7 選択している主プログラムと同領域の副プログラムを選択することはできない。
- 8 必修以外の選択プログラムは、別表第 2 の所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、副プログラム、学際プログラムから選択すること。
- 9 教職に関する科目(教職概論、教育実習及び教職実践演習は除く。)の単位については、6 単位までを自由に選択して履修する科目・単位として取り扱う。
- 10 外国人留学生特別科目(外国人留学生対象)の単位については、16 単位までをコア科目として取り扱う。

別表第2 (第5条関係)

【(理) 二つ目の選択プログラム】(別表第1 備考5関係)

所属学科・コース	所属学科の強化プログラム以外に選択することのできる「選択プログラム群」								
	数学(副)	物理学(副)	化学(副)	生物学(副)	情報科学(副)	応用数理(学際)	物理・化学(学際)	ケミカルバイオロジー(学際)	生命情報学(学際)
数 学 科		○	×	×	○	○	×	×	○
物 理 学 科	○		○	○	○	○	○	○	○
化 学 科	×	○		○	×	×	○	○	○
生 物 学 科	○	○	○		○	○	○	○	○
情 報 科 学 科	○	○	×	×		○	×	×	○

【(理) 三つ目の選択プログラム(文・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科・コース	所属学科の強化プログラム以外に選択することのできる「選択プログラム群」														
	哲学・倫理学・美術史(副)	比較歴史学(副)	地理環境学(副)	日本語・日本文学(副)	中国語圏言語文化(副)	英語圏言語文化(副)	仏語圏言語文化(副)	日本語教育(副)	社会学(副)	教育科学(副)	心理学(副A) 人間社会科学科対象	心理学(副B) 人間社会科学科以外対象	舞踊教育学(副)	音楽表現(副)	グローバル文化学(学際)
数 学 科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
物 理 学 科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
化 学 科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
生 物 学 科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
情 報 科 学 科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○

【(理) 三つ目の選択プログラム(理・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科・コース	所属学科の強化プログラム以外に選択することのできる「選択プログラム群」								
	数学(副)	物理学(副)	化学(副)	生物学(副)	情報科学(副)	応用数理(学際)	物理・化学(学際)	ケミカルバイオロジー(学際)	生命情報学(学際)
数 学 科		○	○	○	○	○	○	○	○
物 理 学 科	○		○	○	○	○	○	○	○
化 学 科	○	○		○	○	○	○	○	○
生 物 学 科	○	○	○		○	○	○	○	○
情 報 科 学 科	○	○	○	○		○	○	○	○

【(理) 三つ目の選択プログラム(生・プログラム)】(別表第1 備考8関係)

所属学科・コース	所属学科の強化プログラム以外に選択することのできる「選択プログラム群」					
	人間・環境科学(副)	発達臨床心理学(副)	公共政策論(副)	ジェンダー論(副)	生活文化学(副)	消費者学(学際)
数 学 科	○	○	○	○	○	○
物 理 学 科	○	○	○	○	○	○
化 学 科	○	○	○	○	○	○
生 物 学 科	○	○	○	○	○	○
情 報 科 学 科	○	○	○	○	○	○

# 理学部 主プログラム・強化プログラム

## 数学科

カリキュラムポリシー	主：60単位	強化：20単位
<p><b>主プログラム</b></p> <p>①教育目標 この主プログラムにおいては二つの大きな目標を持つ。ひとつは広分野に及ぶ現代数学の基礎教育を施すことであり、もうひとつは数学的論理思考力を身に付けさせることである。これにより数学を学び研究しようと志す学生に対しては高度職業人あるいは研究者として自ら学んでいける素地を育むことになる。また数学的論理思考力を身に付けるということはどの分野に進むとしても社会における有為な人物となりうるということで、そのような人物が輩出されることになる。</p> <p>②内容・構成 数学を学ぶ上での基礎となる内容のものと数学の様々な話題に接する為の「数学講話」や4年間の数学の学習の総まとめとなる「数学講究」を含み、必修もしくは必修に準ずる科目群からなる。数学科で提供する強化プログラム、または、副プログラムの科目を履修する為の予備知識もこのプログラムで提供される。数学科を卒業するためには、この科目群の殆ど全ての60単位以上を履修しなければならない。</p>		
<p><b>強化プログラム</b></p> <p>①教育目標 数学における様々な分野を特化してより深く理解し追求するためのより高度な専門性の高い知識や能力を養うことに加えて、一つの専門にこだわらず、数学全般に対する視野を拡げることがこのプログラムの教育目標であり、現代数学の新しい結果や問題に触れることにより、問題の発見力・構成力を育む他、数学の重要性・おもしろさを後世に伝えていくコミュニケーション力を身につけた、専門性の高い職業人が養成されることが期待される。</p> <p>②内容・構成 各人の興味と能力に応じて、数学の多岐にわたる分野を幅広く学習、あるいは特定の分野を深く学習できるように、様々な科目が選択科目として用意されている。これらの科目群のうちのすべての科目が毎年開講される訳ではないが、主プログラムの科目よりは専門性が高いが、現代数学における基礎として位置付けられる科目は毎年、または、隔年で開講され、講義内容の理解を深める為の演習も用意されている。</p>		

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム				
				主プログラム	備考	◎必修 ○選択	強化プログラム	備考
線形代数学Ⅰ	2	I	Green	◎				
線形代数学Ⅱ	2	I	Green	◎				
線形代数学Ⅲ	2	II	Green	◎				
線形代数学演習Ⅰ	2	I	Green	◎				
線形代数学演習Ⅱ	2	I	Green	◎				
微分積分学Ⅰ	2	I	Green	◎				
微分積分学Ⅱ	2	I	Green	◎				
微分積分学Ⅲ	2	II	Green	◎				
微分積分学演習Ⅰ	2	I	Green	◎				
微分積分学演習Ⅱ	2	I	Green	◎				
微分積分学演習Ⅲ	2	II	Green	◎				
ベクトル解析	2	II	Green	◎				
位相空間論	2	II	Green	◎				
位相空間論演習	2	II	Green	◎				
代数学Ⅰ	2	II	Green	◎				
代数学Ⅱ	2	III	Green	◎				
代数学演習	2	III	Green	◎				
関数論	2	III	Green	◎				
関数論演習	2	III	Green	◎				
数学講究	8	IV	Red	◎				

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム			
				主プログラム	備考	◎必修 ○選択	強化プログラム
数学演習ⅩⅤ	2	I	Green	○	以下の科目 から14単位 選択		
多様体論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○			
積分論	2	Ⅲ	Red	○			
代数学Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○			
微分方程式論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○			
初等代数学	2	I～Ⅳ	Pink	○			
数の歴史	2	I～Ⅳ	Pink	○			
確率序論	2	I～Ⅳ	Green	○			
数学選択基礎	2	I		○			
数理解析序論	2	Ⅱ	Green				○
数学英語	2	Ⅱ	Green			※○	
関数解析	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
微分幾何学	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
位相幾何学	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
ガロア理論	2	Ⅳ	Red			○	
フーリエ解析とラプラス変換	2	Ⅳ	Red			○	
関数論続論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
確率論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
計算基礎論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数理経済学	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数理統計学	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
コンピュータシステム序論	2	I～Ⅳ	Pink			○	
応用数学Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
応用数学Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
応用数学Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
応用数学Ⅳ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
応用数学Ⅴ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数理構造特別講義Ⅰ	2	Ⅳ	Red			○	
数理構造特別講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数理構造特別講義Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数理構造特別講義Ⅳ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数理構造特別講義Ⅴ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数理構造特別講義Ⅵ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数理構造特別講義Ⅶ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数理構造特別講義Ⅷ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数理構造特別講義Ⅸ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数理構造特別講義Ⅹ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数理解析特別講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数理解析特別講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数理解析特別講義Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数理解析特別講義Ⅳ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数理解析特別講義Ⅴ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数理解析特別講義Ⅵ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数理解析特別講義Ⅶ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数理解析特別講義Ⅷ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数理解析特別講義Ⅸ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数理解析特別講義Ⅹ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数学演習Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数学演習Ⅱ	2	Ⅲ	Red			○	

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム			
				主プログラム	備考	◎必修 ○選択	強化プログラム
数学演習Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数学演習Ⅳ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数学演習Ⅴ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数学演習Ⅵ	2	Ⅲ	Red			○	
数学演習Ⅶ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数学演習Ⅷ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数学演習Ⅸ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
数学演習Ⅹ	2	Ⅱ	Red			○	
数学演習ⅩⅠ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
数学演習ⅩⅡ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
数学演習ⅩⅢ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
数学演習ⅩⅣ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
数理逍遥Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅲ	Red			○	
数理逍遥Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
数理逍遥Ⅲ	2	Ⅰ～Ⅲ	Red			○	
数理逍遥Ⅳ	2	Ⅰ～Ⅲ	Red			○	
数理逍遥Ⅴ	2	Ⅲ	Red			○	
数理逍遥Ⅵ	2	Ⅱ～Ⅲ	Red			○	
数理逍遥Ⅶ	2	Ⅱ～Ⅲ	Red			○	
数理逍遥Ⅷ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数理逍遥Ⅸ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数理逍遥Ⅹ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数学輪講Ⅰ	2	Ⅰ	Red			○	
数学輪講Ⅱ	2	Ⅱ	Red			○	
数学輪講Ⅲ	2	Ⅲ	Red			○	
代数学特別講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
代数学特別講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
代数学特別講義Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
代数学特別講義Ⅳ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
代数学特別講義Ⅴ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
幾何学特別講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
幾何学特別講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
幾何学特別講義Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
幾何学特別講義Ⅳ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
幾何学特別講義Ⅴ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
解析学特別講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
解析学特別講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
解析学特別講義Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
解析学特別講義Ⅳ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
解析学特別講義Ⅴ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	

# 物理学科

<b>カリキュラムポリシー</b>	主：60単位	強化：20単位
<b>主プログラム</b> <b>①教育目標</b> 物理学の主要分野の基礎を講義により学習する。それと平行して、問題解決の能力を養うための演習と、物理現象の自発的な発見と検証の能力を磨くための実験を行う。以上を経て、各人が課題を設定し、これを首尾一貫した系統的な物理学の考え方をを用いて問題を解決することを目標として特別研究を行い、その完成を修了要件とする。		
<b>②内容・構成</b> 物理学科が用意する講義科目・演習科目・実験科目・特別研究からなる。物理学を学ぶ上で有用であると思われる、数学、地学、ほか、理学の基礎実験科目を含んでいる。		
<b>強化プログラム</b> <b>①教育目標</b> 主プログラムで学んだ物理学の基礎的内容を発展させた専門性の高い科目群を履修する。それにより、物理学の細分化された専門分野での高度な知識を習得し、将来、大学院等で具体的かつ最前線の研究テーマに取り組むための実力を身につける。		
<b>②内容・構成</b> 素粒子・宇宙・原子核・物性物理等の幅広い分野の専門的・応用的科目から構成されている。講義科目に加えて計算機実習科目、および各研究室に配属してそで行われている研究に触れる科目（物理学基礎研究）を用意している。		

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
古典力学	2	I	Pink	○			
解析力学	2	I	Green	○			
電磁気学Ⅰ	2	I	Pink	○			
電磁気学Ⅱ	2	I	Green	○			
物理数学Ⅰ	2	I	Pink	○			
物理数学Ⅱ	2	I	Pink	○			
数理物理学	2	Ⅱ	Green	○			
力学系理論	2	Ⅱ	Green	○			
熱力学	2	Ⅱ	Pink	○			
統計力学	2	Ⅲ	Green	○			
量子力学Ⅰ	2	Ⅱ	Green	○			
量子力学Ⅱ	2	Ⅱ	Green	○			
量子力学Ⅲ	2	Ⅲ	Red	○			
力学演習	2	I	Pink	○			
電磁気学演習	2	I	Pink	○			
物理数学演習	2	Ⅱ	Pink	○			
量子力学演習	2	Ⅱ	Pink	○			
統計力学演習	2	Ⅲ	Green	○			
基礎物理学実験	2	Ⅱ	Pink	○			
物理学実験	4	Ⅲ	Green	○			
特別研究	12	Ⅳ	Red	○			
物理英語	2	I	Pink	※○	各選択（※印はコア科目 外国語の英語に充てる ことが出来る）		
初等解析学Ⅰ	2	I～Ⅳ	Pink	○			
初等解析学Ⅱ	2	I～Ⅳ	Pink	○			
初等線形代数学	2	I～Ⅳ	Pink	○			
宇宙・地球科学	2	I～Ⅳ	Pink	○			
地球環境科学	2	I～Ⅳ	Pink	○			
大気・海洋科学概論	2	I～Ⅳ	Pink	○			
地史・古生物学概論	2	I～Ⅳ	Pink	○			

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム			
				主プログラム	備考	◎必修 ○選択	強化プログラム
化学基礎実験	2	I～IV	Pink	○			
生物学基礎実験	2	I～IV	Pink	○			
地学基礎実験	2	I～IV	Pink	○			
物理学選択基礎	2	I		○			
固体電子論	2	Ⅲ	Red			○	以下の科目から20単位選択
相転移物理学	2	Ⅲ	Red			○	
凝縮系物理学	2	Ⅳ	Red			○	
原子核物理学	2	Ⅳ	Red			○	
素粒子物理学	2	Ⅲ	Red			○	
物性物理学序論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
相対論	2	Ⅱ	Green			○	
宇宙物理学	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
連続体物理学	2	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	
流体物理学	2	Ⅲ	Green			○	
物理実験学	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
基礎エレクトロニクス	2	Ⅲ	Green			○	
量子光学	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
ソフトマター物理	2	Ⅱ～Ⅳ	Red			○	
場の量子論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
計算物理学講義・演習	4	Ⅲ	Green			○	
物理学基礎研究	2	Ⅲ～Ⅳ	Pink			○	
物理学特別講義Ⅰ	2		Red			○	
物理学特別講義Ⅱ	2		Red			○	
物理学特別講義Ⅲ	2		Red			○	
物理学特別講義Ⅳ	2		Red			○	
物理学特別講義Ⅴ	2		Red			○	
物理学特別講義Ⅵ	2		Red			○	
物理学特別講義Ⅶ	2		Red			○	
物理学特別講義Ⅷ	2		Red			○	
物理学特別講義Ⅸ	2		Red			○	
物理学特別講義Ⅹ	2		Red			○	
物理学特別講義ⅩⅠ	2		Red			○	
物理学特別講義ⅩⅡ	2		Red			○	
物理学特別講義ⅩⅢ	2		Red			○	
物理学特別講義ⅩⅣ	2		Red			○	
物理学特別講義ⅩⅤ	2		Red			○	
物理学特別講義ⅩⅥ	2		Red			○	
物理学特別講義ⅩⅦ	2		Red			○	
物理学特別講義ⅩⅧ	2		Red			○	
物理学特別講義ⅩⅨ	2		Red			○	
物理学特別講義ⅩⅩ	2		Red			○	

# 化学科

<b>カリキュラムポリシー</b>	<b>主：60単位</b>	<b>強化：20単位</b>
<p><b>主プログラム</b></p> <p>①<b>教育目標</b> 講義科目における、化学及びそれに関連する分野の概念を理解すること、また、それに基づいた基礎的知識の系統的な修得を目指すとともに、講義科目によって身につけた力を、講義と密接に連携した実験科目の履修により、化学あるいはその関連分野に展開可能かつ実践的な基礎的力を身につけることを目標とする。</p> <p>②<b>内容・構成</b> 主プログラムでは、化学の5つの主要分野である物理化学、無機化学、有機化学、分析化学、生物化学の専門分野の基礎を講義により順次学習し、化学の体系を理解する。さらに講義内容の十分な理解と化学の研究に必要な実験手法を身につけるために各分野の実験をおこなう。化学の専門課程を理解する為の基礎を身につけることを目標とする。</p>		
<p><b>強化プログラム</b></p> <p>①<b>教育目標</b> 強化プログラムでは、各分野の基礎に立脚し、専門的事柄について講義および実験を通して学習する。これにより、幅広くかつ深い知識を習得するとともに、物質の構造、性質、反応に関する理解を深め、化学的視点に基づいた問題解決能力と問題発見能力を涵養することを目標とする。</p> <p>②<b>内容・構成</b> 物質の構造、性質、反応に関する共通的内容を含む必修科目と、それらを発展させたものもしくは現代化学の先端的内容を含んだ選択科目群から構成される。</p>		

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム			
				主プログラム	備考	◎必修 強化プログラム	○選択 備考
物理化学Ⅰ	2	Ⅱ	Green	◎			
物理化学Ⅱ	2	Ⅱ	Green	◎			
物理化学Ⅲ	2	Ⅱ	Green	◎			
無機化学Ⅰ	2	Ⅰ	Green	◎			
無機化学Ⅱ	2	Ⅱ	Green	◎			
有機化学Ⅰ	2	Ⅱ	Green	◎			
有機化学Ⅱ	2	Ⅱ	Green	◎			
分析化学Ⅰ	2	Ⅱ	Green	◎			
生物化学Ⅰ	2	Ⅱ	Green	◎			
生物化学Ⅱ	2	Ⅱ	Green	◎			
基本化学実験Ⅰ	2	Ⅰ	Pink	◎			
基本化学実験Ⅱ	2	Ⅱ	Green	◎			
基本化学実験Ⅲ	2	Ⅱ	Green	◎			
基本化学実験Ⅳ	2	Ⅱ	Green	◎			
専門化学実験Ⅰ	6	Ⅲ	Red	◎			
専門化学実験Ⅱ	4	Ⅲ	Red	◎			
化学演習Ⅰ	2	Ⅳ	Red	◎			
化学演習Ⅱ	2	Ⅳ	Red	◎			
特別研究Ⅰ	4	Ⅳ	Red	◎			
特別研究Ⅱ	8	Ⅳ	Red	◎			
化学特別ゼミⅠ	2	Ⅰ	Pink	○	各選択（※印はコア科目 外国語の英語に充てる ことが出来る）		
化学特別ゼミⅡ	2	Ⅰ	Pink	○			
化学英語	2	Ⅱ	Green	※○			
基礎化学A	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink	○			
基礎化学B	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink	○			
物理学概論A	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink	○			
物理学概論B	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink	○			



授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム		◎必修 ○選択	
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
基礎生物学 A	2	I ~ IV	Pink	○			
基礎生物学 B	2	I ~ IV	Pink	○			
生物学基礎実験	2	I ~ IV	Pink	○			
物理学基礎実験	2	I ~ IV	Pink	○			
化学選択基礎	2	I		○			
有機化学Ⅲ	2	Ⅲ	Red			◎	
分析化学Ⅱ	2	Ⅲ	Red			◎	
分子分光法	2	Ⅲ	Red			◎	
無機化学Ⅲ	2	Ⅲ	Red			○	以下の科目 から14単位 選択
生体分子機能・反応学	2	Ⅲ	Red			○	
物理化学Ⅳ	2	Ⅲ	Red			○	
有機化学Ⅳ	2	Ⅲ	Red			○	
分子生命科学	2	Ⅲ	Red			○	
量子化学	2	Ⅳ	Red			○	
計算法	2	Ⅱ	Red			○	
反応物理化学	2	Ⅲ~Ⅳ	Red			○	
高分子化学	2	Ⅲ~Ⅳ	Red			○	
実験値解析法	2	Ⅲ	Red			○	
放射化学	2	Ⅲ~Ⅳ	Red			○	
生物物理化学	2	Ⅲ~Ⅳ	Red			○	
物理化学特別講義Ⅰ	2	Ⅲ~Ⅳ	Red			○	
物理化学特別講義Ⅱ	2	Ⅲ~Ⅳ	Red			○	
物理化学特別講義Ⅲ	2	Ⅲ~Ⅳ	Red			○	
無機化学特別講義Ⅰ	2	Ⅲ~Ⅳ	Red			○	
無機化学特別講義Ⅱ	2	Ⅲ~Ⅳ	Red			○	
無機化学特別講義Ⅲ	2	Ⅲ~Ⅳ	Red			○	
分析化学特別講義Ⅰ	2	Ⅲ~Ⅳ	Red			○	
分析化学特別講義Ⅱ	2	Ⅲ~Ⅳ	Red			○	
分析化学特別講義Ⅲ	2	Ⅲ~Ⅳ	Red			○	
有機化学特別講義Ⅰ	2	Ⅲ~Ⅳ	Red			○	
有機化学特別講義Ⅱ	2	Ⅲ~Ⅳ	Red			○	
有機化学特別講義Ⅲ	2	Ⅲ~Ⅳ	Red			○	
生物化学特別講義Ⅰ	2	Ⅲ~Ⅳ	Red			○	
生物化学特別講義Ⅱ	2	Ⅲ~Ⅳ	Red			○	
生物化学特別講義Ⅲ	2	Ⅲ~Ⅳ	Red			○	
化学特別講義Ⅰ	1		Green			○	
化学特別講義Ⅱ	1		Green			○	
化学特別講義Ⅲ	1		Green			○	
化学特別講義Ⅳ	1		Green			○	
化学特別講義Ⅴ	1		Green			○	
化学特別講義Ⅵ	1		Green			○	
化学特別講義Ⅶ	1		Green			○	
化学特別講義Ⅷ	1		Green			○	

# 生物学科

<b>カリキュラムポリシー</b>	<b>主：60単位</b>	<b>強化：20単位</b>
<p><b>主プログラム</b></p> <p>①教育目標 生物学は自然科学の1分野にとどまらず、周辺領域の医学、薬学、農学、情報学などの学問分野に影響を与え、さらには地球環境問題や生命倫理などの社会的な問題にまで影響を及ぼしている。このような時代背景の下で、生物学を学んだ人材の必要性は益々高まっている。生物学主プログラムでは、1、2年次における生物学の基礎分野の講義と基本的な実習によって、核となる知識・理解力・論理力・実験手法を身につけ、3、4年次での専門的な実習及び特別研究を通して、実践力のある人材を育成することを目標とする。</p> <p>②内容・構成 上記の目標を達成するために、生物学主プログラムは、学年ごとに段階的に学習を積み重ねる構成内容となっている。1、2年次は、生物学の基礎概念を理解するための必修科目（26単位）及び基礎的な実験手法を学ぶ必修実習（4単位）を中心として学んでいく。2、3年次では、この基礎の上に、生物学の各分野の実験手法を学ぶ選択必修実習（8単位以上）及び選択科目を学ぶ。その後、3年次において生物学強化プログラム、学際プログラム、または他学科の副プログラムを学び、生物学主プログラムの総まとめとしての特別研究（12単位）及び生物学演習（4単位）を履修する。</p>		
<p><b>強化プログラム</b></p> <p>①教育目標 生物学主プログラムを履修する学生を対象に、生物学各分野の専門性の高い講義と実習を含む科目群を提供する。これらの科目群の中から各自の興味に応じた科目を選択することにより、より広く高度な応用的または先進的な知識・理解力・論理力・実践手法を身につけることを目的とする。この強化プログラムを踏まえて、実践的な研究活動を行う主プログラムの特別研究に移行することにより、高度な専門教育の実践が可能となる。また、この強化プログラムにより、大学院における生物学の特定分野の専門性を高める教育に対して学問的な基礎を身につける。</p> <p>②内容・構成 生物学主プログラムを学び終えた学生を対象にしているため、必修の科目は設けずに、多様な高度で専門的な講義及び実習から構成される内容となっている。学生の興味に従い、20単位以上を履修することが要件である。この強化プログラムは、学生に必要と判断される内容を柔軟に含めることができる構成となっている。学生は、自らの主体的な履修科目の選択により、個性的・独創的な生物学を構築することができる。</p>		

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム			
				主プログラム	備考	◎必修 強化プログラム	○選択 備考
生化学	2	I	Pink	◎			
生物物理学	2	I	Pink	◎			
動物系統学	2	I	Green	◎			
植物系統学	2	II	Green	◎			
動物生理学	2	II	Green	◎			
植物生理学	2	I	Green	◎			
代謝生物学	2	II	Green	◎			
基礎遺伝学	2	II	Green	◎			
分子遺伝学	2	II	Green	◎			
細胞生物学	2	II	Green	◎			
発生生物学	2	II	Green	◎			
進化生物学	2	I	Pink	◎			
生物統計学	2	II	Green	◎			
生物学実習 I	2	I	Green	◎			
生物学実習 II	2	II	Green	◎			
生物学演習 I	2	IV	Red	◎			
生物学演習 II	2	IV	Red	◎			
特別研究 I	6	IV	Red	◎			
特別研究 II	6	IV	Red	◎			

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム			
				主プログラム	備考	◎必修 ○選択	強化プログラム
基礎遺伝学実習	1	Ⅱ	Green	○	以下の科目から8単位以上選択		
分子遺伝学実習	1	Ⅲ	Green	○			
細胞生物学実習	1	Ⅲ	Green	○			
細胞生化学実習	1	Ⅲ	Green	○			
代謝生物学実習	1	Ⅲ	Green	○			
植物生理学実習	1	Ⅲ	Green	○			
動物生理学実習	1	Ⅲ	Green	○			
発生生物学実習	1	Ⅲ	Green	○			
植物系統学実習	1	Ⅱ	Green	○			
動物系統学臨海実習	1	Ⅱ	Green	○			
動物生理学臨海実習	1	Ⅲ	Green	○			
植物系統学臨海実習	1	Ⅰ	Pink	○			
生物学外書講読	2	Ⅲ	Green	※○	各選択(※印はコア科目外国語の英語に充てることが出来る)		
植物生態学	2	Ⅱ～Ⅲ	Green	○			
動物生態学	2	Ⅱ～Ⅲ	Green	○			
生物学選択基礎	2	Ⅰ		○			
細胞生化学	2	Ⅱ～Ⅲ	Red			○	以下の科目から20単位以上選択
分子細胞情報学	2	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	
生物系統地理学	2	Ⅲ	Green			○	
進化遺伝学	2	Ⅲ	Red			○	
発生遺伝学	2	Ⅲ	Red			○	
バイオメカニクス	2	Ⅲ	Red			○	
植物生理工学	2	Ⅲ	Red			○	
遺伝子工学	2	Ⅲ	Red			○	
植物機能制御学	2	Ⅲ	Red			○	
動物環境応答学	2	Ⅲ	Red			○	
分子構造生物学	2	Ⅱ～Ⅲ	Red			○	
免疫学	2	Ⅱ～Ⅲ	Red			○	
生命情報プログラミング演習	1	Ⅲ	Red			○	
分析・光学機器実習	1	Ⅲ	Red			○	
発生生物学臨海実習	1	Ⅲ	Green			○	
公開臨海実習	1	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
生物学特別講義Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
生物学特別講義Ⅱ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
生物学特別講義Ⅲ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
生物学特別講義Ⅳ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
生物学特別講義Ⅴ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
生物学特別講義Ⅵ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
生物学特別講義Ⅶ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
生物学特別講義Ⅷ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
生物学特別講義Ⅸ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
生物学特別講義Ⅹ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
生物学特別講義ⅩⅠ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
生物学特別講義ⅩⅡ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
生物学特別講義ⅩⅢ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
生物学特別講義ⅩⅣ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
生物学特別講義ⅩⅤ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
生物学特別講義ⅩⅥ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	
生物学特別講義ⅩⅦ	2	Ⅰ～Ⅳ	Red			○	

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム		◎必修 ○選択	
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
生物学特別講義XⅧ	2	I～IV	Red			○	
生物学特別講義XⅨ	2	I～IV	Red			○	
生物学特別講義XX	2	I～IV	Red			○	
生物学特殊講義I	1	I～IV	Red			○	
生物学特殊講義II	1	I～IV	Red			○	
生物学特殊講義III	1	I～IV	Red			○	
生物学特殊講義IV	1	I～IV	Red			○	
生物学特殊講義V	1	I～IV	Red			○	
生物学特殊講義VI	1	I～IV	Red			○	
生物学特殊講義VII	1	I～IV	Red			○	
生物学特殊講義VIII	1	I～IV	Red			○	
生物学特殊講義IX	1	I～IV	Red			○	
生物学特殊講義X	1	I～IV	Red			○	
生物学特殊講義XI	1	I～IV	Red			○	
生物学特殊講義XII	1	I～IV	Red			○	
生物学特殊講義XIII	1	I～IV	Red			○	
生物学特殊講義XIV	1	I～IV	Red			○	
生物学特殊講義XV	1	I～IV	Red			○	
生物学特殊講義XVI	1	I～IV	Red			○	
生物学特殊講義XVII	1	I～IV	Red			○	
生物学特殊講義XVIII	1	I～IV	Red			○	
生物学特殊講義XⅨ	1	I～IV	Red			○	
生物学特殊講義XX	1	I～IV	Red			○	

# 情報科学科

カリキュラムポリシー	主：60単位	強化：20単位
<b>主プログラム</b> <b>①教育目標</b> 情報科学を学ぶために必要な基礎を身につけるためのプログラムです。研究テーマを決めて指導教員のもとで専門的な情報科学の研究を行う特別研究も含まれますが、特別研究の履修には主プログラムの基礎科目だけでなく強化プログラムまたは副プログラムでそれぞれの専門分野について深く学ぶ必要があります。		
<b>②内容・構成</b> コンピュータシステム序論、データ構造とアルゴリズムなどの情報科学の基礎科目、線形代数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、微分積分学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、数理基礎論、確率序論、離散数学などの数学系の基礎科目、プログラミング実習、システムプログラミング実習などのプログラミング力を身につけるための実習科目、コンピュータアーキテクチャ、コンピュータネットワーク、マルチメディアなどの情報科学技術を学ぶ科目、特別研究が含まれます。		
<b>強化プログラム</b> <b>①教育目標</b> 主プログラムで情報科学を学ぶために必要な基礎を身につけた後で、更に情報科学についての理解を深めるためのプログラムです。特別研究を円滑に行えるように希望する指導教員の推奨する科目を中心に専門分野について深く学びます。		
<b>②内容・構成</b> 主プログラムで学んだ基礎を元に、専門性を強化するためのプログラムです。情報科学の様々な研究分野からそれぞれの興味にあった科目を選択して履修することができます。特別研究を担当するそれぞれの教員が履修を推奨する科目を中心になるべく多くの科目を履修できるように情報科学の専門科目を幅広く開講します。		

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム			
				主プログラム	備考	◎必修	○選択
線形代数学Ⅰ	2	I	Green	○			
線形代数学Ⅱ	2	I	Green	○			
微分積分学Ⅰ	2	I	Green	○			
微分積分学Ⅱ	2	I	Green	○			
数理基礎論	2	I	Pink	○			
コンピュータシステム序論	2	I	Pink	○			
データ構造とアルゴリズム	2	I	Green	○			
コンピュータ基礎演習	2	I	Green	○			
プログラミング実習	2	I	Green	○			
確率序論	2	Ⅱ	Green	○			
離散数学	2	Ⅱ	Green	○			
システムプログラミング実習	2	Ⅱ	Green	○			
コンピュータアーキテクチャⅠ	2	Ⅱ	Green	○			
コンピュータアーキテクチャⅡ	2	Ⅱ	Green	○			
コンピュータネットワークⅠ	2	Ⅱ	Green	○			
マルチメディア	2	Ⅱ	Green	○			
マルチメディアプログラミング実習	2	Ⅱ	Green	○			
特別研究	6	Ⅳ	Red	○			
線形代数学Ⅲ	2	Ⅱ	Green	○	(※印はコア科目外国語の英語に充てることが出来る)		
微分積分学Ⅲ	2	Ⅱ	Green	○			
初等代数学	2	I～Ⅳ	Pink	○			
線形代数学演習Ⅰ	2	I	Green	○			
線形代数学演習Ⅱ	2	I	Green	○			
微分積分学演習Ⅰ	2	I	Green	○			
微分積分学演習Ⅱ	2	I	Green	○			
微分積分学演習Ⅲ	2	Ⅱ	Green	○			

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム		◎必修 ○選択	
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
グラフ理論	2	Ⅱ	Green	○			
関数型言語	2	Ⅱ	Green	○			
英文講読	2	Ⅲ	Green	※○			
計算機代数演習	2	Ⅱ	Green	○			
位相空間論	2	Ⅱ	Green	○			
情報理論	2	Ⅱ	Green	○			
物理学概論A	2	I～Ⅳ	Pink	○			
物理学概論B	2	I～Ⅳ	Pink	○			
情報科学選択基礎	2	I		○			
情報科学集中演習	2	Ⅲ	Red			○	以下の科目 から20単位 以上選択
関数論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数値計算	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数値計算演習	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
言語理論とオートマトン	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
計算基礎論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
情報解析学	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
組み合わせ論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
暗号と符号	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
フーリエ解析とラプラス変換	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
微分方程式論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
数理統計学	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
情報倫理	2	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
情報と職業	2	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
計算モデル論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
コンパイラ構成論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
形式言語論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
人工知能論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
自然言語論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
バイオインフォマティクス	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
データベースシステム	2	Ⅱ～Ⅳ	Red			○	
データベース設計論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
コンピュータグラフィックス	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
コンピュータビジョン	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
コンピュータネットワークⅡ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
ヒューマンインターフェイス	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
ソフトウェア工学	2	I～Ⅳ	Red			○	
環境情報論	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
シミュレーション科学	2	Ⅲ～Ⅳ	Red			○	
情報科学特別講義Ⅰ	2		Red			○	
情報科学特別講義Ⅱ	2		Red			○	
情報科学特別講義Ⅲ	2		Red			○	
情報科学特別講義Ⅳ	2		Red			○	
情報科学特別講義Ⅴ	2		Red			○	
情報科学演習Ⅰ	2		Red			○	
情報科学演習Ⅱ	2		Red			○	
情報科学演習Ⅲ	2		Red			○	
情報科学演習Ⅳ	2		Red			○	
情報科学演習Ⅴ	2		Red			○	

# 副プログラム・学際プログラム

## 数学副プログラム

単位数：20

授業科目一覧

II

2

理学部 専門教育科目

カリキュラムポリシー	
①教育目標	他学科の純粋数学を学ぼうとする学生を対象とし、数学における抽象化、一般化、論理性が数学の発展の上でどのように寄与して来たかを学ぶ事により、物事を抽象的に把握し、その本質を見ぬく力を身につける事がこのプログラムの教育目標である。数学の専門性を追求しながら論理的・抽象的思考力を培い、数学の面白さを理解する知識と感性を備えた人物が養成されることが期待できる。
②内容・構成	数学の基礎科目に加えて、解析学、幾何学、代数学の各分野の4科目、概論的な科目である『数理逍遥』、『数の歴史』、及び演習を選択科目とする科目構成より成る。基礎を身につけた上で、各人の興味の傾向に従って分野を主体的に選択することが可能である。

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
初等代数学	2	I～IV	選択	Pink	以下の科目から20単位選択 (※印の科目は、情報科学科は本プログラムとしては履修できない)
数学演習XV	2	I	選択	Green	
線形代数学Ⅲ	2	II	※選択	Green	
微分積分学Ⅲ	2	II	※選択	Green	
微分積分学演習Ⅲ	2	II	※選択	Green	
位相空間論	2	II	※選択	Green	
位相空間論演習	2	II	選択	Green	
関数論	2	III	選択	Green	
関数論演習	2	III	選択	Green	
積分論	2	III	選択	Red	
関数解析	2	III～IV	選択	Red	
微分方程式論	2	III～IV	選択	Red	
多様体論	2	III～IV	選択	Red	
位相幾何学	2	III～IV	選択	Red	
微分幾何学	2	III～IV	選択	Red	
代数学Ⅰ	2	II	選択	Green	
代数学Ⅱ	2	III	選択	Green	
ガロア理論	2	IV	選択	Red	
数理逍遥Ⅰ	2	I～III	選択	Red	
数理逍遥Ⅱ	2	I～IV	選択	Red	
数理逍遥Ⅲ	2	I～III	選択	Red	
数理逍遥Ⅳ	2	I～III	選択	Red	
数理逍遥Ⅴ	2	III	選択	Red	
数理逍遥Ⅵ	2	II～III	選択	Red	
数理逍遥Ⅶ	2	II～III	選択	Red	
数理逍遥Ⅷ	2	III～IV	選択	Red	
数理逍遥Ⅸ	2	III～IV	選択	Red	
数理逍遥Ⅹ	2	III～IV	選択	Red	
数の歴史	2	I～IV	選択	Pink	
代数学特別講義Ⅰ	2	III～IV	選択	Red	
代数学特別講義Ⅱ	2	III～IV	選択	Red	
代数学特別講義Ⅲ	2	III～IV	選択	Red	
代数学特別講義Ⅳ	2	III～IV	選択	Red	
代数学特別講義Ⅴ	2	III～IV	選択	Red	
幾何学特別講義Ⅰ	2	III～IV	選択	Red	

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
幾何学特別講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
幾何学特別講義Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
幾何学特別講義Ⅳ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
幾何学特別講義Ⅴ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
解析学特別講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
解析学特別講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
解析学特別講義Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
解析学特別講義Ⅳ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
解析学特別講義Ⅴ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	



カリキュラムポリシー
<p>①教育目標 数学は、自然、社会諸科学の“言葉”として用いられ、それら諸科学を解明する方法となる。このプログラムでは、数理的方法による諸科学の基礎となる数学と、実際に応用される諸分野を広く学び、数理的方法の有用性を知り、この方法による問題解決力を身につけることが目標である。</p> <p>②内容・構成 数学、物理学、情報科学の3つの科目群からなる。数学科目は数学の中でも、特に応用される事の多い科目から成っている。物理学の科目群は物理学の基礎として重要な科目から成り、情報科学の科目は数学の応用として捉えやすい科目から成る。</p>

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
<b>【履修にあたっての注意】</b>					
以下の（数学）・（物理学）・（情報科学）のグループから2つ以上を選択し、それぞれ6単位以上を修得すること					
関数解析	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	(数学)
関数論統論	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
確率論	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
フーリエ解析とラプラス変換	2	Ⅳ	選択	Red	
ガロア理論	2	Ⅳ	選択	Red	
多様体論	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
微分幾何学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
微分方程式論	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
数理統計学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
数理経済学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
代数学特別講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
代数学特別講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
代数学特別講義Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
代数学特別講義Ⅳ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
代数学特別講義Ⅴ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
幾何学特別講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
幾何学特別講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
幾何学特別講義Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
幾何学特別講義Ⅳ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
幾何学特別講義Ⅴ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
解析学特別講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
解析学特別講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
解析学特別講義Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
解析学特別講義Ⅳ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
解析学特別講義Ⅴ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
数理物理学	2	Ⅱ	※選択	Green	(物理学) (※印の科目は、物理学科は本プログラムとしては履修できない)
古典力学	2	Ⅰ	※選択	Pink	
電磁気学Ⅰ	2	Ⅰ	※選択	Pink	
電磁気学Ⅱ	2	Ⅰ	※選択	Green	
量子力学Ⅰ	2	Ⅱ	※選択	Green	
量子力学Ⅱ	2	Ⅱ	※選択	Green	
解析力学	2	Ⅰ	※選択	Green	
熱力学	2	Ⅱ	※選択	Pink	
統計力学	2	Ⅲ	※選択	Green	
量子光学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
凝縮系物理学	2	Ⅳ	選択	Red	
場の量子論	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
物性物理学序論	2	Ⅱ～Ⅳ	選択	Green	
素粒子物理学	2	Ⅲ	選択	Red	
相対論	2	Ⅱ	選択	Green	
流体物理学	2	Ⅲ	選択	Green	
宇宙物理学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
物理学基礎研究	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Pink	
計算基礎論	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
グラフ理論	2	Ⅱ	※選択	Green	
情報理論	2	Ⅱ	※選択	Green	
組み合わせ論	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
コンピュータシステム序論	2	Ⅰ	※選択	Pink	
暗号と符号	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
情報解析学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	

(情報科学)  
 (※印の科目は、情報科学科  
 は本プログラムとしては履修で  
 きない)

## カリキュラムポリシー

## ①教育目標

他専攻の学生で、物理学に関心のある者がはじめに修めるべき主要分野の基礎的内容を講義により学習する。講義内容の消化と問題解決能力の養成のための演習を行う。以上を経て、各人が物理学的な考え方に習熟し、それをある程度使いこなせるようになることを目指す。

## ②内容・構成

物理学科が用意する主要分野の基礎的な講義科目・演習科目からなる。

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
物理学概論A	2	I～IV	選択	Pink	以下の科目から20単位選択
物理学概論B	2	I～IV	選択	Pink	
物理学基礎実験	2	I～IV	選択	Pink	
宇宙・地球科学	2	I～IV	選択	Pink	
古典力学	2	I	選択	Pink	
解析力学	2	I	選択	Green	
電磁気学Ⅰ	2	I	選択	Pink	
電磁気学Ⅱ	2	I	選択	Green	
物理数学Ⅰ	2	I	選択	Pink	
物理数学Ⅱ	2	I	選択	Pink	
力学系理論	2	Ⅱ	選択	Green	
熱力学	2	Ⅱ	選択	Pink	
量子力学Ⅰ	2	Ⅱ	選択	Green	
量子力学Ⅱ	2	Ⅱ	選択	Green	
力学演習	2	I	選択	Pink	
電磁気学演習	2	I	選択	Pink	
物理数学演習	2	Ⅱ	選択	Pink	
量子力学演習	2	Ⅱ	選択	Pink	

<b>カリキュラムポリシー</b>
<b>主プログラム</b>
①教育目標 物理や化学の主プログラムで学んだ、当該分野の基礎的内容を発展させた専門科目を履修すると共に、相互の分野の基礎的および専門的科目を同時に履修する。それにより、物理学と化学の学際領域で活躍するための基本的な力を身につける。
②内容・構成 物理と化学の学際分野に進むために有用である、両分野の入門的科目（基礎化学、物理学概論）および基礎実験科目を配置し、基礎的および専門的な講義科目を集めている。

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
					以下の科目から20単位選択
基礎化学A	2	I～IV	選択	Pink	(化学科は、本プログラムとしては履修できない)
基礎化学B	2	I～IV	選択	Pink	
化学基礎実験	2	I～IV	選択	Pink	
物理学概論A	2	I～IV	選択	Pink	
物理学概論B	2	I～IV	選択	Pink	
物理学基礎実験	2	I～IV	選択	Pink	
物理化学I	2	II	選択	Green	
物理化学II	2	II	選択	Green	
物理化学III	2	II	選択	Green	
物理化学IV	2	III	選択	Red	
無機化学I	2	I	選択	Green	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
有機化学I	2	II	選択	Green	
分析化学I	2	II	選択	Green	
分析化学II	2	III	選択	Red	
計算化学	2	II	選択	Red	
分子分光法	2	III	選択	Red	
量子化学	2	IV	選択	Red	
反応物理化学	2	III～IV	選択	Red	
生物物理化学	2	III～IV	選択	Red	
放射化学	2	III～IV	選択	Red	
量子力学I	2	II	選択	Green	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
量子力学II	2	II	選択	Green	
熱力学	2	II	選択	Pink	
統計力学	2	III	選択	Green	
物理数学I	2	I	選択	Pink	
物性物理学序論	2	II～IV	選択	Green	
固体電子論	2	III	選択	Red	
相転移物理学	2	III	選択	Red	
凝縮系物理学	2	IV	選択	Red	
ソフトマター物理	2	II～IV	選択	Red	
物理実験学	2	II～IV	選択	Green	
基礎エレクトロニクス	2	III	選択	Green	
物理学基礎研究	2	III～IV	選択	Pink	
計算物理学講義・演習	4	III	選択	Green	

カリキュラムポリシー					
①教育目標 化学の分野における基本的な考え方、基礎知識を身につけるとともに、先端化学について、その概要をある程度理解できる様な力を養う。					
②内容・構成 化学関連の全学共通科目において、初歩的なところを学び、化学の各分野の基礎的なものを選択して学べる様な構成となっている。					

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
基礎化学 A	2	I ~ IV	必修	Pink	以下の科目から 14 単位選択
基礎化学 B	2	I ~ IV	必修	Pink	
化学基礎実験	2	I ~ IV	必修	Pink	
物理化学 I	2	II	選択	Green	
物理化学 II	2	II	選択	Green	
物理化学 III	2	II	選択	Green	
無機化学 I	2	I	選択	Green	
無機化学 II	2	II	選択	Green	
有機化学 I	2	II	選択	Green	
有機化学 II	2	II	選択	Green	
分析化学 I	2	II	選択	Green	
生物化学 I	2	II	選択	Green	
生物化学 II	2	II	選択	Green	
化学英語	2	II	選択	Green	
化学特別ゼミ I	2	I	選択	Pink	

カリキュラムポリシー	
①教育目標	化学または生物の基礎をもつ学生がその知識と考え方を発展させて、生体分子および生物の働きを解明する学際分野へ進むための橋渡しをする。生命のしくみを物質の視点からより深く学ぶとともに、生体物質の構造と機能の解明、ならびに生体機能を制御する物質の合成・創成のために必要な基盤を習得する。
②内容・構成	化学主プログラムまたは生物主プログラムを履修した学生について必要なケミカルバイオロジー分野の基盤的科目及び、それらを発展して学ぶ科目及び周辺領域に視野を広げる科目から構成されている。

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考	
分子生命科学	2	Ⅲ	選択	Red	以下の科目から12単位以上 選択	
有機化学Ⅲ	2	Ⅲ	選択	Red		
生体分子機能・反応学	2	Ⅲ	選択	Red		
有機化学Ⅳ	2	Ⅲ	選択	Red		
生体分子機能・認識学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red		
生物物理化学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red		
細胞生化学	2	Ⅱ～Ⅲ	選択	Red		
分子細胞情報学	2	Ⅱ～Ⅲ	選択	Green		
分子構造生物学	2	Ⅱ～Ⅲ	選択	Red		
植物生理工学	2	Ⅲ	選択	Red		
細胞生物学	2	Ⅱ	選択	Green		(生物学科は本プログラムとして 履修できない)
代謝生物学	2	Ⅱ	選択	Green		
公開臨海実習	1	Ⅰ～Ⅳ	選択	Red	(化学科は本プログラムとして 履修できない)	
動物環境応答学	2	Ⅲ	選択	Red		
植物機能制御学	2	Ⅲ	選択	Red		
遺伝子工学	2	Ⅲ	選択	Red		
分析化学Ⅱ	2	Ⅲ	選択	Red		
計算化学	2	Ⅱ	選択	Red		
無機化学Ⅲ	2	Ⅲ	選択	Red		
ケミカルバイオロジー特別講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red		
ケミカルバイオロジー特別講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red		
高分子化学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red		
生物化学特別講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red		
生物化学特別講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red		
生物化学特別講義Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red		
有機化学特別講義Ⅰ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red		
有機化学特別講義Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red		
有機化学特別講義Ⅲ	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red		
有機化学Ⅰ	2	Ⅱ	選択	Green		
有機化学Ⅱ	2	Ⅱ	選択	Green		
生物化学Ⅰ	2	Ⅱ	選択	Green		
生物化学Ⅱ	2	Ⅱ	選択	Green		
基礎生物学A	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Pink	(生物学科は履修できない)	
基礎生物学B	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Pink		
生物学基礎実験	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Pink		
化学基礎実験	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Pink	(化学科は履修できない)	
基礎化学A	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Pink	(化学科は本プログラムとして 履修できない)	
基礎化学B	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Pink		

**カリキュラムポリシー**

①教育目標  
生物学の主プログラムを専攻しない他学科の学生に向けて、生物学のエッセンスを学び、生物学を構成する基本的な知識および概念を学ぶことを目的とする。近年の地球環境問題や生命倫理の問題が重要視される社会情勢の中で、生物学を主たる専攻としない学生に対する生物学教育の重要性は、益々高まるものと考え。主たる専門に加えて、このような生物学の基礎的な素養を持つ学生を育成することが、本プログラムの目標である。

②内容・構成  
この副プログラムの履修要件として、生物学の全学共通科目である基礎生物学 A、B 及び生物学基礎実験を必修科目（6単位）として履修し、これらに加えて生物学の必修科目の中から7科目以上を選択することとする。なお、生物学科の学生はこのプログラムを履修することができない。

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
基礎生物学 A	2	I～IV	必修	Pink	以下の科目から 14 単位選択
基礎生物学 B	2	I～IV	必修	Pink	
生物学基礎実験	2	I～IV	必修	Pink	
生化学	2	I	選択	Pink	
生物物理学	2	I	選択	Pink	
動物系統学	2	I	選択	Green	
植物系統学	2	II	選択	Green	
動物生理学	2	II	選択	Green	
植物生理学	2	I	選択	Green	
代謝生物学	2	II	選択	Green	
基礎遺伝学	2	II	選択	Green	
分子遺伝学	2	II	選択	Green	
細胞生物学	2	II	選択	Green	
発生生物学	2	II	選択	Green	
進化生物学	2	I	選択	Pink	
生物統計学	2	II	選択	Green	

カリキュラムポリシー	
①教育目標	生命情報学学際プログラムは、理学部の主プログラムの基礎を習得する学生に対して、学際分野である生命情報学の基礎から応用までを提供する。生命情報学研究に最低限必要な基礎知識の習得と様々なデータを解析し新しい知見を抽出するために必要な論理力と技術力の取得を目的とする。これらの習得により、ライフサイエンスのさまざまな分野で活躍できる人材の育成を目指す。
②内容・構成	生命情報学の基礎知識と基礎技術を習得するために、1科目の必修と7科目の選択必修を提供する。選択必修からは3科目を履修する。その上で、今までに学んできた主プログラムと生命情報学の基礎とを合流させて、学生自らがもっとも力を発揮できる領域を見だし、6科目以上（必修として選択しなかった選択必修科目と選択科目から）を履修する。

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
生命情報学概論	2	I～IV	必修	Green	
計算生物学	2	I～IV	選択	Green	以下の7科目から6単位以上選択
進化遺伝学	2	III～IV	選択	Red	
分子遺伝学	2	II	選択	Green	(生物学科は本プログラムとしては履修できない)
バイオインフォマティクス	2	III～IV	選択	Red	
コンピュータシステム序論	2	I	選択	Pink	(情報科学科は本プログラムとしては履修できない)
生体分子機能・反応学	2	III～IV	選択	Red	
計算化学	2	II	選択	Red	
生命情報プログラミング演習	1	III	選択	Red	(*印の科目は生物学科は本プログラムとしては履修できない)
生化学	2	I	*選択	Pink	
細胞生物学	2	II	*選択	Green	
発生遺伝学	2	III	選択	Red	
動物生理学	2	II	*選択	Green	
遺伝子工学	2	III	選択	Red	
植物生態学	2	II～III	選択	Green	
動物生態学	2	II～III	選択	Green	
生物統計学	2	II	*選択	Green	
分子構造生物学	2	II～III	選択	Red	
データ構造とアルゴリズム	2	I	*選択	Green	
情報解析学	2	III～IV	選択	Red	
数理基礎論	2	I	*選択	Pink	
確率序論	2	II	*選択	Green	
グラフ理論	2	II	*選択	Green	
情報理論	2	II	*選択	Green	
組み合わせ論	2	III～IV	選択	Red	
暗号と符号	2	III～IV	選択	Red	
データベース設計論	2	III～IV	選択	Red	
マルチメディア	2	II	*選択	Green	
環境情報論	2	III～IV	選択	Red	
物理化学Ⅰ	2	II	☆選択	Green	(*印の科目は化学科は本プログラムとしては履修できない)
物理化学Ⅱ	2	II	☆選択	Green	
分子生命科学	2	III	選択	Red	
有機化学Ⅰ	2	II	☆選択	Green	
有機化学Ⅱ	2	II	☆選択	Green	
有機化学Ⅲ	2	III	選択	Green	
有機化学Ⅳ	2	III	選択	Green	
物理化学Ⅲ	2	II	☆選択	Green	
物理化学Ⅳ	2	III	選択	Red	



授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
高分子化学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
実験値解析法	2	Ⅲ	選択	Red	
分析化学Ⅰ	2	Ⅱ	☆選択	Green	
数理統計学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
数理物理学	2	Ⅱ	選択	Green	(物理学科は本プログラムとしては履修できない)
微分幾何学	2	Ⅲ～Ⅳ	選択	Red	
基礎生物学A	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Pink	(生物学科は履修できない)
基礎生物学B	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Pink	
基礎化学A	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Pink	(化学科は本プログラムとしては履修できない)
基礎化学B	2	Ⅰ～Ⅳ	選択	Pink	

カリキュラムポリシー	
①教育目標	情報科学の基礎を学ぶための情報科学科以外の学生のための科目です。プログラミングの指導はできませんので各自で勉強してから履修してください。プログラミング課題を伴うマルチメディア I、コンピュータネットワーク I、データベースシステムについては、コア科目のプログラミング演習の成績が S または A であることを履修の要件とします。人数制限がある場合にはプログラミング演習の成績が S の学生を優先します。
②内容・構成	コンピュータシステム序論などの情報科学の基礎科目、数理基礎論、確率序論、離散数学などの数学系の基礎科目、コンピュータアーキテクチャ、コンピュータネットワーク、マルチメディア、暗号と符号などの情報科学技術を学ぶ科目が含まれます。

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
数理基礎論	2	I	必修	Pink	
情報理論	2	II	必修	Green	
コンピュータシステム序論	2	I	選択	Pink	(*数学科は本プログラムとしては履修できない)
確率序論	2	II	*選択	Green	
離散数学	2	II	*選択	Green	(*数学科は履修できない)
コンピュータアーキテクチャ I	2	II	選択	Green	
コンピュータネットワーク I	2	II	選択	Green	
マルチメディア	2	II	選択	Green	
グラフ理論	2	II	選択	Green	
位相空間論	2	II	*選択	Green	
情報倫理	2	III~IV	選択	Green	
情報と職業	2	III~IV	選択	Green	
バイオインフォマティクス	2	III~IV	選択	Red	
データベースシステム	2	II~IV	選択	Red	
組み合わせ論	2	III~IV	選択	Red	
暗号と符号	2	III~IV	選択	Red	
ヒューマンインターフェイス	2	III~IV	選択	Red	
環境情報論	2	III~IV	選択	Red	

## 関連科目 数学科

授業科目	単位	CCBM
物理学概論A	2	Pink
物理学概論B	2	Pink
基礎化学A	2	Pink
基礎化学B	2	Pink
基礎生物学A	2	Pink
基礎生物学B	2	Pink
宇宙・地球科学	2	Pink
地球環境科学	2	Pink

授業科目	単位	CCBM
大気・海洋科学概論	2	Pink
地史・古生物学概論	2	Pink
物理学基礎実験	2	Pink
化学基礎実験	2	Pink
生物学基礎実験	2	Pink
地学基礎実験	2	Pink
数理基礎論	2	Pink
コンピュータシステム序論	2	Pink

## 関連科目 物理学科

授業科目	単位	CCBM
初等解析学Ⅰ	2	Pink
初等解析学Ⅱ	2	Pink
初等線形代数学	2	Pink
初等代数学	2	Pink
数の歴史	2	Pink
基礎化学A	2	Pink
基礎化学B	2	Pink
基礎生物学A	2	Pink
基礎生物学B	2	Pink
宇宙・地球科学	2	Pink

授業科目	単位	CCBM
地球環境科学	2	Pink
大気・海洋科学概論	2	Pink
地史・古生物学概論	2	Pink
化学基礎実験	2	Pink
生物学基礎実験	2	Pink
地学基礎実験	2	Pink
数理基礎論	2	Pink
確率序論	2	Green
コンピュータシステム序論	2	Pink

## 関連科目 化学科

授業科目	単位	CCBM
初等解析学Ⅰ	2	Pink
初等解析学Ⅱ	2	Pink
初等線形代数学	2	Pink
初等代数学	2	Pink
物理学概論A	2	Pink
物理学概論B	2	Pink
基礎化学A	2	Pink
基礎化学B	2	Pink
基礎生物学A	2	Pink
基礎生物学B	2	Pink

授業科目	単位	CCBM
宇宙・地球科学	2	Pink
地球環境科学	2	Pink
大気・海洋科学概論	2	Pink
地史・古生物学概論	2	Pink
物理学基礎実験	2	Pink
生物学基礎実験	2	Pink
地学基礎実験	2	Pink
数理基礎論	2	Pink
確率序論	2	Green
コンピュータシステム序論	2	Pink

## 関連科目 生物学科

授業科目	単位	CCBM
初等解析学Ⅰ	2	Pink
初等解析学Ⅱ	2	Pink
初等線形代数学	2	Pink
初等代数学	2	Pink
数の歴史	2	Pink
物理学概論A	2	Pink
物理学概論B	2	Pink
基礎化学A	2	Pink
基礎化学B	2	Pink
宇宙・地球科学	2	Pink

授業科目	単位	CCBM
地球環境科学	2	Pink
大気・海洋科学概論	2	Pink
地史・古生物学概論	2	Pink
物理学基礎実験	2	Pink
化学基礎実験	2	Pink
地学基礎実験	2	Pink
数理基礎論	2	Pink
確率序論	2	Green
コンピュータシステム序論	2	Pink

## 関連科目 情報科学科

授業科目	単位	CCBM
初等代数学	2	Pink
物理学概論A	2	Pink
物理学概論B	2	Pink
基礎化学A	2	Pink
基礎化学B	2	Pink
基礎生物学A	2	Pink
基礎生物学B	2	Pink
宇宙・地球科学	2	Pink

授業科目	単位	CCBM
地球環境科学	2	Pink
大気・海洋科学概論	2	Pink
地史・古生物学概論	2	Pink
物理学基礎実験	2	Pink
化学基礎実験	2	Pink
生物学基礎実験	2	Pink
地学基礎実験	2	Pink

## 全学共通科目

授業科目	単位	CCBM	備考
NPO入門	2	Pink	
女性リーダーへの道（入門編）	2	Pink	
女性リーダーへの道（ロールモデル入門編）	2	Pink	
女性リーダーへの道（実践入門編）	2	Green	
キャリアプランとライフプランⅠ	2	Pink	
キャリアプランとライフプランⅡ	2	Pink	
情報コミュニケーション技術と創発性	2	Pink	
働く女性の権利と地位	2	Pink	卒業に必要な単位に含めることができない
共生社会で働く	2	Green	卒業に必要な単位に含めることができない
グループワークとマネジメント	2	Green	卒業に必要な単位に含めることができない
キャリアプランニング実習	1	Pink	卒業に必要な単位に含めることができない
インターンシップ	1	Green	卒業に必要な単位に含めることができない
クリエイティブ・ライティングⅠ	2	Green	
クリエイティブ・ライティングⅡ	2	Green	
クリエイティブ・ライティングⅢ	2	Green	
クリエイティブ・ライティングⅣ	2	Green	
博物館学概論	2	Ivory	
博物館資料特殊講義	2	Ivory	
博物館活動特殊講義	2	Ivory	
博物館実習	3	Ivory	
初等解析学Ⅰ	2	Pink	数学科、情報科学科は履修できない
初等解析学Ⅱ	2	Pink	数学科、情報科学科は履修できない
初等線形代数学	2	Pink	数学科、情報科学科は履修できない
初等代数学	2	Pink	
数の歴史	2	Pink	
物理学概論A	2	Pink	物理学科は履修できない
物理学概論B	2	Pink	物理学科は履修できない
基礎化学A	2	Pink	
基礎化学B	2	Pink	
基礎生物学A	2	Pink	生物学科は履修できない
基礎生物学B	2	Pink	生物学科は履修できない
宇宙・地球科学	2	Pink	
地球環境科学	2	Pink	
大気・海洋科学概論	2	Pink	
地史・古生物学概論	2	Pink	
物理学基礎実験	2	Pink	物理学科は履修できない
化学基礎実験	2	Pink	化学科は履修できない
生物学基礎実験	2	Pink	生物学科は履修できない
地学基礎実験	2	Pink	
数理基礎論	2	Pink	
確率序論	2	Green	
コンピュータシステム序論	2	Pink	
生命情報学概論	2	Green	
計算生物学	2	Green	
海外交換留学認定科目	2～12		
グローバルCOE人間発達科学論Ⅰ	2	Green	
グローバルCOE人間発達科学論Ⅱ	2	Green	
グローバルCOE人間発達科学論Ⅲ	2	Green	

授業科目	単位	CCBM	備考
科学英語Ⅰ	2		
科学英語Ⅱ	2		
物理学サブリメント	2	Pink	卒業に必要な単位に含めることができない
生物学サブリメント	2	Pink	卒業に必要な単位に含めることができない
英語基礎強化ゼミ	2	Pink	卒業に必要な単位に含めることができない
TOEFL 対策ゼミ R/L	2		卒業に必要な単位に含めることができない
TOEFL 対策ゼミ S/W	2		卒業に必要な単位に含めることができない
企画・運営力養成講座	2		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅰ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅱ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅲ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅳ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅴ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅵ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅶ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅷ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅸ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習Ⅹ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習ⅩⅠ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習ⅩⅡ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習ⅩⅢ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習ⅩⅣ	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習ⅩⅤ	1		卒業に必要な単位に含めることができない

## 教職に関する科目

授業科目	単位	CCBM
教職概論	2	Ivory
教育原論（思想・歴史）	2	Ivory
教育心理	2	Ivory
教育原論（社会・制度）	2	Ivory
教育方法論	2	Ivory
視聴覚教育メディア論	2	Ivory
数学科教育法Ⅰ	2	Ivory
数学科教育法Ⅱ	2	Ivory
理科教育法Ⅰ	2	Ivory
理科教育法Ⅱ	2	Ivory
情報科教育法Ⅰ	2	Ivory

授業科目	単位	CCBM
情報科教育法Ⅱ	2	Ivory
道徳教育の研究	2	Ivory
教育課程論	2	Ivory
特別活動の研究	2	Ivory
生徒指導の研究	2	Ivory
学校カウンセリング	2	Ivory
事前・事後指導	1	Ivory
教育実習	高校は2単位	Ivory
	中学は4単位	Ivory
教職実践演習（教諭）	2	Ivory

授業科目一覧

Ⅱ

2

理学部  
専門教育科目

## 外国人留学生特別科目

授業科目	単位	CCBM
日本語演習ⅠA	2	Pink
日本語演習ⅠB	2	Pink
日本語演習ⅡA	2	Green
日本語演習ⅡB	2	Green
日本語演習ⅢA	2	Green
日本語演習ⅢB	2	Green
日本語演習ⅣA	2	Green
日本語演習ⅣB	2	Green
日本語演習ⅤA	2	Green
日本語演習ⅤB	2	Pink
日本事情演習ⅠA	2	Pink
日本事情演習ⅠB	2	Green
日本事情演習ⅡA	2	Green
日本事情演習ⅡB	2	Green
日本事情演習ⅢA	2	Green
日本事情演習ⅢB	2	Green
日本事情演習ⅣA	2	Green
日本事情演習ⅣB	2	Green
日本事情演習ⅤA	2	Green
日本事情演習ⅤB	2	Green





### 3 生活科学部

生活科学部履修規程 (P. 208) により、以下の別表のとおり卒業に必要な単位 124 単位を修得してください。各学科プログラム等に関することは、別表 2、3 を参照してください。

**別表第 1-1 (第 5 条関係)**

学科別	科目区分	必修及び選択必修の科目・単位							自由に選択して履修する科目・単位							卒業に必要な履修単位数			
		コア科目					専門教育科目(必修プログラム)		コア科目	専攻科目	学部共通科目	自由科目	他学部の科目	全学共通科目	教職共通科目		教職に関する科目	必修以外の選択プログラム	
		文理融合リベラルアーツ	基礎講義	情報報	外国語	スポーツ健康	主プログラム	強化プログラム											副プログラム
人間・環境科学科								60	20									14	124
人間生活学科								42	20									32	124

**備考**

- 1 情報処理演習(情報) 2 単位は、必修とする。
- 2 外国語は、一の外国語について 8 単位を必修とする。
- 3 スポーツ健康実習 2 単位を必修とし、その履修方法は別に定める。
- 4 主プログラムは、所属学科から選択すること。
- 5 強化プログラム・副プログラム・学際プログラムは、所属学部のプログラムから一つを選択すること。
- 6 強化プログラムは、同一名の主プログラムを選択していることが履修要件となる。
- 7 選択している主プログラムと同領域の副プログラムを選択することはできない。
- 8 必修以外の選択プログラムは、別表第 2 の所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、副プログラム、学際プログラムから選択すること。
- 9 教職に関する科目(教職概論、教育実習及び教職実践演習は除く。)の単位については、14 単位までを自由に選択して履修する科目・単位として取り扱う。
- 10 外国人留学生特別科目(外国人留学生対象)の単位については、18 単位までをコア科目として取り扱う。
- 11 生活科学部の「学部共通科目」は、別表第 9 のとおりとする。これらの科目の履修方法等は、別に定める。
- 12 特別設置科目は、自由科目の単位として取り扱う。  
ただし、卒業に必要な単位として取り扱うことのできる単位の上限は、8 単位とする。

**別表第 1-2 (第 5 条関係)**

学科別	科目区分	必修及び選択必修の科目・単位					自由に選択して履修する科目・単位							卒業に必要な履修単位数					
		コア科目					専攻科目	学部共通科目	コア科目	専攻科目	学部共通科目	自由科目	他学部の科目		全学共通科目	教職共通科目	教職に関する科目	必修以外の選択プログラム	
		文理融合リベラルアーツ	基礎講義	情報報	外国語	スポーツ健康													
食物栄養学科						101	4											3	138

**備考**

- 1 情報処理演習(情報) 2 単位は、必修とする。
- 2 外国語は、一の外国語について 8 単位を必修とする。
- 3 スポーツ健康実習 2 単位を必修とし、その履修方法は別に定める。
- 4 必修以外の選択プログラムは、別表第 2 の所属学科が指定するプログラム選択一覧に従い、副プログラム、学際プログラムから選択すること。
- 5 教職に関する科目(教職概論、教育実習及び教職実践演習は除く。)の単位については、14 単位までを自由に選択して履修する科目・単位として取り扱う。
- 6 外国人留学生特別科目(外国人留学生対象)の単位については、18 単位までをコア科目として取り扱う。
- 7 生活科学部の「学部共通科目」は、別表第 9 のとおりとする。これらの科目の履修方法等は、別に定める。
- 8 特別設置科目は、自由科目の単位として取り扱う。  
ただし、卒業に必要な単位として取り扱うことのできる単位の上限は、8 単位とする。

別表第2

【(生) 二つ目の選択プログラム】(別表第1-1 備考5関係)

所属学科・講座	所属学科の強化プログラム以外に選択することのできる「選択プログラム群」					
	人間・環境科学(副)	発達臨床心理学(副)	公共政策論(副)	ジェンダー論(副)	生活文化学(副)	消費者学(学際)
食物栄養学科						
人間・環境科学科		×	×	×	×	○
人間生活学科	○		○	○	○	○
発達臨床心理学講座	○		○	○	○	○
生活社会科学講座	○	○			○	○
生活文化学講座	○	○	○	○		○

【(生) 三つ目の選択プログラム(文・プログラム)】(別表第1-1 備考8関係、別表第1-2 備考4関係)

所属学科・講座	所属学科の強化プログラム以外に選択することのできる「選択プログラム群」														
	哲学・倫理学・美術史(副)	比較歴史学(副)	地理環境学(副)	日本語・日本文学(副)	中国語圏言語文化(副)	英語圏言語文化(副)	仏語圏言語文化(副)	日本語教育(副)	社会学(副)	教育学(副)	心理学(副A) 人間社会科学科対象	心理学(副B) 人間社会科学科以外対象	舞踊教育学(副)	音楽表現(副)	グローバル文化学(学際)
食物栄養学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人間・環境科学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人間生活学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発達臨床心理学講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
生活社会科学講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
生活文化学講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【(生) 三つ目の選択プログラム(理・プログラム)】(別表第1-1 備考8関係、別表第1-2 備考4関係)

所属学科・講座	所属学科の強化プログラム以外に選択することのできる「選択プログラム群」								
	数学(副)	物理学(副)	化学(副)	生物学(副)	情報科学(副)	応用数理(学際)	物理・化学(学際)	ケミカルバイオロジー(学際)	生命情報学(学際)
食物栄養学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人間・環境科学科	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人間生活学科	○	○	○	○	○	×	×	×	×
発達臨床心理学講座	○	○	○	○	○	×	×	×	×
生活社会科学講座	○	○	○	○	○	×	×	×	×
生活文化学講座	○	○	○	○	○	×	×	×	×

【(生) 三つ目の選択プログラム(生・プログラム)】(別表第1-1 備考8関係、別表第1-2 備考4関係)

所属学科・講座	所属学科の強化プログラム以外に選択することのできる「選択プログラム群」					
	人間・環境科学(副)	発達臨床心理学(副)	公共政策論(副)	ジェンダー論(副)	生活文化学(副)	消費者学(学際)
食物栄養学科	○	○	○	○	○	○
人間・環境科学科		○	○	○	○	○
人間生活学科	○		○	○	○	○
発達臨床心理学講座	○		○	○	○	○
生活社会科学講座	○	○			○	○
生活文化学講座	○	○	○	○		○

# 生活科学部 主プログラム・強化プログラム

## 人間・環境科学科

授業科目一覧

Ⅱ

2

専門教育科目  
生活科学部

カリキュラムポリシー	主：60単位	強化：20単位
<b>主プログラム</b> <b>①教育目標</b> 環境と人間との間でのアンバランスから生じるさまざまな問題に対し、人間が享受する快適性、利便性、安全・安心を生活者にとって重要な要素と位置付けた上で、互いに影響を受け合って変化する環境と人間との間のダイナミクス（相互作用）を、環境と人間の双方の視点から、また歴史・進化的視点のもとで科学的に理解することを目標とする。さらには、人間と環境がバランスを保ちつつ暮らせる具体的な対策を、社会に対して提案して実践する能力を養うことを教育目標とする。		
<b>②内容・構成</b> 人間と環境のあいだの問題の解決には定量制や客観性といった科学的な思考能力が不可欠であるため、入学後の1・2年次には、徹底した自然科学系基礎教育（数学、物理、化学、生物、統計学など）を行い、卒業研究のための基礎力を涵養する。3年次には関心に従い、応用へ展開する諸科目を学習する。4年間の勉学を通じて、科学技術の実践的な応用、生活関連分野におけるタイムリーなテーマへの取組み、研究成果の社会での応用・評価などを学ぶ。		
<b>強化プログラム</b> <b>①教育目標</b> 科学技術応用による具体課題の解決に対する社会的要求に応えるべく、実験実習を中心に充実した工学教育プログラムを提供する。本プログラムでは工学分野における主要科目（講義科目ならびに実験演習科目）を配置し、設計から評価にわたる徹底した一連の工学教育を展開する。そして、理系における実務教育の実施および女性技術者の育成に努める。なお、二級建築士受験資格を目指すものは、必要となる単位数が異なるので、注意すること。		
<b>②内容・構成</b> 主プログラムで学んだ自然科学基礎力を一層発展させることとし、工学的トレーニングを通じて、設計・評価能力を養う。また、プレゼンテーション技術を身につける。世界的科学技術競争の激化、少子高齢化、安全と安心の問題や地球的課題などに対応すべく、優れた創造的人材を育成する。理工系の基礎能力を身に付け、かつ、生活・生活の質に関連した具体的な応用課題に対する解決能力を有する人材の育成をはかる。		

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム			
				主プログラム	備考	◎必修	○選択
統計学	2	Ⅱ	Green	◎			
基礎有機化学	2	Ⅱ～Ⅳ	Pink	◎			
数学物理学演習Ⅰ	2	Ⅰ	Pink	◎			
物理学	2	Ⅰ	Pink	◎			
生物化学	2	Ⅱ	Green	◎			
人体解剖学	2	Ⅰ	Pink	◎			
環境化学	2	Ⅱ	Green	◎			
情報工学演習	2	Ⅲ	Red	◎			
人間環境科学演習	2	Ⅲ	Red	◎			
人間環境科学実験実習Ⅰ	2	Ⅲ	Red	◎			
人間環境科学実験実習Ⅱ	2	Ⅲ	Red	◎			
人間環境科学実験実習Ⅲ	2	Ⅲ	Red	◎			
人間環境科学輪講Ⅰ	2	Ⅳ	Red	◎			
人間環境科学輪講Ⅱ	2	Ⅳ	Red	◎			
卒業論文	10	Ⅳ	Red	◎			
数学物理学演習Ⅱ	2	Ⅰ	Pink	○	以下の科目から22単位以上選択		
物理化学	2	Ⅱ	Green	○			
反応工学論	2	Ⅱ	Green	○			
環境生理学	2	Ⅱ	Green	○			
ヒトと文化	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink	○			

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム		◎必修 ○選択	
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
人体計測学演習	4	Ⅱ	Green	○			
科学英語演習	2	Ⅲ	Green	○			
機器分析演習	2	Ⅱ	Green	○			
応用統計学	2	Ⅰ～Ⅳ	Green	○			
基礎構造力学	2	Ⅱ	Pink	○			
住居学概論	2	Ⅰ	Pink	○			
生活科学概論	2	Ⅰ	Pink	○			
人間・環境科学選択基礎	2	Ⅰ		○			
人間工学	2	Ⅱ	Green			○	以下の科目 から20単位 以上選択
システム工学	2	Ⅲ	Red			○	
水環境工学	2	Ⅲ	Red			○	
環境材料物性	2	Ⅲ	Red			○	
環境物理学	2	Ⅲ	Red			○	
人類進化史	2	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	
統計学演習	2	Ⅲ	Red			○	
数学物理学演習Ⅲ	2	Ⅱ	Green			○	
人間環境科学特別実習Ⅰ	2	Ⅲ	Red			○	
人間環境科学特別実習Ⅱ	2	Ⅲ	Red			○	
環境衛生学	2	Ⅱ	Green			○	
人間環境科学特別講義	2	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
建築環境計画論	2	Ⅱ	Green			○	
建築環境工学	2	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	
建築一般構造	2	Ⅰ	Pink			○	
建築材料学Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	
設計製図基礎	2	Ⅰ	Pink			○	
建築設計製図演習Ⅰ	2	Ⅱ	Green			○	
建築設計製図演習Ⅱ	2	Ⅱ	Red			○	
建築史	2	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	
建築法規	1	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	
建築施工	1	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	
建築材料学Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
生活設備学	2	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	
建築意匠論	2	Ⅱ～Ⅲ	Red			○	
建築構造力学	2	Ⅱ～Ⅲ	Red			○	
測量学	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
環境デザイン論	2	Ⅱ～Ⅲ	Green			○	
住生活論	2	Ⅱ	Green			○	

# 人間生活学科 発達臨床心理学

<b>カリキュラムポリシー</b>	<b>主：42単位</b>	<b>強化：20単位</b>
<p><b>主プログラム</b></p> <p>①<b>教育目標</b>                  発達臨床心理学講座では、生涯にわたる人間の発達・変容と、それに対する支援・援助のあり方について、理論的に、かつ、実践的に考究する学問である。そのため、家庭、就学前教育施設、児童福祉施設、学校、心理臨床など、様々な現場とのダイナミックな連携を重視しつつカリキュラムが構成されている。                  卒業後は、就学前教育・学校教育の教員、心理臨床の専門家（臨床心理士）養成の準備教育を行うと同時に、大学で学んだ知見をあらゆる社会生活の中で実践的に生かせる態度と見識を養うことを目標としている。</p> <p>②<b>内容・構成</b>                  臨床心理学、発達心理学、教育心理学、保育学、教育学などの基礎となる様々な学問的知見について学び、研究の姿勢と方法を身につけることが目指されているが、加えて、実践の場で求められる知識や態度のために必要な基礎的学習を重視している。したがって、主プログラムでは、講義科目として、発達と臨床に関する基礎的な知識を習得する科目、また、観察・診断・検査・統計分析といった方法論や分析スキルを身につける科目を用意している。さらに、演習科目として、講義講読科目群と研究演習科目群が用意されており、それぞれから1科目以上、計2科目以上の演習科目を履修し、卒業論文を執筆する。</p>		
<p><b>強化プログラム</b></p> <p>①<b>教育目標</b>                  発達臨床心理学主プログラムにより基礎的な力を養った後、より広範な専門的知識と分析方法を学習し、自ら分析・研究を進めていく力を養うためのプログラムである。また、充実した実習科目や演習科目を履修することによって、専門的な研究方法や、実践的な思考を深めることを目標としている。</p> <p>②<b>内容・構成</b>                  人の心やコミュニケーションの問題、子どもから大人まで生涯にわたる発達に関する課題等、専門に関する講義科目がすべて選択科目として用意されているので、各自の関心を深めると同時に視野を広げるために自由に選択することができる。実習科目については、履修年次制限に留意すること。4年次向けに開講されている発達臨床論文演習I・IIは必修ではないが、卒論執筆に当たっては、履修することが望まれる。</p>		

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
人間生活論	2	I	Pink	◎			
児童学概論	2	I	Pink	◎			
生活文化学概論	2	I	Pink	○	以下の科目から 2単位以上選択		
生活社会科学概論	2	I	Pink	○			
発達臨床基礎論Ⅰ	2	I	Pink	◎			
発達臨床基礎論Ⅱ	2	I	Pink	◎			
発達臨床基礎演習Ⅰ	2	I	Pink	◎			
発達臨床基礎演習Ⅱ	2	I	Pink	◎			
人間関係学	2	I	Pink	◎			
発達臨床心理学Ⅰ	2	I	Green	◎			
発達臨床心理学Ⅱ	2	Ⅱ	Green	◎			
発達臨床人格検査法	2	Ⅱ	Green	◎			
発達臨床観察法	2	Ⅱ	Green	◎			
心理統計法（理論）	2	Ⅲ	Green	◎			
心理統計法（実践）	2	Ⅲ	Green	◎			
卒業論文	8	Ⅳ	Red	◎			
生活科学概論	2	I	Pink	○			
発達臨床心理学選択基礎	2	I		○			
生涯発達講義講読	2	Ⅲ	Red	○	以下の科目 から2単位 以上選択	○	以下の科目 から20単位 以上選択
心理臨床講義講読	2	Ⅲ	Red	○		○	
保育臨床講義講読	2	Ⅲ	Red	○		○	

授業科目一覧

Ⅱ

2

専門教育科目  
生活科学部

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム			
				主プログラム	備考	◎必修 ○選択	備考
人間関係講義講読	2	Ⅲ	Red	○	以下の科目 から2単位 以上選択	○	
人格発達講義講読	2	Ⅲ	Red	○		○	
学校心理講義講読	2	Ⅲ	Red	○		○	
生涯発達研究演習	2	Ⅲ	Red	○		○	
心理臨床研究演習	2	Ⅲ	Red	○		○	
保育臨床研究演習	2	Ⅲ	Red	○		○	
人間関係研究演習	2	Ⅲ	Red	○		○	
人格発達研究演習	2	Ⅲ	Red	○		○	
学校心理研究演習	2	Ⅲ	Red	○		○	
保育臨床学	2	Ⅱ	Green			○	
学校臨床学	2	Ⅱ	Green			○	
人格心理学	2	Ⅱ	Green			○	
保育学	2	Ⅱ	Green			○	
カウンセリング論	2	Ⅱ	Green			○	
心理臨床学	2	Ⅱ	Green			○	
障害臨床学	2	Ⅱ	Green			○	
発達社会文化論	2	Ⅱ	Green			○	
発達過程論	2	Ⅱ	Green			○	
児童社会文化論	2	Ⅱ	Green			○	
発達保健学	2	Ⅱ	Green			○	
家族療法	2	Ⅱ	Green			○	
質問紙法	2	Ⅱ	Green			○	
面接法	2	Ⅱ	Green			○	
産業心理臨床	2	Ⅱ	Green			○	
児童文化論	2	Ⅱ	Green			○	
発達臨床心理学専門英語	2	Ⅱ	Green			○	
発達臨床特殊講義Ⅰ	2	Ⅱ	Green			○	
発達臨床特殊講義Ⅱ	2	Ⅱ	Green			○	
発達臨床特殊講義Ⅲ	2	Ⅱ	Green			○	
心理臨床実習	2	Ⅲ	Red			○	
保育臨床実習	2	Ⅱ	Red			○	
発達臨床学特別実習Ⅰ	2	Ⅲ	Red			○	
発達臨床学特別実習Ⅱ	2	Ⅲ	Red			○	
発達臨床論文演習Ⅰ	2	Ⅳ	Red			○	
発達臨床論文演習Ⅱ	2	Ⅳ	Red			○	

カリキュラムポリシー	主：42単位	強化：20単位
<p><b>主プログラム</b></p> <p>①教育目標 本プログラムは、社会科学の理論と方法論を習得し、身近な生活問題の発生メカニズムを理解するとともに、その解決の方途について提案する力を養うことを目的とする。法学、政治学、経済学、社会学の4分野にわたり広く社会科学の基礎知識を習得し、これを応用して各自の研究課題を解明するための基礎力を身につける。</p> <p>②内容・構成 社会科学の理論と方法論の基礎を集中的に学ぶとともに、家族論、ジェンダー論、社会政策論、消費者経済、生活法、生活政治学等、本主プログラムと強化プログラムの柱となる現代的トピックについて学ぶ。3年次にはいずれかの演習を選択して密度濃い指導を受けつつ卒業研究のテーマを明確にし、4年次では卒業論文の作成に取り組む。</p>		
<p><b>強化プログラム</b></p> <p>①教育目標 生活社会科学主プログラムにより基礎的な力を養った後、各自の研究テーマ及びその関連領域につき体系的な知識を習得するためのプログラムである。本強化プログラムを履修することにより、社会科学の高度な知識と研究方法論を自在に使いこなす力を身につけることができる。</p> <p>②内容・構成 講義科目は、家族論、ジェンダー論、社会政策論、消費者経済、生活法、生活政治学など、主プログラムにより提示された柱となるトピックへの関心をさらに広げ、同時に深めるための科目群からなる。一部必修化するが、大半の科目は選択科目であり、各自の関心に応じて自由に選ぶことができる。また、演習科目については、主プログラムに組み込まれた2科目4単位分は必修であるが、さらにもう一種の演習（Ⅲ）を選択して学際的な視点をもって卒業論文の作成に取り組むことも可能である。</p>		

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム			
				主プログラム	備考	◎必修 ○選択	備考
人間生活論	2	I	Pink	◎			
生活社会科学概論	2	I	Pink	◎			
児童学概論	2	I	Pink	○	以下の科目から 2単位以上選択		
生活文化学概論	2	I	Pink	○			
生活科学概論	2	I	Pink	○			
生活社会科学選択基礎	2	I		○			
生活社会科学演習	2	Ⅱ	Green	◎			
家族社会学	2	Ⅲ	Green	◎			
応用生活統計学	2	I	Pink	◎			
社会統計学Ⅰ	2	Ⅱ	Green	◎			
ジェンダー論	2	I～Ⅳ	Pink	◎			
生活関連法	2	Ⅱ	Green	◎			
家族法Ⅰ	2	Ⅲ	Green	◎			
生活政治学	2	Ⅱ	Green	◎			
家政経済学概論	2	I～Ⅳ	Pink	◎			
消費者経済学	2	Ⅱ	Green	◎			
家族関係論	2	I～Ⅱ	Pink	◎			
社会保障論	2	Ⅱ	Pink	◎			
卒業論文	8	Ⅳ	Red	◎			
家族法演習Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○	以下の科目 から4単位 選択	○	以下の科目 から4単位ま でを含めるこ とができる
家族法演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
生活法学演習Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	
生活法学演習Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
生活政治学演習Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	
生活政治学演習Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
				○		○	

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム		◎必修 ○選択	
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
家族社会学演習Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	
家族社会学演習Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
生活福祉学演習Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	
生活福祉学演習Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
消費者経済学演習Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	
消費者経済学演習Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
生活経済学演習Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	
生活経済学演習Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Red	○		○	
労働経済学演習Ⅰ	2	Ⅲ	Red	○		○	
労働経済学演習Ⅱ	2	Ⅲ	Red	○		○	
社会福祉学	2	Ⅱ	Green			◎	
労働経済学総論	2	Ⅲ	Green			◎	
社会統計学Ⅱ	2	Ⅱ	Green			◎	
生活社会科学論文演習Ⅰ	2	Ⅳ	Red			◎	
生活社会科学論文演習Ⅱ	2	Ⅳ	Red			◎	
生活社会科学専門英語	2	Ⅱ	Green			○	
女性政策論	2	Ⅰ～Ⅳ	Green			○	
法女性学	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
家族法Ⅱ	2	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
労働法	2	Ⅰ～Ⅱ	Green			○	
比較家族思想史	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
比較ジェンダー論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
政治とジェンダー	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
消費者教育論	2	Ⅱ	Green			○	
労働経済学各論	2	Ⅱ	Green			○	
企業経営論	2	Ⅱ	Green			○	
老年学	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
老人福祉論	2	Ⅱ	Green			○	
児童福祉論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
発達社会学	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
人口学	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
地域社会論	2	Ⅱ	Green			○	
住生活論	2	Ⅱ	Green			○	
生活調査法	2	Ⅱ	Green			○	
生活社会調査実習	2	Ⅲ～Ⅳ	Green			○	
生活設計論	2	Ⅰ～Ⅳ	Green			○	
財産と法	2	Ⅱ	Green			○	
刑事法	2	Ⅰ～Ⅱ	Green			○	
生活法学	2	Ⅲ	Green			○	
生活と行政Ⅰ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
生活と行政Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
生活経済学	2	Ⅱ	Green			○	
生活と金融	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
生活と財政	2	Ⅰ～Ⅳ	Green			○	
国際経済と生活	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
国民経済と生活	2	Ⅱ～Ⅳ	Red			○	
社会問題論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	以下の科目から
現代社会論	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	4単位までを含
現代生活論	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	めることができる



授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム			
				主プログラム	備考	強化プログラム	備考
社会意識論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
比較社会論	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	
社会政策論Ⅰ	2	Ⅰ～Ⅳ	Pink			○	
社会政策論Ⅱ	2	Ⅱ～Ⅳ	Green			○	

# 人間生活学科 生活文化学

<b>カリキュラムポリシー</b>	<b>主：42単位</b>	<b>強化：20単位</b>
<p><b>主プログラム</b></p> <p>①<b>教育目標</b> 生活文化学は、日常生活に関わる文化事象、とくに服飾、住まい、工芸、デザインなどの生活造形を対象とし、比較文化論、民俗学、歴史学、美学などの手法によって新しい文化論を構築することを目指している。生活に根差した文化論の考究を基盤とすることにより、現代生活の諸問題を解決する実践能力を養い、生活文化をリードする見識と創造力を養う。</p> <p>②<b>内容・構成</b> 古今東西の生活文化に関する幅広い知識の習得と、自ら問題意識をもって文化事象を追究することのできる基礎力を養うことを重視する。そのために、人間生活学科の共通科目、生活文化学の各領域の基本的な知識を習得する概論科目、分析スキルを習得する基礎科目、自らの問題意識で分析・解釈を試みる基礎演習および卒業論文で構成される。</p>		
<p><b>強化プログラム</b></p> <p>①<b>教育目標</b> 生活造形の領域に関する専門的な知識に加え、より広範の生活文化に関する知識を習得し、また自ら分析・解釈を試みる演習を少なくとも二つの領域で履修することにより、生活文化に対する深い見識を養うとともに、より深い思考力と柔軟な分析力を養う。服飾制作実習や、民俗学のフィールドワークを含む実習によって身体を通して学び、理解力を深める。</p> <p>②<b>内容・構成</b> 生活造形に関するより専門的な講義科目、生活史・生活思想、芸術・情報・環境など生活文化の関連領域に関するより広範なテーマの講義科目、基礎演習を展開させ、自らの分析スキルによって調査・解釈を試みる演習科目、あるいは実習科目、そして生活文化学専門英語で構成される。</p>		

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム			
				主プログラム	備考	◎必修	○選択
人間生活論	2	I	Pink	◎			
生活文化学概論	2	I	Pink	◎			
生活社会科学概論	2	I	Pink	○	以下の科目から		
児童学概論	2	I	Pink	○	2単位以上選択		
生活造形論	2	I	Pink	◎			
民俗学	2	I	Pink	◎			
服飾文化概論	2	I	Pink	◎			
服飾美学概論	2	I	Pink	◎			
服飾史論	2	II	Green	◎			
服飾史資料論	2	II	Green	◎			
比較生活文化論	2	II	Green	◎			
比較生活文化史 I	2	II	Green	◎			
民俗文化史概論	2	II	Green	◎			
歴史民俗文化論	2	II	Green	◎			
生活文化学論文演習 I	2	IV	Green	◎			
生活文化学論文演習 II	2	IV	Red	◎			
卒業論文	8	IV	Red	◎			
比較文化論基礎演習	2	III	Red	○	以下の科目		
民俗文化史基礎演習	2	III	Red	○	から4単位		
日本服飾史演習 I	2	III	Red	○	以上選択		
服飾文化論基礎演習	2	III	Red	○			
生活科学概論	2	I	Pink	○			
生活文化学選択基礎	2	I		○			
服飾史 I	2	II	Green			○	以下の科目
服飾史 II	2	II	Green			○	から20単位
比較文化論演習	2	III	Red			○	以上選択

授業科目	単位	履修年次	CCBM	プログラム			
				主プログラム	備考	◎必修 ○選択 強化プログラム	備考
民俗文化史演習	2	Ⅲ	Red			○	
服飾文化論演習	2	Ⅲ	Red			○	
日本服飾史演習Ⅱ	2	Ⅲ	Red			○	
民俗文化史各論	2	Ⅲ	Red			○	
環境デザイン論	2	Ⅱ	Green			○	
生活文化論	2	Ⅱ	Green			○	
生活造形史	2	Ⅲ	Red			○	
工芸史	2	Ⅲ	Green			○	
比較生活文化史Ⅱ	2	Ⅲ	Red			○	
地域文化論	2	Ⅱ	Green			○	
現代文化論	2	Ⅱ	Green			○	
文化情報論	2	Ⅲ	Green			○	
美学・芸術学	2	Ⅲ	Green			○	
西洋服飾論	2	Ⅱ	Green			○	
日本服飾論	2	Ⅱ	Green			○	
服飾文化各論	2	Ⅲ	Red			○	
服飾美学各論	2	Ⅲ	Red			○	
服飾制作実習	1	Ⅲ	Green			○	
服飾文化実習	1	Ⅲ	Green			○	
生活文化実習Ⅰ	1	Ⅱ	Green			○	
生活文化実習Ⅱ	1	Ⅲ	Red			○	
生活文化学専門英語	2	Ⅱ	Green			○	

# 副プログラム・学際プログラム

## 人間・環境科学副プログラム

単位数：20

カリキュラムポリシー
<p>①教育目標 人間や環境に係る理学や工学を総合的に幅広く学ぶことを目標とする。環境と科学技術のあり方について、今後の技術動向に関する分析力を養うとともに、人間・環境に係る科学技術についての理解を目指す。文系・理系学習者のいずれも受講可とする。</p> <p>②内容・構成 人間・環境科学科の主プログラムならびに強化プログラムにおいて提供される科目群から、受講者の関心に従って選択して受講する。なお、二級建築士受験資格を取得するには、厳しい履修条件が課されています。二級建築士受験資格希望者は、かならず、人間・環境科学科の教員に事前に相談すること。</p>

授業科目	単位	必修・選択	CCBM	備考
統計学	2	選択	Green	以下の科目から20単位以上選択
人体解剖学	2	選択	Pink	
環境化学	2	選択	Green	
反応工学論	2	選択	Green	
環境生理学	2	選択	Green	
ヒトと文化	2	選択	Pink	
基礎構造力学	2	選択	Pink	
生活設備学	2	選択	Green	
住居学概論	2	選択	Pink	
環境物理学	2	選択	Red	
人類進化史	2	選択	Green	
人間工学	2	選択	Green	
システム工学	2	選択	Red	
環境材料物性	2	選択	Red	
水環境工学	2	選択	Red	
統計学演習	2	選択	Red	
人間環境科学実験実習Ⅰ	2	選択	Red	
人間環境科学特別実習Ⅱ	2	選択	Red	
情報工学演習	2	選択	Red	
人間環境科学演習	2	選択	Red	
建築環境計画論	2	選択	Green	
建築環境工学	2	選択	Green	
建築一般構造	2	選択	Pink	
建築材料学Ⅰ	2	選択	Green	
建築材料学Ⅱ	2	選択	Green	
設計製図基礎	2	選択	Pink	
建築設計製図演習Ⅰ	2	選択	Green	
建築設計製図演習Ⅱ	2	選択	Red	
建築史	2	選択	Green	
建築法規	1	選択	Green	
建築施工	1	選択	Green	
建築意匠論	2	選択	Red	
建築構造力学	2	選択	Red	
測量学	2	選択	Green	
環境デザイン論	2	選択	Green	
住生活論	2	選択	Green	

カリキュラムポリシー
①教育目標 発達臨床心理学講座では、生涯にわたる人間の発達・変容と、それに対する支援・援助のあり方について、理論的に、かつ、実践的に考究する学問である。副プログラムでは、発達臨床心理学に関する学問的知見を学ぶことによって、それらをあらゆる社会生活の中で生かす態度と見識を養うことを目標としている。
②内容・構成 臨床心理学、発達心理学、教育心理学、保育学、教育学などの様々な学問的知見について、学ぶことができる科目が用意されている。幅の広い領域をまなぶことによって、視野を広げていくことが可能となる科目から構成されている。

授業科目	単位	必修・選択	CCBM	備考
児童学概論	2	必修	Pink	ただし、他のプログラムで必修科目として履修している場合には、本プログラムの他の科目で単位を満たすことができる。
生活文化学概論	2	選択	Pink	
生活社会科学概論	2	選択	Pink	以下の科目から18単位以上選択
人間関係学	2	選択	Pink	
発達臨床心理学Ⅰ	2	選択	Green	
発達臨床心理学Ⅱ	2	選択	Green	
保育臨床学	2	選択	Green	
学校臨床学	2	選択	Green	
人格心理学	2	選択	Green	
保育学	2	選択	Green	
カウンセリング論	2	選択	Green	
心理臨床学	2	選択	Green	
障害臨床学	2	選択	Green	
発達社会文化論	2	選択	Green	
発達過程論	2	選択	Green	
児童社会文化論	2	選択	Green	
発達保健学	2	選択	Green	
家族療法	2	選択	Green	
質問紙法	2	選択	Green	
面接法	2	選択	Green	
産業心理臨床	2	選択	Green	
児童文化論	2	選択	Green	
発達臨床特殊講義Ⅰ	2	選択	Green	
発達臨床特殊講義Ⅱ	2	選択	Green	
発達臨床特殊講義Ⅲ	2	選択	Green	
生涯発達講義講読	2	選択	Red	
心理臨床講義講読	2	選択	Red	
保育臨床講義講読	2	選択	Red	
人間関係講義講読	2	選択	Red	
人格発達講義講読	2	選択	Red	
学校心理講義講読	2	選択	Red	
生涯発達研究演習	2	選択	Red	
心理臨床研究演習	2	選択	Red	
保育臨床研究演習	2	選択	Red	
人間関係研究演習	2	選択	Red	
人格発達研究演習	2	選択	Red	
学校心理研究演習	2	選択	Red	

カリキュラムポリシー
<p>①教育目標 さまざまな主専攻領域で学んできた学生を想定し、社会科学の基本的な考え方と方法論の基礎を学び、主専攻の専門知識と関連づけつつ実践に活かすための力を養うことを目的とする。公務員受験を志望するものにも役立つカリキュラムを提供する。</p> <p>②内容・構成 社会科学の基本的な考え方と方法論を習得するため、「生活社会科学概論」「生活社会科学演習」を必修とする。また、その力をより強化するとともに、プログラム運営教員とのつながりを維持するため、演習科目1科目を履修する機会を持てるようにする。他の講義科目については、演習担当教員と相談しつつ、体系的に学べるようなメニューを提供する。</p>

授業科目	単位	必修・選択	CCBM	備考	
生活社会科学概論	2	必修	Pink	ただし、他のプログラムで必修科目として履修している場合には、本プログラムの他の科目で単位を満たすことができる。	
生活社会科学演習	2	必修	Green		
家族法演習Ⅰ	2	選択	Red	以下の科目から4単位までを含めることができる	
家族法演習Ⅱ	2	選択	Red		
生活法学演習Ⅰ	2	選択	Red		
生活法学演習Ⅱ	2	選択	Red		
生活政治学演習Ⅰ	2	選択	Red		
生活政治学演習Ⅱ	2	選択	Red		
家族社会学演習Ⅰ	2	選択	Red		
家族社会学演習Ⅱ	2	選択	Red		
生活福祉学演習Ⅰ	2	選択	Red		
生活福祉学演習Ⅱ	2	選択	Red		
消費者経済学演習Ⅰ	2	選択	Red		
消費者経済学演習Ⅱ	2	選択	Red		
生活経済学演習Ⅰ	2	選択	Red		
生活経済学演習Ⅱ	2	選択	Red		
労働経済学演習Ⅰ	2	選択	Red		
労働経済学演習Ⅱ	2	選択	Red		
ジェンダー論	2	選択	Pink		
生活関連法	2	選択	Green		
家族法Ⅰ	2	選択	Green		
生活政治学	2	選択	Green		
家政経済学概論	2	選択	Pink		
消費者経済学	2	選択	Green		
女性政策論	2	選択	Green		
家族法Ⅱ	2	選択	Green		
労働法	2	選択	Green		
政治とジェンダー	2	選択	Green		
社会福祉学	2	選択	Green		
消費者教育論	2	選択	Green		
労働経済学総論	2	選択	Green		
社会保障論	2	選択	Pink		
老人福祉論	2	選択	Green		
児童福祉論	2	選択	Green		
地域社会論	2	選択	Green		
生活設計論	2	選択	Green		
財産と法	2	選択	Green		
刑事法	2	選択	Green		
生活法学	2	選択	Green		

授業科目	単位	必修・選択	CCBM	備考
生活と行政Ⅰ	2	選択	Green	
生活と行政Ⅱ	2	選択	Green	
生活経済学	2	選択	Green	
生活と金融	2	選択	Green	
生活と財政	2	選択	Green	
国際経済と生活	2	選択	Green	
国民経済と生活	2	選択	Red	

## カリキュラムポリシー

## ①教育目標

さまざまな主専攻領域で学んできた学生を想定し、社会科学領域におけるジェンダー研究の視点と方法を学び、主専攻の専門知識と関連づけつつ研究や実践に活かすための力を養うことを目的とする。

## ②内容・構成

社会科学とジェンダー研究の基本的な考え方と方法論を習得するため、「生活社会科学概論」「生活社会科学演習」「ジェンダー論」を必修とする。また、社会科学的な考察力をより強化するとともに、プログラム運営教員とのつながりを維持するため、演習科目1科目を履修する機会を持てるようにする。他の講義科目については、演習担当教員と相談しつつ、体系的に学べるようなメニューを提供する。

授業科目	単位	必修・選択	CCBM	備考
生活社会科学概論	2	必修	Pink	ただし、他のプログラムで必修科目として履修している場合には、本プログラムの他の科目で単位を満たすことができる。
生活社会科学演習	2	必修	Green	
ジェンダー論	2	必修	Pink	
家族法演習Ⅰ	2	選択	Red	以下の科目から4単位までを含めることができる。
家族法演習Ⅱ	2	選択	Red	
生活法学演習Ⅰ	2	選択	Red	
生活法学演習Ⅱ	2	選択	Red	
生活政治学演習Ⅰ	2	選択	Red	
生活政治学演習Ⅱ	2	選択	Red	
家族社会学演習Ⅰ	2	選択	Red	
家族社会学演習Ⅱ	2	選択	Red	
生活福祉学演習Ⅰ	2	選択	Red	
生活福祉学演習Ⅱ	2	選択	Red	
消費者経済学演習Ⅰ	2	選択	Red	
消費者経済学演習Ⅱ	2	選択	Red	
生活経済学演習Ⅰ	2	選択	Red	
生活経済学演習Ⅱ	2	選択	Red	
労働経済学演習Ⅰ	2	選択	Red	
労働経済学演習Ⅱ	2	選択	Red	
家族法Ⅰ	2	選択	Green	
家族関係論	2	選択	Pink	
女性政策論	2	選択	Green	
法女性学	2	選択	Green	
家族法Ⅱ	2	選択	Green	
労働法	2	選択	Green	
比較家族思想史	2	選択	Green	
比較ジェンダー論	2	選択	Green	
政治とジェンダー	2	選択	Green	
社会福祉学	2	選択	Green	
労働経済学総論	2	選択	Green	
社会保障論	2	選択	Pink	
家族社会学	2	選択	Green	
老年学	2	選択	Green	
老人福祉論	2	選択	Green	
児童福祉論	2	選択	Green	
発達社会学	2	選択	Green	
生活関連法	2	選択	Green	
生活法学	2	選択	Green	



授業科目	単位	必修・選択	CCBM	備考
生活と行政 I	2	選択	Green	
国際経済と生活	2	選択	Green	
国民経済と生活	2	選択	Red	

## カリキュラムポリシー

## ①教育目標

消費生活にともなう諸問題を学際的・総合的に学ぶ。成熟した市民社会を担う能動的消費者となるための基礎的カリキュラム。消費生活アドバイザー資格試験を受ける人などにも最適。

## ②内容・構成

必修は「消費者科学入門」「国民経済と生活」の2科目4単位。選択は16単位。選択科目として、生活社会科学講座の専門科目から7科目、それ以外の学科講座の専門科目から10科目。資格試験との関連性については、別紙資料参照。

授業科目	単位	必修・選択	CCBM	備考
消費者科学入門	2	必修	Pink	以下の科目から16単位以上 選択
国民経済と生活	2	必修	Red	
企業経営論	2	選択	Green	
家政経済学概論	2	選択	Pink	
環境衛生学	2	選択	Green	
建築環境計画論	2	選択	Green	
医療と健康	2	選択	Green	
社会保障論	2	選択	Pink	
被服学概論	2	選択	Pink	
食物学概論	2	選択	Pink	
食糧経済学	2	選択	Green	
住居学概論	2	選択	Pink	
生活と財政	2	選択	Green	
生活と金融	2	選択	Green	
社会統計学Ⅰ	2	選択	Green	
社会統計学Ⅱ	2	選択	Green	
生活調査法	2	選択	Green	
消費者経済学	2	選択	Green	
生活造形論	2	選択	Pink	
現代文化論	2	選択	Green	
発達臨床心理学Ⅰ	2	選択	Green	
児童学概論	2	選択	Pink	
カウンセリング論	2	選択	Green	
応用統計学	2	選択	Green	
建築一般構造	2	選択	Pink	
国際栄養学	2	選択	Green	
食生活史	2	選択	Green	

カリキュラムポリシー	
①教育目標	生活科学を学ぶ学生が文化的視野をもち、人間の精神生活に対する理解を深めることは、生活の質を考える上でもっとも重要である。またどのような学問領域であれ、学生が生活をとりまく身近な文化に関心をもつことは、生活人として重要である。本プログラムは、生活造形を中心とした生活文化学の基本を学ぶことにより、より創造的な生活の感性を養うことを目指す。なお学芸員の資格を取得するための履修科目が複数含まれている。これらの科目については、履修ガイドの「Ⅲ 諸資格の取得 2. 博物館学芸員」掲載の表を参照すること。
②内容・構成	生活造形に関するもっとも基礎的な知識を習得する概論などの基礎科目、生活に関わる思想・芸術など、多様なテーマに関する講義科目および基礎演習科目で構成される。基礎4科目を必修とし、他は自由に選択することができる。演習科目を1つは履修することが望ましい。

授業科目	単位	必修・選択	CCBM	備考
生活造形論	2	必修	Pink	以下の科目から12単位以上選択
民俗学	2	必修	Pink	
服飾文化概論	2	必修	Pink	
服飾美学概論	2	必修	Pink	
服飾史論	2	選択	Green	
服飾史資料論	2	選択	Green	
服飾史Ⅰ	2	選択	Green	
服飾史Ⅱ	2	選択	Green	
比較生活文化論	2	選択	Green	
比較生活文化史Ⅰ	2	選択	Green	
民俗文化史概論	2	選択	Green	
歴史民俗文化論	2	選択	Green	
比較文化論基礎演習	2	選択	Red	
民俗文化史基礎演習	2	選択	Red	
服飾文化論基礎演習	2	選択	Red	
日本服飾史演習Ⅰ	2	選択	Red	
民俗文化史各論	2	選択	Red	
環境デザイン論	2	選択	Green	
生活文化論	2	選択	Green	
生活造形史	2	選択	Red	
工芸史	2	選択	Green	
比較生活文化史Ⅱ	2	選択	Red	
地域文化論	2	選択	Green	
現代文化論	2	選択	Green	
文化情報論	2	選択	Green	
美学・芸術学	2	選択	Green	
西洋服飾論	2	選択	Green	
日本服飾論	2	選択	Green	
服飾文化各論	2	選択	Red	
服飾美学各論	2	選択	Red	

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
解剖生理学Ⅰ	2	I	必修	Pink	
生化学	2	I	必修	Pink	
解剖生理学Ⅱ	2	I	必修	Pink	
調理科学	2	I	必修	Pink	
基礎調理学実習	1	I	必修	Pink	
細胞生化学	2	Ⅱ	必修	Green	
臨床医学総論	2	Ⅱ	必修	Green	
代謝栄養学	2	Ⅱ	必修	Green	
社会福祉学	2	Ⅱ	必修	Green	
食品化学	2	Ⅱ	必修	Green	
栄養教育論Ⅰ	2	Ⅱ	必修	Green	
生活環境学	2	Ⅱ	必修	Green	
食嗜好評価学	2	Ⅱ	必修	Green	
応用調理学実習	1	Ⅱ	必修	Green	
臨床医学各論Ⅰ	2	Ⅱ	必修	Green	
臨床医学各論Ⅱ	2	Ⅱ	必修	Green	
応用栄養学	2	Ⅱ	必修	Green	
給食経営管理論	2	Ⅱ	必修	Green	
食品製造・保存学	2	Ⅱ	必修	Green	
食品微生物学	2	Ⅱ	必修	Green	
臨床栄養アセスメント学	2	Ⅱ	必修	Green	
栄養カウンセリング論	2	Ⅱ	必修	Green	
分析化学実験	2	Ⅱ	必修	Green	
解剖生理学実験	1	Ⅱ	必修	Green	
食品微生物学実験	1	Ⅱ	必修	Green	
病態栄養学	2	Ⅲ	必修	Red	
食品衛生学	2	Ⅲ	必修	Red	
臨床栄養療法学	2	Ⅲ	必修	Red	
公衆栄養学	2	Ⅲ	必修	Red	
栄養教育論Ⅱ	2	Ⅲ	必修	Red	
ライフステージ栄養学	2	Ⅲ	必修	Red	
公衆衛生学	2	Ⅲ	必修	Red	
給食マネジメント論	2	Ⅲ	必修	Red	
栄養行政学	2	Ⅲ	必修	Red	
ライフスタイル栄養学	2	Ⅲ	必修	Red	
食品機能論	2	Ⅲ	必修	Red	
食事療法学	2	Ⅲ	必修	Red	
栄養学実験	2	Ⅲ	必修	Red	
応用栄養学実習	1	Ⅲ	必修	Red	
食品製造・保存学実験	2	Ⅲ	必修	Red	
栄養カウンセリング論実習	1	Ⅲ	必修	Red	
公衆栄養学実習	1	Ⅲ	必修	Red	
臨床栄養アセスメント学実習	2	Ⅲ	必修	Red	
食品化学実験	2	Ⅲ	必修	Red	
調理科学実験	2	Ⅲ	必修	Red	
給食経営管理実習	2	Ⅲ	必修	Red	
食物栄養管理論総合演習	2	Ⅳ	必修	Red	
栄養臨地実習	4	Ⅳ	必修	Red	

授業科目	単位	履修年次	必修・選択	CCBM	備考
卒業論文	6	Ⅳ	必修	Red	
<b>●専攻科目（選択）</b>					
* 食物栄養専門英語	2	Ⅱ	選択	Green	*印はコア科目外国語（必修）英語に充てることができる。
食品学	2	Ⅱ	選択	Green	
食品評価論	2	Ⅲ	選択	Green	
食物栄養学基礎演習	2	Ⅳ	選択	Red	
食物栄養学輪講	4	Ⅳ	選択	Red	
<b>●専攻科目（選択）－高大連携科目</b>					
食物栄養学選択基礎	2	Ⅰ			
<p>高大連携科目は、大学との連携を行っている高校の生徒が履修する科目であるため、大学生は履修できない。なお、履修した生徒が本学に入学した場合は、当該科目は別表第1（第6条関係）「自由に選択して履修する科目・単位」内の「専攻科目 選択」の単位として認定することができる。</p>					

## 学部共通科目

授業科目	単位	履修年次	CCBM	備考
生活科学概論	2		Pink	
基礎有機化学	2	(I)	Pink	食物栄養学科は必修
分析化学	2	(II)	Green	食物栄養学科は必修
ヒトと文化	2	(I~IV)	Pink	
発達社会学	2		Pink	
ジェンダー論	2		Pink	
比較ジェンダー論	2		Green	
人口学	2		Pink	
社会保障論	2	II	Pink	
企業経営論	2		Green	
消費者科学入門	2		Pink	
生活造形論	2	I	Pink	
民俗学	2	I	Pink	
生活設計論	2		Green	
生活法学	2		Green	
比較家族思想史	2	II~IV	Green	
老年学	2		Green	
服飾文化概論	2	I	Pink	
服飾美学概論	2	I	Pink	
国際栄養学	2	(I)	Green	
食糧経済学	2	(II)	Green	
食生活史	2	(I)	Green	
環境衛生学	2	(II)	Green	
人間関係学	2	I	Pink	
応用統計学	2	(II)	Green	
家族関係論	2	I~II	Pink	
家政経済学概論	2		Pink	
被服学概論	2	I~IV	Pink	
食物学概論	2	(I)	Pink	
建築環境計画論	2	(II)	Green	
住居学概論	2	(I)	Pink	
児童学概論	2	I	Pink	
発達臨床心理学 I	2	II	Pink	
保育臨床学	2	II	Green	
学校臨床学	2	II	Green	
医療と健康	2	(II)	Green	

## 全学共通科目

授業科目	単位	CCBM	備考
NPO入門	2	Pink	
女性リーダーへの道（入門編）	2	Pink	
女性リーダーへの道（ロールモデル入門編）	2	Pink	
女性リーダーへの道（実践入門編）	2	Green	
キャリアプランとライフプランⅠ	2	Pink	
キャリアプランとライフプランⅡ	2	Pink	
情報コミュニケーション技術と創発性	2	Pink	卒業に必要な単位に含めることができない
働く女性の権利と地位	2	Pink	卒業に必要な単位に含めることができない
共生社会で働く	2	Green	卒業に必要な単位に含めることができない
グループワークとマネジメント	2	Green	卒業に必要な単位に含めることができない
キャリアプランニング実習	1	Pink	卒業に必要な単位に含めることができない
インターンシップ	1	Green	
クリエイティブ・ライティングⅠ	2	Green	
クリエイティブ・ライティングⅡ	2	Green	
クリエイティブ・ライティングⅢ	2	Green	
クリエイティブ・ライティングⅣ	2	Green	
博物館学概論	2	Ivory	
博物館資料特殊講義	2	Ivory	
博物館活動特殊講義	2	Ivory	
博物館実習	3	Ivory	
初等解析学Ⅰ	2	Pink	
初等解析学Ⅱ	2	Pink	
初等線形代数学	2	Pink	
初等代数学	2	Pink	
数の歴史	2	Pink	
物理学概論A	2	Pink	
物理学概論B	2	Pink	
基礎化学A	2	Pink	
基礎化学B	2	Pink	
基礎生物学A	2	Pink	
基礎生物学B	2	Pink	
宇宙・地球科学	2	Pink	
地球環境科学	2	Pink	
大気・海洋科学概論	2	Pink	
地史・古生物学概論	2	Pink	
物理学基礎実験	2	Pink	
化学基礎実験	2	Pink	
生物学基礎実験	2	Pink	
地学基礎実験	2	Pink	
数理基礎論	2	Pink	
確率序論	2	Green	
コンピュータシステム序論	2	Pink	
生命情報学概論	2	Green	
計算生物学	2	Green	
海外交換留学認定科目	2～12		
グローバル COE 人間発達科学論Ⅰ	2	Green	
グローバル COE 人間発達科学論Ⅱ	2	Green	
グローバル COE 人間発達科学論Ⅲ	2	Green	

授業科目	単位	CCBM	備考
科学英語 I	2	Pink	
科学英語 II	2	Pink	
物理学サブリメント	2	Pink	卒業に必要な単位に含めることができない
生物学サブリメント	2	Pink	卒業に必要な単位に含めることができない
英語基礎強化ゼミ	2	Pink	卒業に必要な単位に含めることができない
TOEFL 対策ゼミ R/L	2		卒業に必要な単位に含めることができない
TOEFL 対策ゼミ S/W	2		卒業に必要な単位に含めることができない
企画・運営力養成講座	2		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習 I	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習 II	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習 III	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習 IV	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習 V	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習 VI	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習 VII	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習 VIII	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習 IX	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習 X	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習 X I	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習 X II	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習 X III	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習 X IV	1		卒業に必要な単位に含めることができない
理数特別講義演習 X V	1		卒業に必要な単位に含めることができない



## 教職共通科目

授業科目	単位	履修年次	CCBM
家庭看護学	2	I～IV	Green
家庭機械及び家庭電気	2		Pink
調理実習	1		Pink
被服製作実習	1	I～IV	Green
保育実践論	2	I～IV	Green
学校栄養教育論 I	2	I～IV	Green
学校栄養教育論 II	2		Green
教職概論	2		Ivory
教育原論（思想・歴史）	2		Ivory
教育心理	2		Ivory
教育原論（社会・制度）	2		Ivory
教育課程論	2		Ivory
家庭科教育法 I	2	III	Ivory
家庭科教育法 II	2	III・IV	Ivory
道德教育の研究	2		Ivory
特別活動の研究	2		Ivory
教育方法論	2		Ivory
生徒指導の研究	2	I～IV	Ivory
学校カウンセリング	2		Ivory
事前・事後指導	1		Ivory
教育実習	2または4		Ivory
栄養教育実習	2	(IV)	Ivory
教職実践演習（教諭）	2		Ivory
教職実践演習（栄養教諭）	2	(IV)	Ivory
視聴覚教育メディア論	2		Ivory

## 外国人留学生特別科目

授業科目	単位	CCBM
日本語演習ⅠA	2	Pink
日本語演習ⅠB	2	Pink
日本語演習ⅡA	2	Green
日本語演習ⅡB	2	Green
日本語演習ⅢA	2	Green
日本語演習ⅢB	2	Green
日本語演習ⅣA	2	Green
日本語演習ⅣB	2	Green
日本語演習ⅤA	2	Green
日本語演習ⅤB	2	Green
日本事情演習ⅠA	2	Pink
日本事情演習ⅠB	2	Pink
日本事情演習ⅡA	2	Green
日本事情演習ⅡB	2	Green
日本事情演習ⅢA	2	Green
日本事情演習ⅢB	2	Green
日本事情演習ⅣA	2	Green
日本事情演習ⅣB	2	Green
日本事情演習ⅤA	2	Green
日本事情演習ⅤB	2	Green

## 特別設置科目

授業科目	単位	履修年次	備考
子ども理解と保育の探求Ⅰ	2	Ⅱ	
乳幼児発達障害論Ⅰ	2	Ⅱ	
乳幼児発達障害論Ⅱ	2	Ⅱ	
乳幼児教育・保育政策論Ⅰ	2	Ⅱ	
乳幼児教育・保育政策論Ⅱ	2	Ⅱ	
乳幼児保育マネジメントⅠ	2	Ⅱ	
乳幼児保育マネジメントⅡ	2	Ⅱ	
コミュニティ保育資源の活用Ⅰ	2	Ⅱ	
コミュニティ保育資源の活用Ⅱ	2	Ⅱ	
保育メディア論	2	Ⅱ	
実践音楽療法	2	Ⅱ	
子どもと家族	2	Ⅱ	
比較保育実践研究Ⅰ	2	Ⅱ	
比較保育実践研究Ⅱ	2	Ⅱ	
現代保育課題研究Ⅰ	2	Ⅱ	
現代保育課題研究Ⅱ	2	Ⅱ	
子ども理解と保育の探求Ⅱ	2	Ⅱ	

いま、学生の<就業力>育成が課題になっています。就業力とは、学生が自分に合った仕事を見つけ出し、社会に出て活躍できるような力を指します。社会を変えていく女性リーダー育成を大きな目標とする本学にとって、就業力とは単に実学的なものにとどまりません。広く公共的視野のもとに課題を発見し、蓄えた知識やスキルを自在に練り、異質な人々との協同・共生の中で課題解決のための選択肢を見きわめて行動する「女性リーダー力」を意味します。この力を学生に保証するために、今年度から新たにキャリアデザインプログラム科目群が設置されます。キャリアデザインプログラムでは、高度な就業力としての「女性リーダー力」をコンピテンシー（知識や技能を組み合わせることで成果を生む包括的能力）の概念枠組みでとらえています。現代社会の諸課題を解決する新たなリーダー育成を目標に、全学をあげてコンピテンシーの開発に取り組めます（図1）。

### (1) コンピテンシーとは

コンピテンシーとは、知識や技能を適切な思考・行動特性のもと状況に応じて組み合わせ、問題を発見・解決して高い成果を生む包括的能力を意味します。キャリアデザイン科目群では OECD（経済協力開発機構）が提案しているキー・コンピテンシーの枠組みをもとに、**双方向のツール活用、自律的活動、多様な社会集団での協働**という3分野のコンピテンシーを身につけ、これらを本学が女性リーダー力の核と考える**心遣い・知性・しなやかさ**という思考・行動特性のもと、適切に組み合わせ成果をあげられる学生を育てます（図2）。

図1 全学をあげた「女性リーダー力」の育成

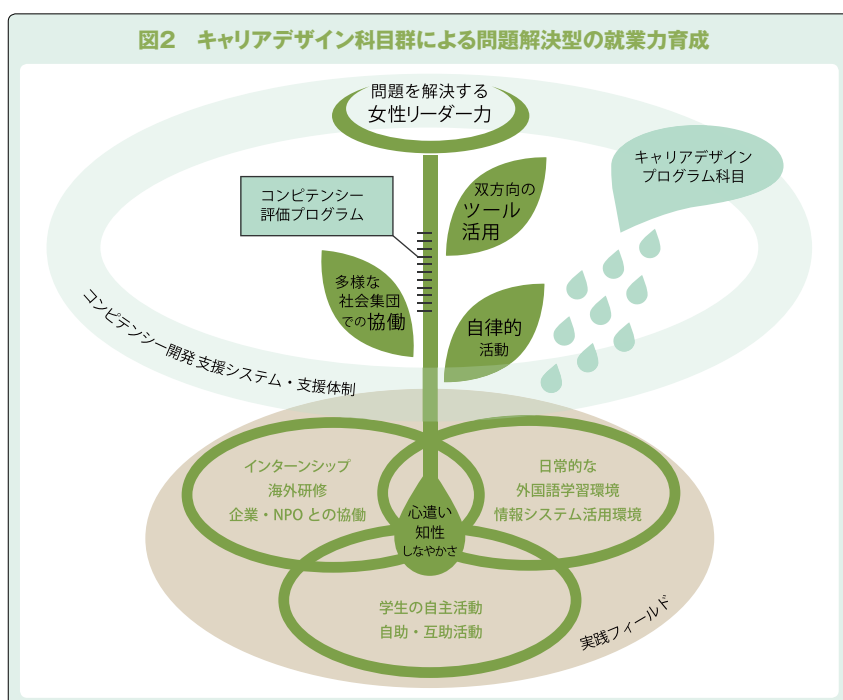


お茶の水女子大学は学生個々の特性と志向性に応じた多様な学士力の養成を目指しています。そのための全学的な教育・支援体制を図1のように構築していきます。

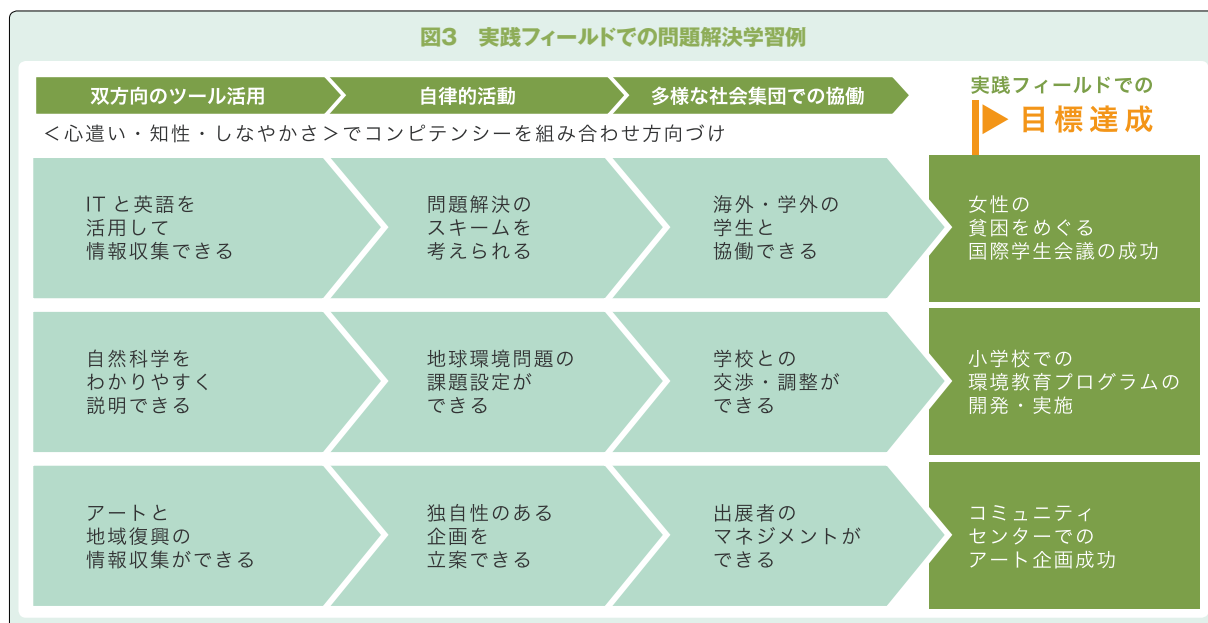
この養成過程で修得される諸能力を適切に組み合わせ、女性の地位向上をはじめとする社会的課題の解決に貢献する高度な就業力として発揮できるようにすることが、「女性リーダーのためのコンピテンシー開発」の目標です。この取組みが、平成22年度文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」に選定されました。

その中心となるのが、多様化する女性のキャリアや生活をみすえながら、意欲的・計画的に大学での学修をすすめるための<キャリアデザイン科目群>です。

図2 キャリアデザイン科目群による問題解決型の就業力育成



高校までの学習は、教科ごとに与えられる知識を習得していくことが中心でした。しかし実社会では、目標達成のための主体的な学びが求められます。キャリアデザイン科目群では、目標に向かって、学生が主体的に必要な知識やスキルを知り、それを習得することを動機づけます。また「実践フィールド」での活動で、仲間と協働してコンピテンシーを開発できるしくみをつくります（図3）。



## (2) キャリアデザイン科目群の概要

キャリアデザイン科目群は、大学で学ぶ知識や技能を、適切な思考・行動特性のもと組み合わせ、問題を発見し解決できるようにする、という枠組みを持ちます。学生自身が客観的基準で自分の力をはかり、自律的に向上させられる仕組みづくりがこの取組みの目的です。そのために、以下の4つの課題に取り組みます。

1. キャリアプランニングや実務家による講義、実習などからなるキャリアデザイン科目群 基幹科目の開発・設置
2. コンピテンシーの習得度合いを客観的に評価するコンピテンシー評価プログラムの開発・実施
3. どのコンピテンシーを習得したかが一目でわかるポートフォリオをはじめとする、コンピテンシー開発支援システムの構築
4. 教員・職員が一体となった総合的なコンピテンシー開発支援体制の整備

これらによって、大学教育におけるコンピテンシーの開発と評価のサイクルを、これを支える情報システムと人的支援体制のもとに構築します。これらを通じて、学生が将来の目標をみすえ、主体的に大学での学修に取り組めるようにします。

キャリアデザイン科目群の中心として、各分野のコンピテンシーに対応する**キャリアデザイン科目群 基幹科目**が設置されます（表1）。ただし、コンピテンシー開発には、これら基幹科目だけではなく、教養教育・専門教育の多くの科目が関連します。そこで、これら基幹科目から8単位、コンピテンシー開発の目的に関連する基幹科目・コア科目・専攻科目・関連科目等（選定中）から12単位、計20単位を履修し、評価プログラムに参加したものについて、キャリアデザインプログラムの修了を認定する予定です。

### 問い合わせ先：

キャリア支援センター（キャリアデザインプログラム担当）  
hp-p-careerdesign@cc.ocha.ac.jp

表1 キャリアデザイン科目群 基幹科目

授業科目	単位	CCBM	種別	卒業単位 参入	目的	内容	
お茶の水女子 大 学 論	2	Pink	総合科目	可	プログラムで育成する 就業力を方向づける。	お茶の水女子大学の特色を知り、自分の 将来を考える。	
女性リーダーへ の道（入門編）： コミュニケーション力を磨く	2	Pink	全学共通 科目	可	双方向に ツールを 活用する	言語、シンボル、テキストを 双方向的に 用いる	現場の第一線で活躍する講師をゲストに、 企業や行政などで実際に使われているコ ミュニケーションのノウハウ、必要とされる 資質や能力を知る。
知能環境論（文 理融合リベラル アーツ・ことば と世界）	2	White	文理融合 リベラル アーツ	可		知識や情報 を双方向的 に用いる	問題解決・目標達成型の学習者主体の 学習方法で、協同学習による問題発見と 問題解決、課題達成を、知能環境を意 識しつつ実効性のあるかたちで果たす。
情報コミュニ ケーション技術 と創発性	2	Pink	全学共通 科目	可		技術を双方向 的に用いる	具体的な課題解決にグループで取り組み ながら、学修やキャリア形成に情報コミュ ニケーション技術をどう活用するかを体得 する。
女性リーダーへ の道（実践入門 編）：企業と起業	2	Green	全学共通 科目	可	自律的に 活動する	大きな展望の 中で活動する	企業などの活動における課題を認識し、 社会の中で自分なりの目標をもって活動 するために必要な、基本的な知識やスキ ルを知る。
キャリアプラン とライフプラン I	2	Pink	全学共通 科目	可		人生計画や 個人プロジェ クトを設計し 実行する	キャリアプラン（職業的な生涯計画）を、 より広い女性のライフプランの中でとらえ、 大学での自己の学習課題を認識し、学修 計画を考える。
キャリアプラン とライフプラン II	2	Pink	全学共通 科目	可			キャリアプラン（職業的な生涯計画）を、 より広い社会的視野からとらえ、大学での 自己の学習課題を認識し、学修計画を考 える。
働く女性の 権利と地位	2	Pink	全学共通 科目	不可		自らの権利、 利害、限界や ニーズを表明 する	労働法や社会保障などの、女性が働き、 生きていく上で不可欠な権利や、それに 付随する責任を学ぶ。学生が行うアルバ イトも事例にしなが、基本的な権利を体 得する。
共生社会で働く	2	Green	全学共通 科目	不可		他人といい 関係を作る	最前線の経営者・実務家に学びながら、 現在の金融・経済情勢のもと、ダイバー シティ（人種や性別などにとらわれない多 様な人材の活躍）や男女共同参画をい かに実現するかを検討する。
グループワーク とマネジメント	2	Green	全学共通 科目	不可	多様な社会 集団で協働 する	協力する。 チームで働く	企業や行政などの組織で将来実際に活 用可能な、課題解決やグループマネジ メントの考え方と手法を学び、実習など で活用できるようにする。
女性リーダーへ の道（ロールモ デル入門編）	2	Pink	全学共通 科目	可		争いを処理し、 解決する	現在女性の活躍が目立つ分野の社会的 課題を、金融・経済界のリーダー、CSR （企業の社会的責任）担当者やNPO/ NGO、行政の担当者などをゲスト講師に 招きながら、実践的に学ぶ。
インターンシップ	1	Green	全学共通 科目	不可	知識や技能を適切に 組み合わせ、実践する		企業や行政などの組織で就労し体験を 交流、社会に出て働く意味を考える。
キャリアプラン ニング実習	1	Pink	全学共通 科目	不可			企業や行政からの提起をもとに課題解決 型の実習を行い、身につけた知識やスキ ルを適切に用いることができるようにする。